京城日報
夕刊 十一月廿九日(金)
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社

甘栗 京城驛前 池田商會 電本七五九番

内閣の改造斷行
果然文相のみの更迭
本日の閣議で決定さる

本廿九日午後一時より開かれた定例閣議において濱口首相は、小橋文相の辭表提出を閣員一同に報告して各員の意嚮をたゞしこれを承認したる後直ちに後任に田中隆三氏を推しこの結果をもたらして參内、御裁可を仰ぎ本日中に親任式を宮中において擧行せらるゝ運びとなつたが、内閣改造は一先づ文相一人に止まつたことは、内閣の前途に一安心を與へたものと云つてよい。

小橋文相閣議列席 小橋文相は濱口首相に辭表を提出した後午後一時よりの閣議に列席し、自己の一身上に關し種々釋明した後辭任の挨拶をなし直ちに辭去した

けさ、首相を訪ねて 小橋文相辭表提出

【東京廿九日發至急報】小橋文相は廿九日午前十一時首相官邸に濱口首相を訪問、病氣其の任に堪へずとの理由で辭表を提出した【號外再錄】

文相後任は 田中隆三氏に決定
親任式は本日中

【東京至急電】小橋文相の後任については二十九日午後一時からの閣議にて田中隆三氏に決定したよつて濱口首相は即日内奏御裁可を仰ぎ本日中に左の如く親任式あるはず(寫眞田中文相)

任文部大臣 從四位勳三等 田中隆三
依願免本官 文部大臣 小橋一太

新文相略歴 新文相田中隆三氏は秋田藩士田中隆世氏の長男で元治元年十月の生れ明治廿二年東京帝國大學法科大學を卒業し、農商務省に入り參事官、審判官、鑛山監督官等に歴任後衆議院書記官、長崎縣書記官等を經て農商務省鑛山局長、行政裁判所評定官等に歴任し、退官後實業界に入り、農商務次官に擧げられ、秋田市より推されて衆議院議員となり、現在に至つたもので天分溫雅の士である

天下の春に 廻り合ふ田中氏邸

【東京電報】小橋文相のあとを受けていよいよ大臣の椅子におさまらうといふ田中隆三氏は積ての念願がなつて素晴らしい御機嫌だ。二十九日午前九時麻布笄町の宏壯な自宅の應接間で孫の昭子さんを抱いてカメラに向ひ
『おれに孫のあることなんか書いて貰つちや困るネ』
田中さん今年六十五歲
『いよいよ決まりましたネ』
『なんだか、世間で勝手に言ひふらしてゐるんじやないか』
『そうやつて電話を待つてゐる氣持ちは惡くないでしやう』
『いやよくないよフフフ』あの分厚い顔を一寸あかくそめてみせる。階上、階下には三十名からのお客がつめかけ四人の女中が右往左往。かま子夫人も手づから敷島の箱を抱へて部屋々々に配つてあるく。奥さんに話かけると
『窓をあけてみない内はなんとも申上げられませんが…』と兎に角御主人がけさから元氣よいのは事實だ『どんな時でも愚痴を現さぬ人ですが今日は嬉しさうにしてゐますよ。尤も濱口内閣に入らなかつた時は氣の毒なほど沈んでゐました』と奥さん。うつかり本音を打開けてしまつた。家庭は主人夫婦に長男隆一郎氏夫妻の外てつ子(十)きく子(七)昭子(三)のお孫さんがある、麻布組の大番頭たるこの田中氏の邸宅は緊縮内閣に相應しからぬ堂々たるもの、先月半ば落成したばかり、然し隆三氏は月の大部分を大阪で暮してゐる、まだ秋田訛のぬけ切らない主人公の話振にはどこやら愛嬌がありなかなか逆説の名人であるが初對面の人には一寸近づき難いところあり、本人もお世辭など滅多にはない、その御當人がけふは一々訪客を玄關まで出迎へ『ヤアー、ヤアー』と愛嬌を振まく次第、このところ天下の春に廻り合ふ喜びで一ぱいだ

文相は辭任しても 内閣の基礎は磐石
萬事は歸京して後に……【濱口首相車中で語る】

【東京電報】濱口首相は二十九日午前九時東京驛着列車で歸京したが首相は車中において左の如く語つた
小橋文相の辭任については一切は歸つて見なければ何んとも云へないが假令小橋君に噂さのやうな事が實現するとしても政友會のいふやうに現内閣の基礎が動搖する事は斷じてない。從つて小橋文相の進退問題が萬一具體化するとしても決して世間で騒ぐ程の事は絶對にない。これ以上に何も言明出來ない云々

研究會の革正會派 醜類一掃を高調
◇…佐竹氏は有罪を待つて除名

【東京電報】貴族院研究會は二十八日午後評議員會を開き、疑獄事件の進展につき意見を交換するところあつたが席上曾我・大河内兩子等は研究會の一部にも疑惑高まり居る實情に鑑み疑獄の渦中にある者は潔白を證明せしむべしと說明一擲の第一聲をあげたが全會一致的の贊成を得るに至らずそのまゝ散會した、しかし曾我、大河内子等の革正派は近く幹部に會見證明問題につき進言すると共に司法權の徹底的發動を促すこととなる模様で、會員佐竹三吾氏に對しては有罪を待つて除名處分を提議する方針を決定してをり、今後革正派の活動は注目を惹いてゐる

首相を中心に 三相鼎座協議

【東京電報】松田拓相は二十九日午前八時小橋文相を私邸に訪問約四十分にわたり文相の辭任問題に關する協議を遂げ更に同九時濱口首相を永田町の官邸に訪問し小橋文相の辭任問題其他につき報告をしたが渡邊法相も濱口首相を訪問し三相鼎坐して小橋氏と越鐵および山手急行問題等の關係につき渡邊法相の報告に基づいて協議するところがあつた

輔弼の重責に顧み 須らく總辭職せよ
緊急幹部會を開いて 政友會聲明書を發表

【東京電報】政友會は二十八日午後六時半より本部に緊急幹部會を開き時局問題につき協議の結果左の如き聲明書を決定發表し同九時半散會した
國務大臣は天皇輔弼の重責に任ずるものなり、若し一閣臣國法に問はれんとし天下の疑惑を招げる時、之を奏薦せる總理大臣の責任は素より重大なり。小橋文相の免るべからざるを知るや濱口首相は内閣改造を行ひて時局を糊塗せんとするが如し、抑々現内閣が十大政綱を掲げて政治の公明、民心の作興、綱紀肅正を唱へながら文教の府に小橋氏を長たらしめし濱口總理の責任は斷じて免るべからず、況んや官紀全權に對する疑惑未だ解けず、渡邊法相の司法權濫用未だ正されず、疑獄の前途猶幾多の閣臣に及ぶや知るべからざる時においてをや、且つ十大政綱は畏くも夙に陛下に奏上せりと聞く、總理は自ら顧みて政治道德上何等責任なしとするか、小橋文相は國民精神の涵養を力說し國民精神作興の教化總動員をなしたる罪斷じて許すべからず、之れ小橋文相一人の責任にあらず、濱口總理は須く上輔弼の重責に鑑み下國民に對する責任に省み時に闕下に伏して罪を待つべきなり

安達内相頻りに 文相優遇を說く
大麻參與官は留任

【東京電報】小橋文相辭職後の善後方法については安達内相が頗る心配し總理と協議の上、適當な優遇を與へる意向であるが大麻參與官は小橋文相の懇留により辭任を見合すに決した

社民黨と時局 積極的倒閣の運動はせぬ

【東京電報】社會民衆黨では二十八日午後本部で中央執行委員會を開いて疑獄の大阪支部統制問題を議したがその席上時局について種々協議した結果、徒らに現内閣を倒潰しても後繼内閣が政友會又は中間内閣では大衆の利益は一層壓迫されるので積極的倒閣運動に努力しないことに一致した

全權、隨員 最後の打合

【東京電報】軍縮全權一行はいよいよ明三十日出發渡英につき二十九日午後三時より首相官邸に全權隨員一同參集最後の打合せ會を開くこととなつた

杜錫珪氏に 握手を賜ふ

【東京電報】天皇陛下には二十九日午後二時滯朝中の支那艦隊司令長官杜錫珪、同副官に拜謁握手を賜はつたなほ續いて近く赴任の駐西公使矢田七太郎氏に拜謁仰付られたなほ矢田公使は十二月二日發[illegible]丸で赴任する

時事小言
嗚呼佐分利氏

佐分利駐支公使が箱根富士屋ホテルでピストル自殺を遂げた、ナニ、そんな馬鹿な事があるものかと、誰も必ず一度は思ふほどの、奇怪な自殺を遂げたのだから、意外とも意外、いくら、自殺流行の世の中とは言ひながら、國家を代表して外國に使する全權公使ともあらうものが、さう輕々しく自己の生命を取扱ひ得る筈のものでもない。そこには、何かの理由がなくてはならぬ、佐分利氏は何のために自殺したのか、指が引金を引いて丸が飛び出して、萬事終る。唯、それだけのことゝして濟むることを佐分利氏の地位が許すや否や、それとも、神經衰弱がコウじて、精神に異狀を來したとでもいふか、對支外交は帝國の國際問題中の中堅で、現在滿洲事件未だ終熄せず、一方、日本との間には條約改正その他の重要問題が積まつて居る、日本に取つては、最も有爲の公使を必要として、多大の期待を屬して居るその本人が自殺したのだから日本の被むる打撃は大ならざるを得ぬ。

◇小村大佐がモスコーで疑問の自殺を遂げた時も、世界的に多大のセンセーションを呼び起したものだが、佐分利氏の自殺は一層の驚愕を各方面に與へるであらう。それにしても、近代の大外交家小村壽太郎を岳父に持つた佐分利氏の最後としては、あまりに、アッケなく、餘りに突飛ではないか、言ふまでもなく、兩國で險惡な對支外交の局に當るものの苦心は一方ならぬものがあるであらう、それだけ任務は重大な譯だ、殊に今が、肝腎の瀬戸際だ、アー困つたことをしてくれたものだ。

◇近頃世間の人が、自殺と聞いてフン又かと鼻であしらふほど各方面に自殺沙汰が頻發しつゝある、原因は何れにあるにせよ、生命を安價に取り扱ふは甚だよくない事だ。このよくない傾向の中に佐分利氏を見出さうとは全く意外だ、孤獨の寂寞と、職務の困難とが、氏の惱める魂を死に誘つたか、何れにしても取り返しの付かぬことをしてくれたものである。

訂正 前號本欄四段目六行目『小橋文相などもその一人云々』とあるは『小橋文相もその犧牲者の一人』の誤りにつき訂正

露飛機又々 ブハト襲撃

【ハルビン廿八日發電】二十八日午後二時ロシア飛行機十二機は又々支那軍の警戒陣地を越え、ハルビンの西方五三九キロの地點にあるブハトに多數の爆彈を投下し停車場構内電信所を破壞し死傷者を出した。かくて露支交戰の活躍はハルビンに近づきつゝある

一心同體となり 責任感の强い人
府尹には若手を選んだ 今回の異動方針につき【兒玉總監語る】

廿八日發表された第二次異動につき兒玉政務總監は左の如く語る
只今も挨拶に來た石川君(新任平北知事)にも話したばかりだが私は常に腹を切る覺悟で仕事をする人ばかりで一心同體の血の流れてゐる氣持でやつてゆきたい、これが私の主義方針で今度の異動も無論そのつもりでやつた知事以下地方官の更迭についても私は閥とか順序とかは一切考慮に入れなかつた一世帶であるから知事を中心にした組合せの圓滑を主眼とした組合せさへよければ地方行政の實績を擧げられるだらうと思ふ。府尹に比較的若い人を拔擢したのは、府といふものが行政的に見て何より先に發達すべき性質のものだから、新しい知識の持主に進歩的にやつて貰ひたいと思つたからだ。警務局課長にはりこの主義から内地から人を持つて來たのもや問題に對する新しい知識を持つた人が必要であると思ふ。今度の異動以外にまだ少し殘つてゐる分は十二月初めよりはすこしは遅れるだらう

道評議員改選
明年三月全鮮的に 各道別定員割當て

明年三月は全鮮を通じて第四回の道評議員の改選が施行されるがこれは去る二十日施行された京城府以下十二府の府協議會員二十四ケ所の指定面の面協議會員の選擧につぐ全鮮的のものであり、又一面には去る二十日の選擧に續いて十月一日施行された地方選擧規則が最初に適用されるものである、道評議會は道地方費の諮問機關であり定員の三分の一は道知事の任命する官選であり、他の三分の二は郡島に配當し府又は面協議會員の選擧した候補者について任命されるものとなつてゐる、各道の定員は左の如くである

	定員	官選	民選
京畿	三七	一二	二五
忠北	一八	六	一二
忠南	二四	八	一六
全北	二四	八	一六
全南	三四	一一	二三
慶北	三七	一二	二五
慶南	三三	一一	二二
黄海	二七	九	一八
平南	二四	八	一六
平北	三〇	一〇	二〇
江原	三一	一〇	二一
咸南	二五	八	一七
咸北	一八	六	一二
計	三六二	一一九	二四三

なほ現在の民選議員二百四十三名中内地人は慶北の四名京畿の三名を筆頭に他は一名が多く江原は内地人議員は一名もなく、十三道の内地人議員は計二十一名で二百二十二名といふ大部分は朝鮮人で占めてゐる

鮮米移出統制 圓滿に解決
施設は總督府一任 有賀氏よりの通電

鮮米移出問題については米穀調査會小委員會において審議中のところ今回左の方法により圓滿解決したる旨滯京中の有賀委員より甲子倶樂部へ通電があつた
【東京二十八日發】本日の小委員會において次の通り決議し圓滿なる解決をとげたるにつき取敢へず御通知す
內地に移出する朝鮮米の數量を月別平均的に調節するため總督府において適當なる方策を樹立すべし

遞信局で 電氣統制調査
明年度から 全鮮に亘つて敢行

電氣事業に根本的調査なく、その結果は現在の位置に見るが如き送電線の無用なる架設、水力の空費や天然資源の消失や、電氣事業に對する徒らな冗費を助長するので遞信局では朝鮮における電氣統制を行ふ計畫をたて、明年以後數ケ年の繼續事業で實行することに決定しこれに對する豫算を計上してゐる、右電氣統制は甲會社と乙會社との合併などを意味するものでなく、近く完了する水力電氣の基本調査と相待つて、鮮内における供給と需要とを考慮し、送電幹線の確定、水力發電可能馬力に對する出願の制限、その他を考慮し、一定の根本となるべき調査を遂げんとするものでこれが完成と、既の電氣事業令の公布により電氣事業者は遞信局の許可なく勝手な送電線の架設や、水力發電の出願等に可能以下の發電計畫は制限されるにいたるはずで、この計畫は結局需要者にも安價な電力を供給しうる結果となるので最も緊急を要する調査事項とされてゐる

―會―

◇朝鮮史料展覽會 本府朝鮮史編修會に於ては來る十二月一日午前九時より午後四時迄の間府内西小門町朝鮮史編修會に於て同會最近の採訪蒐集に依る朝鮮史料の展覽會を開催することとなつた

―人―

◇千田貞雄氏(全北土木技師)二十八日入京天眞樓へ
◇渡邊得次郎氏(日本紙業重役)同上
◇齋藤勤氏(全州製絲社長)二十九日朝入城南山屋旅館へ
◇三隅袈一氏(煙草會社重役)二十九日朝入城不知火旅館 ◆北川三策氏(同上)◆金森友三氏(同上)
◇楠田五郎氏(高等法院長)廿九日夜釜山へ出張
◇堀直喜氏(辯護士)大邱から二十九日朝歸城
◇佐藤圭四郎氏(本社記者)入營中の處二十九日歸社

今月今日

東京女子師範學校の開設、明治九年十一月廿九日。保守派は此の擧を告ぐ、家の凶なりとして當盛んに反對す。時に女子教育は消長あるも共に參政權要求とまで漕ぎ付けた
◇朝鮮間行里程取極約調成る、明治十七年今月今日。京城で駒印竹添公使と督辨との間でまとまる

あすの天氣 (30)

高氣壓は本邦の東北地方と北支那とに據がり朝鮮はその中間にあつて氣壓の配置が不安定である、南東岸は晴その他は一般に曇つて氣溫は昨朝より三度内外高くなつた、明日は次第に天候が良くなる

豫報 曇一時晴
廿九日正午 六・八(度)
廿八日最低 零下二・九(度)

獨逸を通して提出の 對露妥協條件
廿八日外交部から發表

【南京二十八日發電】王正廷氏は露支紛爭解決のため二十五日ドイツ政府を通じロシアに左の妥協條件を提出した旨、二十八日外交部から發表した
一、露支兩國は同數、第三國より一名を擇び共同調査委員會を組織し實地調査をなした上、双方の責任を明かにす
二、ロシアが右提案を應諾せば兩國軍隊は直ちに現在地點から[illegible]撤退すること
三、双方共責任回避又は相手國非難の如き言動一切を中止し、第三國の正當な判斷をまつ
四、斯くして東支鐵道その他一切の懸案を解決する

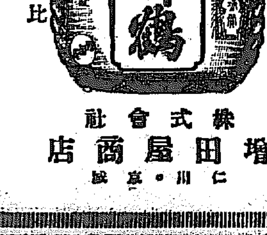
東北四省の外交權 實質的に還元す
◇…奉露單獨交涉を機會として 日支外交關係好轉せん

【ハルビン廿八日發電】過去四ケ月間にわたつてさしも紛糾した露支問題もいよいよ解決の時期に達したが奉露單獨交渉開始は一旦南京に移つた東北四省の外交權が實質的に還元した證左この結果日本對東北四省外交關係は必然的に好轉するものとみられてゐる

金線ミルク
安心して用ひれる 良いミルク
一番良く賣れる 新しいミルク
到る處の藥店にあり
發賣元 三井物産株式會社

本店 京城府南大門通一丁目十四番地 電話光化門長七六〇五番
株式會社 漢城銀行
取締役會長 白完爀
專務取締役 堤永市
支店 南大門、東大門、西大門、水原、大田、大邱、釜山、開城、平壤、平壤大和町、本町

鮮産第一 芳醇無比
鮮鶴
株式會社 増田屋商店 仁川・京城



大阪優良品商店
冬物 洋服品揃
商店ニ限リ生地見本相場表送呈
大阪市谷町一 石尾仁本店

ショール・首巻卸
蝶印洋傘問屋 横田商店
大阪市東區北久太郎町四丁目心齋橋筋
店卓申込型錄進呈 絶對正札、現金主義

スポン
宮田雑貨店

アイジ靴 冬物各種品揃
靴專門卸 山下芳松商店
大阪市東區南久太郎町心才橋筋
坂店ニ限リ型錄送呈

箱根富士屋ホテルで けさ佐分利公使自殺
會見の時は極めて元氣 幣原外相らも驚愕

【東京發至急報】佐分利支那公使は二十八日夜十二時箱根富士屋ホテルに投宿したが二十九日午前六時半ピストル自殺をしてゐたこと發見された（號外再錄）

【東京電報】歸朝中の佐分利支那公使は帝國ホテルに滯在し幣原外相等と共に二十七日外務省において支那の形勢今後の日支條約交渉方針等につき會議をなし至極元氣で自分の意見等を陳述し何等變つた樣子もなかつたが、二十八日朝箱根に赴き富士屋ホテルに投宿二十九日朝六時半ピストル自殺を遂げてゐたことを發見しホテルより直に外務省に急報して來たので幣原外相、吉田次官、有田亞細亞局長等は驚愕措く能はず直ちに午前十時東京發、谷亞細亞第一課長、藤井人事課長、佐分利氏の令姉ミツ子、公使の甥一武氏等は箱根に急行した

外務省では大狼狽

【東京電報】佐分利公使突如自殺の急報に外務省では日支通商條約改訂交渉を控へてゐるので大いに狼狽し幣原外相直に午前十時半濱口首相を訪ひこの旨報告し善後策を講じ、一方省內は吉田、永井兩次官、有田、武富、堀田、松永各局長參集、重要會議を開いた、なほ佐分利氏の遺骸は多分二十九日中に遺族知友にまもられ歸京するものとみられる

夫人を喪つてから寂しい孤獨生活
得度式も行ひ戒名ももつてゐた
原因は神經衰弱か

原因については外務省でも思ひ當たることがないので頗る不審に思つてゐるが頭目來支那外交の經過につき憂慮してゐた模樣もあつたが然しこれは直接自殺の

原因 とは思はれない、公使は往年關稅會議事務總長格として日支全權に隨從して北京に赴き活動中最愛のフミ子夫人（小村侯の令孃）を失ひ以來自ら本鄉吉祥寺住職に賴んで戒名を貰ひ得度式まで行つて一生獨身生活を續けることに決心してゐた、その後各方面から再婚を進められてゐたが公使は何れもこれを一笑に附して取り合はなかつた、そして過般支那公使として十月初め單身赴任し南京北平を經て本月歸朝したのである、公使は家庭を持たず常に帝國ホテルに滯在し休暇があれば箱根に出かける位のもので全く無味乾燥の

寂漠 たる生活を續けてゐる內に自然神經衰弱に罹つてゐたものと見られてゐる

て前途に希望を抱いたその頃の氏は今日人に接する折り如く非常な落つきをみせし居た、フランス語がすこぶる堪能で聞いて居ると、フランス人以上に瀟洒たる所があり、老熟な語學の持主として、敬服されてをり、また二三の趣味もないではなかつたがそれが今日まで累をおよぼしてゐるとは思はれぬ、同氏の夫人は、故小村壽太郎侯の令孃で現在の拓務次官小村氏の妹であるが、夫人との間については何等も承知してゐない、駐支公使として前公使の跡をついでこれからといふ時に突如この報に接して居るのでおどろいてゐる次第である

語學は非常な老練
鮎島氏語る

自殺を遂げた駐支公使佐分利貞男氏のフランス大使館時代について鮎島宗也氏は語る
佐分利氏が同大使館附三等書記官時代即ち大正二年から五年まで、私もともに大使館に居た、眉目秀麗な若き外交官とし

支那公使には誂へ向きの人
溫雅な風手物腰 佐分利公使のこと

その風貌、物腰、言葉つき、すべてが溫雅で上品で軟かい感じ、それでゐて一向外交官らしくないのが佐分利公使の特長であつた。一口にいへば

地味 な人であつた。しかし外交にかけてはなかなかの利け者、自主的外交の本山、幣原外相の智囊でいはゆるその自由的外交の實行者はこの佐分利さんといつてもいゝ。典型的な外柔內剛の外交官だつた。その思想も進步的で、早くから國民政府の同情者でもあつただけに支那に對する智識は深かつた。芳澤公使の後に支那公使になりうるものはまづ佐分利さん以上の適任者はなかつた。この點特にさびしい。ついこの間朝鮮經由歸朝したばかり京城にも立寄り、齋藤總督にも會見して歸つたばかりであつたが元來ハツキリとものをいはぬ性の人であつたから

自殺 の原因なども恐らく世間の想像に止まつてその眞相は佐分利さん一人が持つて行つてしまつたに違ひない。世間の騷ぎだけを後に殘して（一記者）

ら、自殺の原因もその邊にあるかも知れないが、全く見當がつきません

もう師走氣分

師走に入つて師走氣分は、そりやむかしの話、本町通りではもう店先きを松で飾つて、お正月ならいつでもおいでと、すつかり歲晚月の舖立だ。」

自殺した佐分利氏（左端）

（この十七日京城訪問の際京城驛で寫す、中央は堀內書記官、右は鹽崎外務書記課長）

日支親善の犧牲者
張學良氏談

【奉天二十九日發】佐分利公使の訃をもたらして張學良氏を訪へば左の如く語つた。
佐分利公使は外務省で最も支那に理解あり同情ある外交官であつた、日支通商條約改訂交渉を前に同公使の死は日支兩國のため非常な損害で日支親善の犧牲者とも考へられる、衷心から公使の死を悼む

孤獨生活が原因か
公使の甥石藤博士語る

【釜山特電】二十九日朝箱根富士屋ホテルにてピストル自殺を遂げた佐分利駐支公使の訃をもたらして、本日午前十時同氏の甥にあたる石藤醫學士を本町二丁目の石藤病院に訪問すれば手術衣をまとつたまゝ驚いて、夫人共ども語る
『佐分利は私の母の弟にあたり叔父、甥の間であるから、釜山を通過するたびに私のところに見へ、つい先日支那から京城を經て東上するときもすこぶる元氣であつた神經衰弱の樣にも見受けられず殊に箱根の富士屋ホテルに泊つてゐたのも、どうしたものか知らんと思つてをります、自殺したことが本當とすれば夢のやうに思はれます、佐分利の兄弟はみんな良く出來て、大阪合同紡績の社長をしてゐる兄と、その上の兄は、鐵道協會の理事をしてゐたことがある家庭の方では先年夫人と死別してから、孤獨の生活を續けてゐるたか

ずらり七十名 談合公判開廷す
傍聽者もおしよせて またゝく間に滿員

【大邱特電】既報の如く大邱土木談合事件の第一回公判は二十九日午前九時から大邱地方法院第一號法廷で金川裁判長係、桂津檢事係立會の下に開廷された、第一次土木事件の被告總數五十六名に公判開廷に至り新たに起訴された大邱並に京城の同談合事件の京城の四請負者を加へ六十名、それに第二次土木事件の被告十名を加へた合併公判のこととて、公判延も前に驚き被告家族、辯護士、新聞記者、傍聽者などの特別傍聽券が出し延外には數百名の傍聽者が押寄せ入で百名を越す有樣で開廷前すでに延外には數百の傍聽者が押しかけ午前八時から配布した傍聽券七十枚は瞬く間に五分間にして殆どつくした、何しろ被告七十名といふ大被告を公判に附したのはかつてその例を見ないので裁判所では特に警察官を配置しその混雜を防止したが、傍聽席に洩れた人々も立ち去らず閉廷まで門外に立つてゐた、開門と同時にまづ被告を入廷せしめ、つゞいて一般傍聽人に傍聽券を渡しつゝ一般傍聽者を入廷せしめ門戶をとざしこれ以外は一切の出入を禁じ公判は開廷された

市內半圓均一開始！
新ビユイツク號其他新車輛
自動車が綺麗で安全第一
タクシーの御用命は
御銀橋 京城タクシー
電話本局一〇四〇・二七四四

先妻を殺害

【新營發】新營旭町四七番地宋基龍許（ヨ）は本年四月離婚した先妻任氏（二三）が三歲になる男の子を置き去りとして男をつくつて龍岡面東洞里に飲食店を開いて居るのに嫉妬を感じ、これを殺害すべく二十七日午後一時頃龍岡面南百濟洞田里の山林中に待ち構へて同日午後四時頃歸り途を食刀に怨みをこめて同女の左頸部動脈をゑぐり更に全身十數ヶ所を滅多切りとして即死せしめ直に警察へ自首して出た

兩相告發事件は抗告

【東京電報】二十八日の政友會總會の席上西村代議士は「濱口、江木兩相告發事件は不起訴となつたが、五萬圓受授の事實は明瞭であるからこれを不當とし本件を更に抗告するに決した」と報告した。

打續く不祥沙汰に當局問責の叫び
近く開催の府協議會に相當の波瀾をみん

今回の府水道課雇員田中芳吉の公金四千余圓費消事件は岩佐節生公金七千八百圓費消事件の後を受け古河電氣より多額の收賄事件など打續く不祥沙汰に府民からの非難が囂々たるものがある

提起 せられたと時を同じうすることゝてこの打ち續く不祥沙汰に府民からの非難囂々たるものがあり更に種々なる醜聞を生むにいたるべきと見られ府協議員の相當問題となるべく、新府協議會にても府當局の責任を中心に相當の波瀾を演ぜん形勢である。右府公金の費消としての要請、議員事件に關し新府協議員齋藤秀雄氏は語る
私はまだ議員としては新米議員であるからさうした問題に關して自分の意見としての發表はさし控へたい、然し事件自體としては實に怪しからぬとて三十萬府民の血と汗のにじみ出るやうなれ細な稅金がからした上長の不注意からなる職員の手に橫領着服されてゐるなど誠によろしくないことである、それでこの事件につき當の本人を如何に糺彈して見ても何等の

效果 はない、勿論當人は悪いにはちがいがそれよりかこれを監督する位置にある者がいよいよといふまで知らないでゐたといふことと綱紀頹廢の尤たるものにで嚴然彈劾すべきものと思ふ
いづれにしてもこれはその根本に遡のぼつて糾明しこの不純なる世相を何とかするやうにせねばならぬと考へる

熱海の大火 湯治客七名燒死
けさ七時までに百卅戶を燒く

【熱海電報】二十九日午前二時頃伊豆伊東々海自動車會社より發火忽ち郵便局一帶に燃へひろがり午前七時頃までに百三十餘戶を燒きなほ延燒中で湯治客その他の七名は逃げ場を失つて燒死した

恩賜の軍刀に氣を吐く二人
龍山の中山中尉 大邱の立石大尉

陸軍大學では來たる二十九日卒業式を擧行するが、恩賜の軍刀を拜授する優等生六名のうち、二名は朝鮮部隊の步兵七九（龍山）と步兵八〇（大邱）聯隊將校で、こぞつて第四十旅團、名譽はこの上もないといはれてゐる。

中山中尉

步兵七十九聯隊中山要人中尉が恩賜軍刀を拜授することになつたのについて七十九聯隊を訪へば聯隊長代理高田中佐、聯隊副官白濱少佐は喜色を浮かべて交々語る
【高田中佐】丁度私が聯隊副官の當時中山君は旗手をしてゐた、その時分から頭腦明晰優秀な成績であつた、陸士の恩賜銀時計組で、陸大の優等も豫想してゐた、何にしても芽出たいことである
【白濱副官】中學校は特待生、士官學校は銀時計、今度陸大は軍刀組、すべてが物語つてゐる通り近來稀な秀才である得意は戰術で歸隊後は七九聯隊のため戰術指導に努めてくれ、大いに意氣が擧ると思ふ。平素非常な勉强家で、精力絕倫宇垣大將に私淑してゐた
なほ中山氏は明治卅三年生熊本縣人、大正七年、士官候補生として七九に入隊し十年陸士卒業同十月少尉に任官し十三年十月中尉十五年十二月陸大に入學今回卒業をするのであるが、家庭はアキ夫人との間に三歲の坊子さんがある（寫眞は中山中尉）

立石大尉

【大邱特電】步兵大尉立石方亮氏が陸大卒業にあたり恩賜の軍刀を拜受する報をもたらして步兵第八十聯隊に吉村聯隊長を訪へば語る
まだ僕の方へは何とも通知は來てゐない成績のいゝ事は前々から聞いてゐたそれに昨年十一月の大演習に上京した際本人にも會ひ陸大の教官にも會つて成績のいゝ事もきいたし首席の卒業は豫じめ知つてゐたが恩賜の軍刀が拜授出來たことは何にしても喜ばしい延いては我が隊の名譽である、本人は大邱隊に大正八年少尉に任官して以來本部付として今日迄あり大正十年陸軍戶山學校に長期講習生として派遣したがその時も拔群の成績で歸つて來た、その後中尉に任官本部付として大正十五年十二月陸軍大學に派遣しこの二十八日に卒業した譯で實に滿三年其の間克く校則を守り今回軍人最高の名譽である恩賜の軍刀を得て天晴卒業したのである
なほ同大尉は在學中步兵大尉に昇進により大尉となり第二大隊副官として滯在し來月七八日頃歸邱するはずでその歸りにあり卒業後數日間在京に家族は夫人と實母の三人である

職工三名即死す
瓦斯タンク爆發

【靜岡電報】靜岡縣駿東郡泉村平松五三三東海道裾野驛前近藤作所有工場の酸素ガスタンクが二十八日午後二時頃一大音響と共に爆發し、作業中の職工三名即死負傷者を出した、同工場は數間吹飛ばされ慘狀を呈してゐる原因は目下取調べ中だが未だ判明しない

三氏歸宅を許さる
大臺林業の背任橫領

【東京電報】大臺林業專務水谷孝三、常務西村友三、會計課長山岸謙三郎三氏は二十八日早朝より警視廳において取調べを受けたが背任橫領の嫌疑も薄らいだため三氏とも二十八日夜七時頃歸宅を許された

風熱に
ひとあせ頓服
ピロトン
一服でスツト効く
各藥店にあり

保溫に滋養と强壯
無臭ニンニクエキス
肺炎肋膜諸病に 鰻油
ニンニク（四十五日分金參圓）
鰻油（貳圓以上御望次第分讓）
御使用の方は左記へお尋ね下さい
京城府苑南洞一九五
井上又七

產兒制限
秘密嚴守 實費 實行

月やく 下し藥を買ふ人は先ず當所へ問ひ合せてから

專賣特許 金牌受領
りん病根治法
世界的大發明
酒も乘車も勞動も止めず自分で出來る世界唯一の確實なる療法
東京麴町永田町一の三 新富堂
朝鮮京城本町五の五
大阪土佐堀通一の四九

緊縮の秋
一冬一本
フエルトカラー

透視者倉永榮子女史は去月中旬始めて朝鮮に出張しましたが御蔭を以て透視的中致し御種々御引立を蒙り難有御禮申上ます而して最早歸鄉の積りでしたが有志者の御勸めに依り十二月五日迄延期透視致し直に歸鄉致します、女史の透視は運命、緣談、病氣、失物、商業、其他人事百般特に病原不明のもの最も歡迎します、鑑定料は從來貳圓以上の御志でしたが將來に於ける廣告の爲め金壹圓以上の御志にて取扱ひます尙社會奉仕的意味に於て御相談に依り無料又は特別の取扱を致します
京城櫻井町（櫻井小學校通）
倉永榮子女史
透視鑑定出張所

推薦廣告
京城商業會議所評議員
公認候補 田村作郎君
右最適任者ト認メ推薦ス
東部有權者有志一同

貴重なる御一票を
商議候補 都筑康二君へ
有權者有志

皮徽科 淋疾 徽毒 生殖器障害
京城明治町一丁目（浪花館東）
塩井醫院
電話本局三〇九〇

三十日 一日
難波謝恩大賣出し
謝恩日には多少にかゝはらず御買求めの御方に酬ゆ御禮へいたします
（內地名酒醬油も一割引）
銘酒 福迎 リツトル 正宗
釀造元 販賣所
京城府本町五丁目
難波酒造場
難波本店
難波支店

賜 賀陽宮殿下 山階宮殿下 御買上
愛知醫科大學御用品
健康沖一 家庭常備藥
冷え性の御方に是非に
婦人病 動脈硬化 痔疾 皮膚病 胃腸 其他
豫防に治療に
說明書請求せられよ

事業 發賣 特許 登錄 商標
浴精 六一〇バスハップ
老衰に悩む人に
大 3.50 中 2.30 小 1.00
大百貨店及一流の藥店に有り
發賣元 名古屋 武藤鉦合名會社藥品部
特約募集 全國に模範浴場あり
大特約店 マルミヤ商店 京城南山町二丁目
宮林商店 釜山大廳町二ノ一
清津出張所 清津港富町七

父義高儀商用の爲め咸北雄基に出張中去る二十三日午後突然卒倒死亡仕候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追て葬儀は來る廿八日午後三時櫻町妙心寺に於て告別式執行可仕候尙故人の遺志に依り花鳥御供物は固く御辭退申上候
男 森本丹之助
男 義昇

ラグビイ知識（九）（新作如右）

本山一彥　今角正義

本陣

競技圏での競技も興味は、また複雜なラグビーも結局は決勝線圏と本陣とを最後の目的とする攻擊に外ならない。

決勝線と平行に後方二十五ヤード線の距離にあるを死球線と稱し死球線に球又は持走者が觸れたり離つたりすると球は死す。」觸線の延長線を外側觸線といふ。死球線と外側觸線とに圍まれた局面な地域が本陣である決勝線は本陣であるが外側觸線は本陣外である。

本陣で主審に援觸の場合それが球なれば主審の認定でそれ〴〵占入又は抑止落蹴を興へ、それが攻擊側の持走者なれば占入、防禦側の持走者なれば抑止落蹴を興へる自己の本陣で球を手でおさへとめた場合決勝線を越した球が味方の蹴球であつた時には抑止となる。抑止の際は二十五ヤード線内から蹴らせるか落蹴に限られてゐる。これを抑止落蹴といふ。しかし決勝線を越した球が味方の蹴球であつた時には抑止ではなく退止となる。退止の際は最後の蹴球の地點で正規密集が命ぜられる。退止するといふに退止とは自己の本陣にかくなくて球をもつて逃げこみ又は故意に、または退却して或は路なくて球をかへすことだからである。退止は蹴球、落球、打球、持ち何でもあつてもいゝ。始蹴および抑止落蹴には左の制限がある。

球は直接に援觸（直接々觸）をしてはならずまた飛んでも轉んでも（反轉）も始蹴は十ヤード線まで抑止落蹴は二十五ヤードまで達せねばならない。若しそれまで達しないときは相手方は密集を認めるか再蹴せしめるか又は中央密集を選擇することが出來る。また味方は蹴球前より前に出られない。これに反すると始蹴の際は中央圏で抑止落球の際は二十五ヤード線の中央で正規密集が命ぜられる。卽ち中央密集である相手方もまた蹴球の始蹴の際は十ヤード線、抑止落蹴の際は二十五ヤード線を越えて前進することは出來ない。これに反すると再蹴を命ぜられる。本陣内でも直接觸球して自由蹴を請求することが出來る。本陣内で攻擊防禦側を問はず持走者の球を要球出來ぬやう封じとめることを本陣封止について本陣封止に對してはその地點と相對し決勝線から五ヤードの地點で正規密集が命ぜられるこれを五ヤード密集といふ。本陣内では正規密集が組めないので若し本陣内で正規密集を興へすべき反則が發生した場合には防禦側の反則に對して五ヤード密集が命ぜられるが五ヤード密集はこの二種の場合しかない從ものでもあり攻擊側の反則に對しては抑止落蹴の前投を防禦側が犯へれば勿論だが攻擊側が犯へても防禦側に抑止落蹴を興へる。

故意の反則の場合には防禦側の反則に對し攻擊側に占入認定、攻擊側の反則に占入否定、防禦側に抑止落蹴を興へる。

自己の本陣内で前者千興をしても罰せられないが決勝線後方から味方が蹴者の前に出ると前者となり五ヤード密集が命ぜられる。決勝線後方から味方が罰蹴、自由蹴を蹴るときには必ず決勝線を越さねばならず決勝線を越さないと再蹴を命ぜられる。得點の方法には占入、蹴入、自由蹴入、罰蹴入、落蹴入の五種がある。」

恐る可き……腦の早老

攝食上の注意と其の手當と心得

人間の腦は健康な人では四十二三歳から腦細胞に變化が發生しはじめ、以後年齡と共に增加する。腦細胞の分量がその人の生理の大小に正比例するとは限らぬが、この現象は大抵腦の老衰がはじまつた時の指標とされてゐる。いふまでもなく腦も身體の一部であり、食物や血液の狀態で影響が支配されてゐる、殊に初老の頃には腎臟の機能が衰へ、ひいては血液の狀態が惡化しこれが腦の早老を助ける原因となる事が比較的多い。これを防ぐにはなるべく蛋白質を制限し、殊にエッキス分に富んだ肉類を控へ目に攝る事は必要である酒やアルコールや興奮料は腦髓に作用し易いものであるからこれも控へ目にする事が安全である、カルシウム成分は齒ち齒りの強と骨髓部には相當多量に攝る事が必要であるが、中年以後は寧ろ控へ目にすべきである。その積ひとしてはムチーン質に富んだすぢや軟骨をとるがよく、卽ち煮こごりとして毎夕三十分位や、微溫湯のやすちに入浴は腦の新陳代謝を促す手段として最も適當である。湯治に出かけるとすれば鹽類泉なら硫黃泉、酸類の泉がよい。それも一月三回を超えぬがよい。海拔二千尺以上の高山は日光浴地帶に登つて紫外線にさらされたり、濃いエムナチオン地方に滯在する事は有害ではないにしても殊更に進んで行く必要はないと

風呂の煙突

口徑と長さ

家庭で風呂を立てる時は大概煙突を用ひますがこの煙突の大きさと長さの關係によつて火が充分に出なくてはならないのに、火がよく燃えなかつたり、或ひは又火はよく燃えてゐてもその火力が燃えただけ充分に發揮出來なかつたりする場合があります。かくの如きは無駄にまきを消費するばかりでなくこれから寒くなれば水および外氣の溫度が下つて來るから容易に風呂がわかず時間的經濟的に損失するとの關係をよく考へてつくらねばなりません。左にその口徑と長さの關係を記せば

口徑	長さ 直立の場合	長さ 曲の場合
四寸三	一二尺	一四尺
五寸	一八尺	二〇尺
六寸	一八尺	三〇尺
六寸五	二四尺	三六尺
八寸	二四尺	三六尺

これが丁度よい大きさでありますが口徑の大きさに從つて長くならねばなりませんが煙突がまがつてゐる時は直立の場合よりも下方の空氣を吸上げる力が弱りますからその長さも長くならねばなりません右の標準で煙突をつくれば火が充分に燃えて然も燃えただけの熱を充分に發揮せしめることが出來ます

今晩の課題

讀方（昭和四年釜山中學）

一、次の文の意味を書きなさい。

（イ）低回去る能はざらしむ。
（ロ）路頭に迷ふもの數を知らず。
（ハ）蠶を以つて一家を成す。」
（ニ）唯一場の夢に過ぎず。
（ホ）馬や牛はいろ〳〵と草を食む

二、次の語の意味の相違を書きなさい（例をあげて說明してもよろしい）

（イ）壯觀、壯圖　（ロ）趣味、興味　（ハ）苦心、苦行　（ニ）重大、重要　（ホ）存在、生存

三、次の語の中『新聞紙』に關係の最も深いものを五つ選んで下に線を引きなさい。

取調、上訴、論說、說明、印刷、被告、規校、活字、校正、刑務所、原稿、講師、物語、論轉

算術（昭和三年平壤高女）

1. 金60圓を3人に分けその比を3,4,5の比になるやうにせよ。
2. 一晝夜に10分進む時計は8時30分同に何分何秒進むか。
3. 正七角形の内角の和は10直角である、一つの角は何度か。
4. 三角形の板がある、その底邊は35糎で、高さが15糎である。その面積は幾平方糎か。

かぜふり

▲澤正が死んでからといふものは、どうも新國に活氣がなくなつた。彼が生きてゐれば、今ごろは疑獄事件だの、金解禁だのをやるに相違ない。」

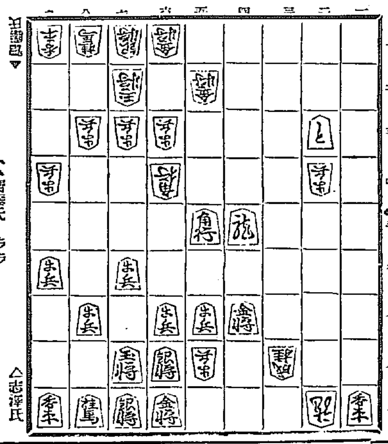
▲古い〳〵といつても、よく舊劇があるもので伊井、河合、喜多村なんていふ新派の舊派連が合同して、明治座で十二月興行をやるだけど、出しものが、『假名屋小梅』なんていふものに至つてはカビくさくてしやうがあるまい。

▲といつて、京城では京劇以來、とんと芝居といふものにお目にかゝらず。昭和四年もおさらばとは情ない。

將棋新手合（四）

平香交　香落
△五段　齋藤銀次郎（東京）
▲四段　志澤春吉（東京）
於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　蒲呂木將棋所

（圖は五五角迄の局面）



持駒　▲齋藤氏　歩歩　△志澤氏　銀桂歩歩歩歩

△五五角　▲同龍　△二八角　▲五四龍　△四六歩　▲五六金
△四八成桂　▲一八角　△同龍　▲同香　△五九歩成　▲同銀
△三六角　▲三四龍　△六九角成　▲同玉　△五九成桂　▲同玉
△四七歩成　▲六八玉　（以下次號）

（蒲呂木七段講評）

（上手）二八角打ちは駒の損を取り返へす意味である。
（下手）五四飛と逃げるのは、攻擊の順を狙つた強い手である。
（下手）一八角と打ち、攻防兩用の順を狙ふ、のは良い手である。
（上手）同龍と、敵角を取るのは已むを得ない、茲で、一九龍と指せば敵に六四桂と打たれて潰滅に陷る。
（上手）三六角打ちは、指し切り模樣となる故面白くない、茲は四七歩となる處である。
（下手）三四龍とよつて、敵角に當てるのは、敵を指し切りにする意味で至當である

來靑閣

三十日午后六時より　專門學校、大學豫科招待
法學辯論大會

十二月一日午后六時より
ハーモニカ演奏會
主催　タンゴ・ハーモニカ・バンド

十二月二日午后七時より
石島雉子郎氏講演會
―入場無料―
主催　京城日報社

十二月二日より四日まで（午前九時より午后五時まで）
現代一流大家　帝展出品日本畫
大展覽會
主催　東京美術協會

△△麻雀新規則△△

日本麻雀聯盟制　京城支部採用

麻雀遊戯はすさまじい勢ひで全鮮を風靡してゐるが、各地とも競技規定が區々として居て、頗る不便多く興味を減殺される點が多かつたので、日本麻雀聯盟朝鮮總支部では來る十二月一日永樂町共濟遊戯場に於て本社後援の全鮮麻雀大會を行ふ事を機會に競技規定の統一を策する事となり、此程東京麻雀界の元老なる高木應場（京城）麻沙良坊（麻雀聯盟）出又一（京城）大野襄六（京城）三宅荊千穂（大阪）その他諸氏參集協議の結果左の通りのルールを決定し、入會にこれを使用すると共に、次第全鮮に普及してルールの統一を行ふ事を申合せた

一九二九年度
麻雀競技規定

一、關張（方位莊家の定め方）珍客又は上位の人が振り出す二個の骰の目を合し方位を定め再び同一人が振出して莊子の分配（關張したる人を基準）に伴ひ座席の決定を見次に東位にある人關張して其の數に當りし人再び關張して莊家を定む

二、採點
（イ）點の收支　么二式（錢と子二對一）
（ロ）副底　二十點
（ハ）滿貫　大滿貫　五百點

三、和了の採點は高き率に依り和了したる人の自由意志とす
總べて點數の計算は四捨六入とす

四、平局
（イ）王牌非圖の末尾より數へて十四牌に達すれば無勝負とす、一槓ある毎に一個を增す）但し開槓なきときは連莊、開槓輪莊とす
註　海底牌を自摸したる人は任意牌を捨てること
理由　總べて自摸又は碰吃したる人は和了せる限り如何なる場合も打牌するを原則とす
（ロ）四槓並了　この際は輪莊
（ハ）九種么九倒牌、莊家なれば輪莊、散家なれば連莊は最初の自摸により九種となる莊家、散家共に配牌直後、散家も倒牌することを得
（ニ）三家和　槓なきときは連莊あれば輪莊
註　以上何れの場合も四圈の最後に生じたる場合は莊連とす

五、役
們前清（全部自摸に限る）（暗槓あれば們前清ならず）

役	
平和	一飜
對々和	同
混一色	同
混老頭	同
小三元	同
三暗刻（暗槓は暗刻とせず）	同
嶺上開花	同
搶槓	同
海底撈月	同
清一色	三飜
四暗刻（暗槓は暗刻とせず）	滿貫
小四喜和	同
十三么九（暗槓の搶槓を認む）	同
三元和	同
三槓子	同
九蓮寶燈（兩牌なく一氣通貫のもの）	同
字一色	大滿貫
清老頭	同
四喜和	同
天和	同
地和（散家が最初の自摸にて和了したるもの）	同

總べて九種么九倒牌、地和は他家の吃碰によりて最初の自摸の權利を失ふこととなし大滿貫に對しては特に大滿貫賞を呈す

六、罰則
（イ）和錯　散家二百五十點、莊家五百點但し他の者が倒牌せざる前に發見すれば訂正し得如何なる場合も一度倒牌すれば和了の權利なし（莊家が倒牌すれば輪莊、散家なれば連莊）
（ロ）錯碰、錯吃（不能和）下家の打牌せざる前に發見すれば錯誤を改むることを得
（ハ）多牌少牌（不能和）
（ロ）（ハ）共に得點を認めず

一、包牌
原則　三副露三飜を原則とす但し三元牌及連風牌は二副露にて包を成立せしむ
一、細則　三元牌の二副露及び連風牌を含む三元牌の二副露の場合連風牌若くは三元牌は包とす包を打ち露へ碰のみにて和了せずその後和了されたるときは前者の責とす
一、四副露の時は對々和を計上して三飜を構成さすべき牌は包とす

JODK プログラム

十一月卅日（土曜日）

午前一〇、三〇　氣象概況、各地天氣概況
同　一一、〇〇　料理獻立『スクランブルエッグ』『澄汁』日用品値段
正午　時報、ニュース
午後〇、一〇　ラヂオ學校『國學者のお話』（三）　濱口良光
同　二、一五　講演　題未定　救世軍少佐　石島雉次郎
同　三、四五　ニュース官廳公示事項
同　五、四五　ラヂオ體操
同　六、〇〇　童謠　獨唱と合唱　本茂雄　カナタ會員
同　六、三〇　ピアノ伴奏表　初等英語講座　笠谷保太郎
同　七、一〇　ニュース官廳公示事項
同　七、二五　講演（東京）　久米正雄
同　七、五〇　義太夫（掛合）　壺坂靈驗記
同　淨瑠璃　島市之助　お里　市之作
同　八、三〇　三味線　竹本祖太夫　東京音樂學校創立記念演奏（東京市日比谷公會堂より中繼）オラトリオ『ユーダス・マッカベウス』ヘンデル作曲、第二景及第三景
ユーダス・マッカベウス　木下保
祭司長　矢田部勁吉
同國民中の男女　長坂好子　田中宜子
同　岡田誠一
使者　伊藤武雄
管絃樂　東京音樂學校管絃樂部員
合唱　東京音樂學校生徒
音樂指揮　シャーレスラウトルップ
同　九、三〇　翌日プログラム發表　氣象概況、各地天氣概況、時報　ニュース其他（鮮語）
同　九、五〇　南道短歌と伽倻琴並唱　長鼓　韓成基　崔香心

明十二月一日より放送時間一部左の如く變更す
午後五時三十分―六時　各種講座（平日）
同六時三十分―七時十分　朝鮮側各種演藝及ニュース、官廳公示事項
同七時十分―七時二十五分　ニュース、官廳公示事項（邦語）
同九時三十分　臨時ニュース（不定期）
夜間放送最後にラヂオ體操

喜樂館（廿九日から）▲『血染の十字架』十卷阪妻主演　時代劇特作『明暗道中記』全八卷▲小唄映畫『名なし鳥』全六卷▲時代劇特作『傘張劍法』辻吉郎監督

大正館（廿九日、卅日二日限り）▲『偶然の鬪』八卷、阪妻主演▲喜劇『雷の父』七卷

ウテナ

專賣特許　赤津博士　有效證明

色白く　地肌から　美しくなりませう

色の黒い方…赤黒い方…蒼黒い方…
肌荒れする方…垢ぬけせぬ方…
ニキビ吹出物等のでき易い方…
あぶら顏の方…色艶の悪い方に…
滑らかな素顏に…
ゆかしい淡化粧に…
あでやかな濃化粧に…
いつも『ウテナ』を愛用なさいませ。

『ウテナ』は全國の藥店、小間物化粧品店、大百貨店にあります
どうぞ御近所の店でお買求めくださいー『ウテナ』定價一圓、二圓、三圓ー

菊かほる秋から……
やがて木枯し寒さ冬へ！
荒止めの御用意に『ウテナ』を！
「いつても、誰でも色白く
美しい幸福を迎へる歡喜の『ウテナ』を！

姉妹品
ウテナクリーム

雪印（無脂肪―ウテナ、バニシングクーリム）サラリとしてつけ心地のよい男女日常の美顏美術用クリームです。輕い淡化粧に、顏剃りの後に、お風呂上りに、いつも雪印を愛用なさいませ。

月印（中性―ウテナ、ハイゼニツククリーム）脂肪中性の荒止め、肌の榮養料、美顏マッサージ用、洗顏用に理想のクリームで、粉、煉、水白粉の淡化粧用として最も適します。

花印（脂肪性―ウテナ、コールドクリーム）脂肪の強いクリームですから、冬の荒止めに、濃化粧用に理想的です。夜間やすむ時用ふる睡眠中の美肌榮養料も花印です。

『ウテナクリーム』は三種類揃つて素晴しい評判です。
―全國の化粧品店、藥店にあります。正價雪印（無脂肪）六十錢、月印（中性）七十錢、花印（脂肪性）一圓―

東京本郷二丁目　ウテナ本舗　久保政吉商店

4.11―23　マサハル

綿

布團綿　中入綿　蒲團　卸小賣
京城本町四丁目　岩見製綿所　電話本局一六〇一番
支店　京城本町二丁目　電話本局六三三番

急告
安價ナル包裝ヲ御利用下サイ
◎鑛石入麻袋
◎古セメント袋類（加工改造）
新古鐵銅商　麻袋賣買
平壤府警察署通江岸へ
當所商店　電話一〇一三番

鞄と文化夜具入
旅行具は是非　高木へ
鞄各種及文化夜具入製造
京城本町一丁目三六　高木鞄店
同　一丁目一八　高木支店

◎キキメで賣れる！日東カゼ藥◎

十一月三十日
滿期兵お歸り
御苦勞さま
お風呂では
牛乳石鹸が
待つてゐます

ホーサン入
牛乳石鹸

N.S. 125

名乘を擧げた人々（五）

責任觀が強い

二級候補　宗在榮氏

龍山に在勤中格した宗在榮氏がまた名乘を擧げた、とりたてて特徴ずるだけの特徴はないが、前回取引上のある事情から未練氣もなく前職の椅子をいさぎよく辭したあたりは強い責任觀とテキパキとした決斷力に富んでゐる男と見える。現在中央製藥會社の理事として商工業發展のために敏腕に働いてゐるが、その努力と熱心さは大いに買つてやつてもよい、さあれ朝鮮人二級戰は無風狀態であるから當落のいかんは問題でないが今後どんな働き振を見せてくれるか期待して待つ

二度のお勤め

一級候補　李海承氏

二度のお勤めに出る李海承氏は現候補中で最年少者の卅三歳である材木商、皮革商として可成り人に知られてゐる。人となりは至極温順であり、それだけ人の信望も厚い人であるが、卅三といふハンデキヤップをつけてみると聊か寂寥が乏しい嫌がある。さあれ彼の前途は洋々たるものだ、今少しの意氣と熱とを以つて自ら任ずる少壯派の面目を今少しはつきりとさして貰ひたいものである

新顏中の新人

一級候補　内山寛正氏

突如として内山寛正氏が立候補を宣言したまさに潜航艇式の戰術である、これがために太平の夢は破られて、一級戰線は一齊に緊張した。なかには、浦賀驚頭の黑船騷ぎ位にドキリとさせられた候補者もあつたらしい。

◇

彼は明治廿七年生れの三十六歳、しかも「門」後の教養を受けた新進の男である、大正十三年渡鮮以來龍山に自動車販賣店を經營し現に京城自動車商組合の組合長であるが、このほか彼は又本町二丁目に山口樂器店を經營してゐる。自動車とジャズ、スピードと歐米時代の尖端を行くことを忘れぬ彼である。

◇今回の新顏候補中に新人を求めるとすれば彼を以て第一にあげねばならぬ、商議としての彼は未知數である。彼の明るい性格と、熱と努とに磨きをかけたならば、京城商議は後ればせのこの候補者に意外な拾ひものをしたことを見出す時節が遠からず來るべきを期待してやまぬ

群少運送店の續出を防止する

鐵道局が立案に着手

横合同の苦痛を緩和するといふ當面の問題より鐵道局は運送店の新店開業につき特に考慮を拂つてゐる模樣であるが、この問題は單に横合同にとつての大問題であるばかりでなく運合そのものにとつても重大な問題である。もとく運送店はその性質上相當の資格と信用を有するものに限り許可し鐵道に對しても相當の責任を要すべき性質のものなるに拘らず今まで全く放任せられてゐた關係上、運送店の認可にあたつて全く何等の調査もしない狀態であるから運送店は次ぎから次ぎへと續出して、微弱な業者は非常になやまされる結果に陷つてゐるが、鐵道局ではこの弊害を防止するため今後の運送店に對しては警務局と鐵道局が雙方意見を交換し、小運送の實情と、出願者の資力信用の如何を調査の上、許すことにする方針で具體案作製に着手し近く警務局と交渉を開始する筈である、で運合會社の創立と前後して警務局長から全鮮各道知事に向つて右の方針を示すことになるものと見られてゐる

横合同には充分同情する

鐵道局の意向

運合開始後横合同側が受ける苦痛の緩和方について横合同側では運合事務所でも鐵道當局に對して特別の考慮方を要請してゐるがこれに對して、鐵道局は左の如き意向を有してゐる

承認制度が廢止された今日特に横合同にのみ五分の割戻に相當する補助金を支出するといふことは法規が許さないから不可能である、しかし、横合同側の苦痛には充分の同情はもつてゐるから先日も一、二の人に何か合法的な案があるならば適當な手續で申出でられ度いと言つておいたが、當局としては全鮮的の合同が手間取るやうなことがあれば相當なことをしてやつてもいゝと思つて居る、當局は多少の案もあるが横合同側がこれに安心して仕舞つて全體的の合同に怠慢になるやうなことがあれば却つて大局を誤ることゝなるから愼重な態度で臨みたいと考へてゐる、なほ横合同側が苦痛とするところは單に五分の割戻がなくなつたことよりも、寧ろ、その後出來た新運送店と何等資格に限りがないといふ點にあるやうであるこれについては當局としては相當の案もあり、且つ新店續出を防止するためには恒久的施設も準備中である

明年の私鐵延長豫定

百四十六哩

明年度の鮮内私鐵延長については豫算の關係上當局は消極方針をとらなくてはならぬ立場にあるに拘らずすでに着手されて工事進行中のものも少くない、從つてこれ等は工事を中止せぬかぎり開通しなくてはならぬもので、私鐵延長は百四十六マイルとなつてゐる。その内譯左の如し

▲金剛山電鐵五兩金剛口間五マイル四分

▲京南鐵道、群山對岸項より板橋に至る十二マイル七分

▲朝鐵黄海線、海州、甕津間八マイル二分及び海州、鶴甲浦間五マイル

▲京東鐵道、水原金良場間十五マイル

▲南朝鮮鐵道、麗水、順天、寶城和順、光州間九十九マイル七分

砂糖共販の改造機運が濃厚

朝鮮から範を垂れよ

全鮮砂糖供給組合の値下げはしなくも砂糖共販の無統制力を明るみへ曝け出したが、最近來月擧行される來年度共販價格の協定をめぐつて共販組織改造論が一部當業者の間に擡頭して來た、即ち現行組織の缺陷として最も共販の機能を阻止してゐる點は一に特約販賣人が多すぎるといふにある、その理由としては各社の特約販賣人は各々自社の製品の賣込に主力を集中する結果、そこに各社の競爭が猛烈に行はれ、販賣し金額についても各社は競爭的に吊上げて特約販賣人を利用するといふ現狀では、當然協定値より割戻し新規の改選を見ることは當然だといふにある從つて共販を維持せんが爲には各社に利權關係少なき特約販賣人を一人と定め、これに對して絶對的の統制力をもたしむることが最善の方策であるとして、最近共販組合の共販組織研究當時においても有力な説となつて來た事實である、しかしてこの改造意見を具體化するとすれば朝鮮の如く比較的各社の競爭が激い方面でまづ實施し、然る後内地においても及ぶ方が有効であるとして鮮内當業者の一部においても大いにこの説を支持するに至つた、かくて、その改造期はいづれにしても、來月の協定會に於て現下の狀態に鑑み何等か具體的に組織が改造されんとする形勢にたち至つた

朝煙會社の相談役全廢説

朝鮮たばこ元賣捌會社は來る三十日の第四期株主總會において監査役の改選を機會に會社が合同當初よりの懸案である重役減員を斷行することゝし現在監査役五名の定員を三名に減ずることになつたが、同時に同社相談役全廢説が一部有力株主間に擡頭して來た即ち同社の相談役は現在十名であるが、合同成立して一年、會社は既に堅實な方針で地歩を占めつゝある今日、一種の名譽職たる相談役の席は何等必要はない從つて明年の取締役改選には更に取締役の半減を行ひ相談役も當然全廢は免れぬものと觀られるがその任免權を持つ總會前の取締役會議にて當局の意志に俟つところなく、會社側が自發的に全廢を決議するものとして株式も專賣當局も期待してゐると

鮮銀が兩鑛區を競賣

鮮銀では赤尾龍藏辯護士を代理人として新興鐵道社代表松方乙彦氏を相手取り二十七日咸興地方法院に咸南新興郡九平面所在の金銀、鉛、亞鉛鑛九十四萬余坪および咸北州面所在の鐵山十二萬余坪の鑛業權に對し競賣の申立をなした、鮮銀は右鑛區を抵當に大正十三年六月卅日前記鑛業會社に三十萬圓を融通したが、債務の履行なきため遂に右の處置に出たものである、がしかし咸興の鑛區は野口朝窒社長が慶北の鑛區は佐賀炭礦においてそれぐ受けることとなる模樣である

仁川の標準米變更

京畿三等に

仁川米豆取引所は廿九日午前十一時より役員會を開き明年三月限の新米建に對する標準米並に證券受渡しの査定額につき協議する所があつたが標準米は京畿道石拔三等米に改め査定額は六限までを一期として七限からは更に審議しなほすことになり尚ほ内地米の受渡代用はこれを撤廢することを決議し本府に申請することにして散會した

京取重役會

無配を免れぬか

京取では十二月三日同樓上に於て重役會を開き今期決算並に利益金處分案を附議するが、成績不振の爲め當然無配となるものと觀られた

新穀出廻り

二十八日鐵道局各運輸事務所管内における米穀發送高左の如し（單位トン）

釜山一、〇七八▲太田一、七二四▲京城六八七▲平壤一、二〇一▲清津一二▲合計四、七〇二▲累計一四一、九六四

中央物産臨時總會

中央物産會社臨時總會は廿八日同社樓上で開かれ

一、會社の現況報告

一、今後の對策

一、取締役及び監査役全部辭任につき選任の件

につき協議した結果、社長服部を除く外左の如く決定した

顧問　釘本藤次郎、渡邊定一郎、富田儀作

相談役　和田緯吉、命永七、尹希

取締役　成圭植、金容夏、芮宗錫、平井豐三郎、高橋章之助、酒井政之助、高橋寬之助

監査役　趙鼎漢、曹秉相

なほ總會終了後引續き重役會を開き今後の對策につき協議した結果社長および專務は殖銀および當局の意向をたしかめた上で適當な人物を物色することゝなつた

鐵道ホテル業績

鐵道局が經營するホテル及構内食堂の四月以降十月末までの營業收入合計七十萬六千四百九十圓二十二錢で豫算に比し約四萬七千圓の増收を見てゐる右の内鮮滿間會中即ち九、十の兩月の收入は旅客十一萬九千七百九十四圓十四錢合計二十一萬七千百九十二圓十八錢合計二十三萬六千九百八十六圓五十八錢でこの兩月の豫算に比し四萬六千九百餘圓の増收となつてゐる

土地經營の信託

土地經營會社では信託預金決算を三十日締切る筈であるが、今期預金は二十八日現在で二十四萬七千圓と前期末に比し九萬六千圓の増加を示し、配當利廻りは八分一厘四毛強に當り兩三日中に配當通知を發することになつた

株式（廿九日）

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
鐘新	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
大新	前	六〇・四〇	五九・五五	五九・五五	五九・二〇
	後	…	…	…	…
安取	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
東新	前	一二三・〇〇	一二〇・九〇	一二三・〇〇	一二〇・九〇
	後	一二一・三〇	一二一・三〇	一二一・三〇	一二一・〇〇

算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
京取	一八五	六錢	一七〇枚
仁取	…	…	…
同新	…	…	…
大新	六〇	二	一八〇
安新	七五	二	一〇〇
安取	一〇四	三	一二〇
鐘新	一三〇	三	一〇〇
東新	一三八	九	一三〇
朝新	一三五	九	一〇〇
殖銀	…	…	…
朝鐵三	…	…	…
日産	…	…	…

東株短期市場

銘柄		寄付	大引	高値	安値
東新	前	一二三・九〇	一二一・七〇	一二三・〇〇	一二一・七〇
	後	一二一・八〇	一二一・八〇	一二二・四〇	一二一・七〇

安東株式

	前寄	大引	前寄	前引
前	…	…	…	六・〇〇
後	…	…	…	六・〇〇

大株短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	六〇・四〇	五九・八〇	六〇・四〇	五九・八〇
	後	五九・二〇	五八・七〇	六〇・一〇	五八・六〇
鐘新	前	一〇三・〇〇	一〇二・七〇	一〇三・四〇	一〇二・七〇
	後	一〇二・九〇	一〇三・一〇	一〇三・三〇	一〇二・七〇
日産	前	一三五・二〇	一三五・五〇	一三六・三〇	一三五・〇〇
	後	一三五・〇〇	一三五・〇〇	一三五・五〇	一三五・〇〇
東新	前	一二二・七〇	一二一・八〇	一二三・〇〇	一二一・八〇
	後	一二一・九〇	一二一・八〇	一二三・四〇	一二一・九〇
日曹	前	九・一〇	八・六〇	九・一〇	八・六〇
	後	八・七〇	…	八・八〇	八・七〇

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	後引
大株	一四三	一三九	一三三・〇〇	一三三・二〇
同新	六〇・二〇	五九・四〇	五九・一〇	五九・七〇
日産	三三・八〇	…	…	…
同新	…	…	…	…
郵船	…	…	…	…
同新	…	…	…	…
鐘紡	二二六・一〇	二二六・一〇	二二六・一〇	二二五・七〇
同新	一〇一・六〇	一〇一・六〇	一〇一・五〇	一〇一・五〇
日糖	…	…	六〇・〇〇	…

短期建玉表

銘柄	賣方	買方	建玉數
京取	七	二	一・九〇〇
大新	二	八	六八〇
鐘新	一	一	一二〇
東新	三	八	二・〇一〇
仁新	…	…	…
安取	…	…	…

出來高　短期　四八〇枚　累計　三〇四・〇七〇枚　長期　枚　累計　枚　當日　枚　累計　枚

東京現株

銘柄	値段
東株	一三四・五〇
同新	一二三・一〇
拓新	四六・九〇
東拓新	一〇・五〇
同新	五一・九〇
富士紡	一五・五〇
日石	三六・五〇
滿毛	三・二五

期米（廿九日）

▲仁川

節	當限	中限	先限
前場 (一)	二五・一五	二四・八八	二四・九一
(二)	・四〇	・八〇	・九〇
(三)	・九六	…	・九〇
(四)	・九六	…	・九〇
(五)	・九五	…	・九〇
(六)	・九五	・八一	・九〇
(七)	・八九	…	・八七
(八)	・八九	・八六	・八八
(九)	・四〇	…	・八六
(十)	・六九	・七九	・八八
後場 (一)	納會	二四・七七	二四・九五
(二)	…	・八〇	・九二
(三)	…	・八〇	・八九
(四)	…	・七七	・九〇
(五)	…	・七七	…
(六)	…	…	・九四
(七)	…	…	・九一

帳入値段　當限　納會　中限　二四・八〇　先限　二四・九〇
取組高（石）　當限　納會　中限　六七・三〇〇　先限　一一一・七〇〇
出來高　三一・八〇〇　累計　一一〇一・三〇〇

東京期米・大阪期米・下關・兵庫・桑名

	前場	後場
東京 當限	納會	納會
大阪 當限	納會	納會
兵庫	二八・八〇	二八・八八
下關	二八・五三	二八・二五
桑名	二八・六一	二八・三三

引アト　七十六錢

鮮内延べ（廿九日前場）

	前寄	前止	後寄	後止
釜山 十一末	二五・二〇	二五・二〇	納會	…
十二中	二五・一〇	二五・一〇	二五・一〇	二五・一〇
十二末	二五・二〇	二五・二〇	二五・二〇	二五・二〇
一中	二五・〇〇	二五・〇〇	二五・〇〇	二五・〇〇
大邱 十一末	…	…	…	…
十二中	…	…	…	…
十二末	二六・〇〇	…	二六・二〇	…
一中	二六・〇〇	二六・〇〇	…	…
群山 十一末	…	…	…	…
十二中	…	二五・二六	…	…
十二末	…	…	…	…
一中	二五・〇〇	二五・〇〇	二五・一〇	二五・一〇

大阪期米喰合

	賣方	買方	取組高
當限	一・七〇〇	三・七〇〇	三・〇〇〇石
中限	一六・八〇〇	三・六〇〇	四・〇〇〇石
先限	二・七〇〇	二・二〇〇	一四・〇〇〇石

大阪棉花

	寄付	止め
前場 當限	休會	…
先限	…	…
後場 當限	…	…
先限	…	…

大阪市中外棉啗

	月日		
ストリクト・ミドリング	十一、十二	二二五・〇〇	二二六・〇〇
ブローチ	同	一一二・〇〇	一一三・〇〇
ベンゴール	同	三一〇〇	三二〇〇

◇右綿二十五センチメートル

	寄付	前場 同引	寄付	後場 同引
◇大阪綿絲 十一月限	休會	…	…	…
十二月限	…	…	…	…
一月限	…	…	…	…
二月限	…	…	…	…
三月限	…	…	…	…
四月限	…	…	…	…
五月限	…	…	…	…

◇横濱生絲

	寄付	止め
前場 當限	一二三四	一二三三
先限	一二三八	一二三八
後場 當限	納會	…
先限	一二三二	一二三二

◇現物最優等　一三〇〇圓

◇銅平銀

	前日 大引	本日 前寄	大引
當限	一二二〇	一二三六	一二三二
先限	一二三〇	一二三七	一二三七

大阪砂糖前後場

	寄付	大引
當限 前	休會	…
後	一二・八〇	一二・三六
先限 前	一二・五〇	…
後	…	…

大阪砂糖現物

日糖（ST）現物　二十一圓五十錢

市中米需給値	
丸キ四等新米	二四圓九〇
白米御値（石）	二〇圓八〇
仁川一等白米	二六圓五〇

京城手形交換高（廿九日）

枚數	三・三九九枚
金額	二・七六六・三六八・八六圓

落穗

▲定員に一名不足で内地人側二級候補は高枕たつたが▲廿八日夜になつてヒヨコリと二名の新顏が飛びだした△どうせこのまゝでは濟むまいと豫期されてはゐたが△いよく二名立つて一名超過となるとドキツと來た向も少くなからう▲これと同時に一方には頭痛鉢卷の候補者がだんく濃厚となつて來かけた▲が何と申すも御馴染の後釜に據ずやといふやうな人物が出て來ないので▲この邊は御内に潛在したまゝであるらしい▲この際利き目の多い贈位狀を贈つて呉れるやうな者は居ないものか。

海外經濟電報

倫敦銀塊　二二片二分一

米棉　紐育棉　印棉　小鰺安

英米爲替　日米爲替　スチール株　アナゴンダ株　感謝祭に付き休會

對外爲替鮮銀建値（廿九日）

對英　二志〇片十六分七

對米　四十八弗九分七

對支　八十八兩二分一

東京コール（廿九日）

翌日拂　一錢五毛乃至一錢一厘

無條件　一錢五毛乃至一錢一厘

普通　一錢五毛乃至一錢一厘

日銀帳尻（廿八日）

發行高　一三〇八、[illegible]　增

正貨準備　一〇六二、[illegible]

保證準備　[illegible]

鮮銀帳尻（廿八日）

發行高　一二〇、[illegible]

正貨準備　[illegible]

保證準備　[illegible]

大新台割れ

諸株不變

前場　二十八日後場依然不味の機先、今朝も東新のみは更に西兩市場の鬧らぬ商狀を入れて一歩後退し遂に六十圓台を割り出して五十八圓八十錢の新安値に終り後場も依然不締まる返しを居る中を大新は寄アト俄然氣乘り京證買で揉みの手合せがあつたから昨後場止に比し大新一圓十錢安東新二十錢安であつた

引際締る

後場　前場依然不圓の機先、十一圓下に寄付きたるも安値に依然買物あり引際は又も二圓餘に引返した、即ち昨後場止に比し大新八十錢安東新九十錢高であつた

對峙して動かず

氣迷深きため

人氣を集中してゐる東新株は取高が増大するにつれ今後の成行は最も一層豫想せられ日々の成行は最も度の新規主力筋の活動が開始せられんか興入の深甚な丈に大波瀾の惹起するは當然である。而も年末接近と共に經攻經の日も益々迫りつゝあるが現在の所そは未だ兆らず兩軍共に悲觀問題を中心に小競合ふと言ふ狀態で自重の態度を採つて居るので相場もこの處一張一弛を演ずるのみで活氣とてはなく自然仕手も氣乘り薄となり目下の如くなので東新株は命待ちと言ふ姿である

悲觀論から大新遂に暴落

東新市場は依然不透明なる小高下を繰返して居るとは言へ人氣は全くこれに集中してゐるに反し大株市場は過般來一時の採算株の如く動らぬ商内を減切り減少して大株市場は一人閑散を呈してゐるが、かくの如く人氣株にして人氣の放れたる大新の今期配當は當然一朱減の四朱配となるであらうと言ふ人氣が擡頭して來てゐるので東新安につれてもこれに羅はず反對に買乱して同一歩調もなれば反てしかも値から小口賣物にも賣方のうちに今朝は悠々に下げしかもかかる値は消え失せるといふ狀態で、六十圓六十錢の新安値を出現しその後無力のうちに今朝は五十八圓にして値は消えて賣物續出でついに五十八圓六十錢と更に新安値に崩れ賣方をして無然たらしめてゐた

値幅益々縮少

相場も金解禁問題を中心に不透明な小高下を繰返してゐるがさて解…

つよきよわき

株式　新東株相場は依然低迷して居る、即ち今朝の如き十一月に寄つて僅は二圓、その間一圓しか動かなかつた▲何分東京の仕手が四つに取組んだまゝ一寸も動かなかつたので、これが濟さのつくまでは動けぬが當然であらう▲時に市場は興味の薄く反落したのは大新が主役で、その一割より二十二日前場に六十圓の新安値を見せ今朝は又も五十八圓六十錢まで暴落した▲大株もいよく落ちブレ所今では人氣株の資格を全く失ひ一種の惡品株の如く見られてゐる▲何にしても年末は接近して來た

大取組を持つ新東もこれからよく戰端開始か

期米　流石は天下の堂島だ相場は大崩落と二度も三度も險けないが十一限の幕をとして見ると三萬余石の大受けと渡しとなつて居る▲しかもそれが渡方は安く多少の失敗は免れないのだから天下の堂島でないと一寸見られない醜態である▲從つて今後の問題は貰方がその受米を死蔵するかそれ共受取るか尻からさばけるか否やが見物である▲この十二限附は右の大受渡米をかけひきに一大激戰が展開されるか序戲かも知れない▲殊に年末にかけての正米需給は張騒ぎに甚大な關係を有するので相場は大分興味を深めてゐる

株式　大阪竹原證券株式會社特約店　京城現株取引市場仲買人　新田耕市商店　京城府黄金町二丁目　電話本局五五七〇、一九六　自宅二三九〇　賣買

商内依然見送

今朝も東新市場は依然小高下を繰返してゐるので仕手は僅して見送りしがあつたのみである。一方大新は松山の仕手筋物と大林の買物が出て來たが見送ばよく買ひ進んだ、即ち今朝の出來値、大新二一〇〇枚うち三〇〇枚以上の手口左の如し

今日の手口

大新　賣方　松山一一〇〇　京證一〇〇

東新　賣方　山中田一一〇〇　立山五〇〇

買方　大林一〇〇〇　近崎五〇

本玉

二十九日前場までにおける當市場五十當玉左の如し

京取　賣方新田六三〇〇京證一五〇德泰一二〇〇田中商四二〇▲買方金秀一八〇〇松山三〇〇京證一五〇

大新　賣方德泰四五〇〇▲買方松山二二〇〇京證一六〇〇新田一四〇〇

東新　賣方德泰三七〇〇立山一五〇〇▲買方正群六〇〇新田五〇〇立山三〇〇松山一〇〇

大阪三品休會

大阪綿糸棉花の兩市場は當ての受渡の爲め昨日後場に續き本日前場も共に休會なり

期米

投物續出し遂に崩る

前場　前日來下濫つて居る當市場は阪地の下げ一巡模樣になほ先物安く當限五十三錢中物四圓八十八錢先限四圓九十一錢と手堅く寄付アトは九十一錢から四十錢手堅く保合ひしが三節以降當限買方の投物で五圓臺割れ四圓四十錢と、先限も八十七錢と下押かれ八十錢と前場を終つた

後場　前場引續崩れし阪先で先限二十四圓九十五錢と突止より七錢高に初まりアト阪地の不變に二節九十五錢三節八十九錢と小浮動を續けてゐた

月替り後が相當興味あり

前日を以つて納會を告げた阪地十一限の受渡米が三萬二千餘石に達した事は採算不引合ひの折柄意外の大受渡であると同時に賣方が斯くも大量の米に失敗して渡米を敢行せし事が今後の策戰上より來て居るのは勿論今や中限の取組は各取引店の相殺玉を除いても十二萬石以上の大取組となつて居る、從つて買方はこの十二限に對しても玉讓讀の爲め背水の陣を張らざるを得ないし又一方賣方側に於いても一杯賣米を突きつけるに躊ひないから月が替つて十二月に入ると相當興味ある相場を出現するものと觀測されるに至つて居る

當限は安納會

今前場　納會を告げた當限は納會間際に至り受米忌避に投物現れ遂に五圓台割れの四圓四十錢と慘落を演じ賣方ハ利喰ひで漸く六十九錢に喰止めて最後の幕を閉じたが受渡高數は七百石で受渡値段は二十五圓十錢である因みに受渡米の内容は左の如し

渡方　五四〇〇石　[illegible]二〇〇石　[illegible]一〇〇石▲受方　[illegible]四〇〇石　[illegible]三〇〇石

下濫りの原因

阪地安にひし當所が下濫る傾のあるのは買方側に阪地筋先一派に釜山系の手筋が依然當據つてゐるのと人氣の當繰より地場の懷加減が幾分十げ發成に一致せる結果とみられてゐる

正米次第弱り

今年は籾の品質不良で合格米の出廻りが例年に比し著しく減少せるのみが今日に至るも籾は毎日相場の出廻りを見つゝあるが合格米の如きは僅かに五、六貨車に過ぎぬ狀態である、從つて少し纏つた品を買付けることは困難の情勢にあるが一方内地からの買注文は白米が主で玄米としては只東京方面から石拔三等米以上を當港んで來る位なものである、これがため相場商人が買付に一齊見送つてゐるので產地の賣物少くも正米は前評り次第弱の外ない狀態である

堂島情報【大阪電報】

大受の直後とて一と押しあらんと見られしも呆氣なく海商内閑散裡に朝鮮筋は阪割より八節までに一千六百石朝先より一千石程の拾ひ賃は自己の玉を通節百石宛還は世東京は牛尾より買つてゐた

大阪期米手振（前場）

賣方、村岡、芳賀、牛尾▲買方岡部、小河、太田

正米

仁川　⊕田三等二十五圓五十錢四等二十五圓十錢石拔三等二十六圓⊙四等二十四圓九〇（四等二十…）

仁川期米本玉表

當限賣方　⊕一一二〇〇　⊕四七〇〇

同　買方　⊕二、九〇〇　⊕五〇〇　⊕一、二〇〇カネメ一、〇〇〇

中限賣方　⊙四、一〇〇⊗三、六〇〇⊗三、三〇〇⊕一〇〇⊙六〇〇

同　買方　⊕五、九〇〇⊕二〇〇　⊕五〇〇カネメ一八〇〇⊕三〇〇

期米　仁川海岸町　蒲淵取引店　電話二六〇、三五七

仁川穀物出入（廿九日）

移入 米（貨）	（後）	二六九九
同 （叺）	（後）	一一〇九八
大豆（叺）	（後）	一二三五六
米（叺）	（叺）	三五六三
移出 米	（叺）	一二五〇
豆	（叺）	一〇七六九
輸入 米二斗入	（叺）	二〇三六
同 米	（後）	五一七〇
豆（叺）	（叺）	二六九九

大阪市中在米

二十九日現在高は百四十萬二千五百七十八俵と前月の在米に比較して二萬七千百八十俵の増加である

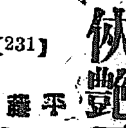
群山　米穀委員會で鮮米移出制限案が決議されたが其の方法は本府に一任とあるので其の成行きを注視し雙方の見送りに市場冷靜な米米關係に小口の賣物ありて氣配十錢方下迄び丸七三等二十五圓八十錢神力二十五圓二十錢見當であつた

大邱　各地不味乍ら廻米も少ないので換金を急ぐものなく賣物筋の兆々買ひ延べの氣乘薄と共に活氣無く相場發見二十六圓九十錢神力二十六圓丁度見當と合ひを唱へた

釜山　各地の不勢に今朝立會早々人氣崩れこみ月末接近に換金急ぎと相場も買手に頭るのやむなき狀勢となり氣配四、五十錢方崩れ安値は兆々移出筋の買ひあり慶北穀良廿六圓八十錢神力廿六圓五十錢慶南穀良廿六圓七十錢神力廿六圓丁度見當と付けられ結局六千六百五十叺の取引が出來た

大豆　長湍坡山連鎖三等十五圓三十錢南山白川十五圓十錢南市新幹十四圓卅錢天安平澤十四圓海州十三圓八十錢にて何れも賣方手控へに大部弱りの姿である

十四圓六十錢咸鏡北道米二十一圓二十錢上物白米七十三錢在來種大錢七圓二十錢白米⊕印二十六圓⊕十錢精米組合一等白二十七圓の出來値なるが產地の買物薄と地場賣入の買控へで取引は閑散である



侠艶靈劍【231】

平山蘆江作　鶴島一虎作　竹中英太郎畫

落葉時雨（三）

朝からどんよりと薄曇つて今にも泣き出しさうな空模樣、此處品川宿は海晏寺東海寺、品川寺普門院の山門前。川崎の方から急ぎ足に來かゝつた一丁の駕籠、

『兄貴どうやら降つて來さうだ。折角だが此處で話をつけて貰はうぜ』

『うん、さうだなア』

と云ふかと思ふと、駕籠はとんと山門前の銀杏の根方におろされた。

『駕籠屋、此處は宿場でもないやうだが』

と、駕籠の中から客が云つた。

『宿の一寸手前の普門院の山門前で御座んすよ』

『さうか、早く日の暮れぬうち深川へ飛行つて貰ひ度い』

『お客樣、誠に相濟みませんがね此處でおりて頂き度えんで御座います』

『何……何だと』

『何時迄も氣の濟む迄乘つてお出なせえと云ふ事さ。俺等これで御免蒙るからなア。兄貴行かうぜ』

と、憎々しく云ひ放つて駕籠を投り放しで立ち去る樣子。

『待てッ。不埒者奴ッ』

客は堪り兼ねて駕籠の中から躍り出した。それはたかと思ふ程やつれ果てた然も無腰の若い男、寬十郎だ。

『さては雲助奴は、何時も此の手で旅人を苦しめてゐるのだなッ』

『どうとも勝手に御推察なさいまし』

と、相手は旋れ切つた病人と見てか、雲助二人は恐れ氣もなく駕籠のそばに立寄つてかきあげやうとした。

『待てッ、貴樣達がその心算なら

『此處で……それは困る。だから最初乘る時に左樣申したではないか。深川迄通しでやつてくれるたら乘つてやらう。と、その時其方達は何と申した』

『その時は確に御約束致したにや相違御座んせんが、御覧の通り今にも降つて來さうな空模樣。あつしら共は雨具の用意もしてみませんので、御氣の毒だがどうか下りておくんなさいまし』

『雨が降り出しさうなら猶の事、左樣な事を申さず最初の約束通りやつてくれ』

『折角だがお斷り申します』

『お斷るッ』

客の聲調は急に鋭くなつた。

『それではお主等は濟むと思ふか、覺弱は酒取りにして置き去し、それでは盜み取りと同樣だッ。拙者は斷じて駕籠をおりないから左樣思へ』

雲助の樣子では客は狼せてある駕籠の中に顏を見合せたが、急に態度がからりと變つた。

『斷じておりねえつて云ふのかい面白えゝをりなきやをりねえでもるかいゝや。雲助宿がるなくても雲助が駆くと思つてゐるのか、べらぼうめ』

『拙者にも考へがある。この雲助ばらを懲らしめてやる所はならぬ』

と、寬十郎はよろめく足を踏みしめて、雲助の手から駕籠の棒を取つて突き退さうとした。

『兄貴いゝか』

『おつと合點だッ』

ひとりが駕籠を空にそらしたかと思ふと、ぽんと肩を入れた。

『それッ』

『よし來た』

すかされて思はず、ふらくと前にのめつて、銀杏の幹に手をかけて振向いた寬十郎の眼の前を、駕籠かついだ雲助二人、まるで飛ぶやうにもと來た方へ驅て行く姿……

『落ちぶれると雲助づれにまで馬鹿にされる。俺ももう おしまひだな』

不思議と腹も立たなかつた。何ともいひやうのない、寂しい心持で……それを通り越した既の心境だつた。彼は靜かに銀杏の根方に腰をおろした。ばらばらと銀杏の葉が吹雪のやうに散つて來る。普門院の本堂では、夕べの讀經が始まつたらしい。寬十郎は夢現のやうにそれをきいてゐた

世界聖典全集

見よ!!全人類の法燈!!莊嚴こ神祕の一大寶庫!!

我々は一こ通りマルクスを知つた。マルクス論理の盡きる所に宗教は始まるか、マルクスに先行するか―こまれ我々の心性は究極に於て宗教へ歸へらればなるまい。既成宗教の研究は現在の墮落せる宗教制度の中にはない直接始祖の聖典へ！

前輯書目 全十五卷
1 日本書紀神代卷 加藤文學博士篡註 全
2 四書集註 上 宇野文學博士譯
3 四書集註 下 宇野文學博士譯
4 聖德太子三經義疏 上 高楠、佐伯、菅原譯
5 聖德太子三經義疏 下 境野、菅原、鼎譯
6 印度古聖歌 高楠文學博士譯 全
7 耆那教聖典 鈴木重信譯 全
8 アヴェスタ經 上 木村鷹太郎譯
9 アヴェスタ經 下 木村鷹太郎譯
10 埃及死者之書 上 田中逸譯
11 埃及死者之書 下 田中逸譯
12 新約全書解題 高木神學博士譯 全
13 新約外典 杉浦哲學博士譯 全
14 コーラン經 上 坂本文學博士譯
16 コーラン經 下 坂本文學博士譯

後輯書目 全十五卷
1 古事記神代卷 加藤文學博士纂註 全
2 道教聖典 小柳、飯島譯 全
3 ウパニシャット 一 高楠博士外三氏譯
4 ウパニシャット 二 木村博士外十一氏譯
5 ウパニシャット 三 宇井博士外二氏譯
6 ウパニシャット 四 高楠博士外十氏譯
7 ウパニシャット 五 長井博士外十氏譯
8 ウパニシャット 六 宇井博士外八氏譯
9 ウパニシャット 七 木村博士外十一氏譯
10 ウパニシャット 八 高楠博士外十氏譯
11 ウパニシャット 九 高楠博士外八氏譯
12 舊約全書解題 石橋文學博士譯 全
13 舊約外典 杉浦哲學博士譯 全
14 アイヌ聖典 金田一文學士譯 全
15 世界聖典外纂 諸大家著 全

豫約募集 本日〆切

全三十卷 一冊貳圓五拾錢 內容見本進呈

(第一、二回配本は御申込みと同時に即時配本)

第一回配本 コーラン經 (回々教)上・前輯第十四卷
印度哲學 ウパニシャット 全書 (婆羅門教)1・後輯第三卷

次回配本 新約外典 全 (基督教)前輯第十三卷
古事記神代卷 全 (神道)後輯第一卷

注意 甲種會員には兩書を、乙種會員には「コーラン經」のみを配本

有川治助著 ジョン・ワナメーカ 人及びその事業

六十版突破!! 本書一冊は百千の商業教科書に勝る

定價壹圓五拾錢 送料二十錢 四六判 四一七頁

發行所 東京市芝區愛宕下町 電話芝(43)二二二二 振替東京八四〇二番 改造社

京城日報 朝刊

CHEVROLET

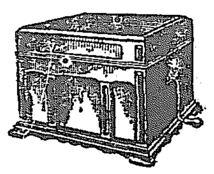
タクシー界の最流行車 シボレー幌型を お買ひ下さい!

日本ゼネラル・モータース株式會社 特約販賣店 シボレー ポンテアク オークランド

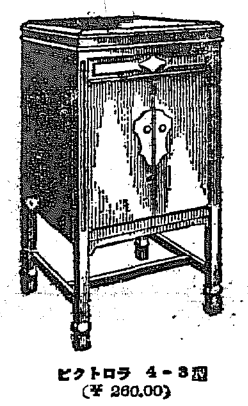
W・W・テーラー商會 京城府太平通二丁目

日本ゼネラル・モータース株式會社

ビクターの蓄音器



ビクトロラ 1-90型 (¥150.00)



ビクトロラ 4-3型 (¥260.00)

ビクターが導く世界の愛好家に送る最新式の蓄音器でありまして凡て近代科學の精華は悉くこの箱の中に蒐めてあります。サウンド・ボックスはオルソフオニック式ですから音響は優美であり、音量も充分です。キヤビネットを日本で製作いたしました結果、定價は從來の半額になりました。而も、品質は從來の輸入品と全然同一であります。

日本ビクター蓄音器株式會社

朝鮮地圖販賣元は 京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部 (一覽表進呈)

科學知識

十二月號 定價五十錢 送料二錢

化學戰 總動員と科學教育…大島正德
給そら事の肯定…西田正秋
硝子の曇るわけ…學士
豐富な 南洋の林產物…三浦博士
水上機の爭霸戰…海軍大佐 廣瀬彥太
木炭の標準規格…鳥居工學博士
航海者の守神 鱶と海豚…海軍大佐 雨宮厚作
金とその合金…工學士
英國大飛行船の完成…
乙伯號の世界一周同乘記…
茸が踊るといふ話…石川光春
ラ式蹴球の技法…清瀬三郎
通俗自動車物語…工學士
ルイパストゥール小傳…新井誠夫
蘭領東印度への旅…妹尾秀實
二大國際會議の盛觀
鋼管鋼材工場視察記
臺灣往復飛行の壯擧
我が考古學の發祥地大森貝塚
印度の巧妙な鴨獵…
望遠寫眞 フクロフの營巢…

東京市麴町區丸ノ內二ノ六 財團法人 科學知識普及會 振替東京四六六〇貳番

資本金五百萬円 朝鮮火災 本店朝鮮京城

宮內省御用達 菊正宗 京城 龍田商店 釜山 本嘉納釜山支店

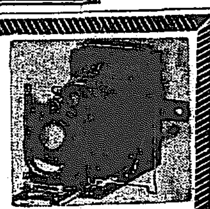
營業課目 米穀貿易 委托販賣 外米輸入 私設倉庫 一般倉庫業 保險代理業

朝鮮鎮南浦 新井新藏商店 電話長 四四六 三四七 振替口座京城一四九 電略(ア)又は(アライ)

專賣特許 第 三四 八二 三八 三〇 七二 號

ゴム 八 日 カタログ進呈

發賣元 仁川宮町 ゴム日工作所 電話長九八二番 振替京城一六四八一番



當店直輸入ノ寫眞機ハ必ズ皆樣ノ御氣ニ召ス事ト思ヒマス 家庭用活動寫眞機、映寫器等モ御座居マス、其他材料ノ御用命モ是非當店へ

◎顧客本位 ◎賣買現金 ◎薄利多賣

奉天浪速通六 木村洋行本店 電話長一五三三 一五四四 一五四五

支店 大連市西通二ノ三 電話六七四九

遞信省指定 京城第一自動車學校

生徒募集(入學隨意) 京城自動車研究所 創立十週年の實績により

校舍新築內容充實理想的設備 新シボレー、新フォード、ハップ、オーバランド其他各車廣大なる實習場に於ける教授振を見よ、二錢切手封入申込次第規則進呈 京城府黃金町六丁目(朝鮮院前)

資本金參千萬圓 株式會社 朝鮮殖產銀行 京城府南大門通二丁目

月賦又定期償還方法に依る勸業資金貸出の外普通銀行業務を取扱申候

電話本局長 四〇五〇番 頭取 有賀光豐

支店及派出所

京畿道 忠淸南北道 全羅南北道 慶尙南北道 黃海道 平安南北道 江原道 咸鏡南北道 內地 外地

仁川、淸州、公州、全州、光州、大邱、晉州、釜山、海州、平壤、新義州、春川、元山、咸興、淸津、大阪 外各地

右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候 商業會館及預金貯金出納所ニ於テ朝鮮府營銀行ノ代理業務トシテ取扱申候

忠南大田名物 リンゴ カステラ 大田 中田堂

寫眞機と材料アルバム類 思い切つて安い 釜山辨天町一丁目 電話二一七五番 山崎寫眞機店

小粒 大粒 仁丹 消化器 口中香劑 ポケット必携

仁丹金言小話

東鄕元帥は平生から無駄な言葉を言ばれないので有名であるが、赤道直下を走る船の上甲板で海を眺めて居られると其處へ一人の船客がやつて來て『如何です大變な暑さではございませんか』と言つたが元帥が默つてゐるので、今度は少し大きな聲で『どうもお暑い事でムいます』といふと元帥は鳥渡※振り向いて其客をじつと見てから『心の持ちようでござります』と唯一言だけいつて又た默つて海の上を眺めて居られた ※客は自ら恥かしくなつてコソ／＼と立ち去つたといふ。

◎智は心に在りて口に在らず(シラア)

銀粒新製仁丹、仁丹純露石鹸
仁丹の煉歯磨、仁丹型体温計
仁丹のハミガキ、仁丹歯ブラシ

飲み易き肝油

三共肝乳【特許】

三共の藥品

生長期の虛弱兒童には唯一無二の滋養強壯劑なり

さわやかな香り……心地よき酸味

兒童は喜んで服用すべし

約10倍量の水又は溫湯でうすめて用ふ

250瓦入 500瓦入の二種 (文獻贈呈)

東京室町 三共株式會社 大阪、臺北、紐育

藥種賣藥 卸專賣 月刊時價表及定價表御請求次第進呈 釜山辨天町一丁目 合資會社 大黑商海堂

軍縮會議全權 けふ華々しく出發
―午後三時横濱解纜―
◇…大角鎮守府長官飛行機で送る

【横須賀廿九日發電】ロンドン海軍々縮會議に帝國全權として出席する若槻、財部兩全權一行はさいべりや丸で三十日午後三時横濱を解纜するが埠頭には各閣僚外海軍高官が見送り、又臨送艦、潜水艦の見送りの外大角横須賀鎮守府司令長官は飛行機上からさいべりや丸の甲板にメッセーヂを投下して一行の行を壯んにするはずである（寫眞は上若槻全權、下は財部全權）

擧國一致成功を祈る
さきの三國會議に全權たりし 齋藤總督往時を追想して語る

若槻、財部兩軍縮會議全權の鹿島立を前に先年ゼネヴァの軍縮會議の全權として思ひ出多い齋藤總督は語る

ゼネヴァのときは日、英、米の三國であつたが、こん度は佛、伊二國が加つて五國となつたから會議も餘程複雜にならうが、日本としてけ既に訓令案も出來上つて國策が一定してゐるからその點は非常に樂だらう。私の行つたときには三國とも會議の席上で案を出し合ふことになつてゐたので、それまでは三國とも他の二國が何を出すか心配でならなかつたものだ。從つて會議が初つてから訓令を仰がねばならず、その間には色々細い問題までが飛び出して來る一番困つたことは會議半ばに内閣が倒つた（若槻内閣から田中内閣へ）ために些細なことまで電報で打合せをしなければならなかつたことで、なかく氣苦勞があつたものだ、このときばかりは電信などいふものがなければよいと思つたよ。今度は海軍大臣自ら出かけるし日本の方針はちやんと定つてゐるから協調やりよいだらう。兎も角も擧國一致成功を祈つてゐる」

田中新文相の親任式行はる
廿九日午後五時

【東京電話】濱口首相は廿九日午後三時半參內、上奏御裁可を仰ぎたる結果 天皇陛下には 同五時宮中鳳凰間に出御、首相侍立の上左の如く親任式行はせらる。

任文部大臣 從四位勳二等 田中隆三

同時に小橋文相の辭表御聽許あらせられた

依願免本官 文部大臣 小橋一太

各閣僚も異議なく承認
あつさり濟んだ きのふの閣議

【東京電話】二十九日の定例閣議は午後一時首相官邸に開會、濱口首相より小橋文相が本日辭任を申出られた、同氏には氣の毒であるが現内閣は目下金解禁、ロンドン會議等の重要問題を控へてゐるから、この難局を切拔けるためには速に後任文相を決定したい、後任者は四圍の事情から田中隆三氏を最適任と思ふから直に内奏の手續を執り、本日中に親任式擧行を奏請したいと語り、各閣僚も異議なく、これを承認し、閣議は一時間半にして散會した

田中新文相上機嫌で語る
立憲政治は指導でなく指導されるもの

【東京電話】親任式に參列して首相官邸に歸つて來た田中新文相は上機嫌で記者に語る

ヤア有難う、大臣になつたがさて抱負といつて別に何もない、然し一寸感想を述べて見るなら私の從來の經驗では總じて物事といふものは人を相手に決めねばならぬことと物を相手に經營すべきことに分れる、後者は相手が物のことゝて事業は何の苦情も持込まぬが間違つたことが續けば何時か大きな缺損を見ねばならぬ、これに反し前者は相手が人のことゆえ一人寄れば文句が出る、非常に面倒なとのやうに思はれてゐるが、實際は必ずしもさうでない、人の文句や苦情を親切な指導と思ひ有難いと心得てこれを味あふやうにしてゐれば間違ひは起らぬ、文部省のことは不慣れだが理屈は矢張り同じで、最も基礎的な小學校のことにしてからが相手は皆人だから間違ひがあれば文句が出る、よくその訴へ求める處を察していけば大した過ちは仕出かさぬ、立憲政治は民衆を指導するものでなくて民衆に導かれ流れに從つてゆくことを本旨とせねばならぬ、大臣になつたからとて大威張りで大きなことを並べ立てると兎角間違ひが起る、私は民衆の指導と周圍の監視に依り滯ちなく大任を果したいと思へてゐる

そう突飛な新味は出る筈がない
今度の異動はみな止を得ないものばかりを動かした 齋藤總督語る

齋藤總督は第二次異動、其上その他について次の如く語つた

今回の異動はみな止むを得ないものばかりを動かしたまでゞ新味が足らぬといはれても、朝鮮内だけで人を遣り繰りすれば誰がやつてゐるから、詰局こんなもので、そう突飛な新味の出て來るはずがない。人事について内鮮人替もよいが、これは双方餘程うまくゆかぬと却つて面白くない。朝鮮にも内地に來つて立派にやつてゆける人にあるし、内地から[illegible]い人を呉れゝば問題はないが、どうもそうはかしはゆかぬものだ。殊に朝鮮では一年二年經たねば事情がわからず、仕事が出來ぬから内鮮人替はなかく六ケ敷い

東上 私もなるべく早く東上しやうと思つてゐるが、いろく研究中のものもあるので、それが、大體かたまつてからと思つてゐるから二、三日、五日のうちには出發出來まい

新任挨拶のため廿九日本社を訪問した森岡警務局長（中央）

財部全權ステートメント
出發を前にして發表

【東京電報】財部全權は出發を控へ二十九日午後記者團との公式會見にて左のステートメントを發表した

海軍々縮問題に對する帝國の方針は數次の言明並に對英回答により中外に明かにせられたる通りにして更めて申述ぶるまでもなく、誠心誠意を以て列國と協商し國防の安固を期すると共に國民負擔の輕減を圖り世界の平和に貢獻せんとするものにして、これがため單に軍備の制限に止まらずこれが縮小を實現せむとするにあることは世人の熟知する處なり、而して帝國海軍々備は他を脅かさず唯自ら守るに安ずるものにして、敢て特定の一國を目標としてこれと敵對せむとするが如き意義を有するものにあらざることは又數多の機會に於て闡明せられたる處なり、今回の海軍會議に於ける軍備問題の討議が不脅威不侵略の精神を以てその出發點と爲さんとする趣旨は全然これと合致するものにして、英米その他の國にも亦均しくこれを認むべきは我が國民と共に確信する處なり、會議が圓滿なる成功を期する爲め帝國が豫備的會談に最も重きを置くことは既に對英回答にてもこれを明示せる處にして、既に倫敦及び華府に於てこれら會談が進行中なることは周知の事實なり而してこれを公表するを得ずと雖もだこれ迄の會談中には我が國の主張に對する英米兩國の態度は我が國の說明に最も理解ある同情と誠意とを充分讀知するに足るものあり、帝國亦至誠と率直とを以て列國の立場を尊重し隔意なき相互諒解の上に立ち、着々本會議開催の準備を進めつゝあることを茲に言明し得るは最も欣幸とする次第なり、帝國の公正穩健なる主張に對し擧國一致の後援を得て本會議の公正圓滿な成功を期するものなり

文相が更つても對議會策は不變
もう内閣は微動もせぬ 濱口首相語る

【東京電報】小橋氏のことは遺憾千萬であつた、兎に角文相の更迭もすんでこの上いろんな噂を立てるものがあらうとも內閣の基礎は微動だにせぬつもりだ、なほ君國のため、なすべき多くの仕事を有してゐる、來議會は解散方針で行くかいなか總理の私から今斷言し得ぬが、文相更迭によつて今までの對議會策は變らぬ

繰上げ多少解散の時期を早むべしとの意見が有力となつて來た

政務官は留任に決定
新文相文政方針協議

【東京電話】田中新文相は親任式後濱口總理大臣並に鈴木書記官長と會見し、文部行政の方針につき協議を遂げたる上、野村文部政務次官、大麻同參與官の進退問題につき熟議の結果何れも留任せしむることに方針を決定した

溝口陸軍次官も辭任するか

【東京電報】疑獄事件の進展に伴ひ議會に對する疑惑深まりつゝあるが、陸軍政務次官溝口直亮伯（越後國貫收當時陸軍參與官）は近く政務次官辭任を決行すべしとの說あり、頗る注目されてゐる

恐懼の至り
小橋文相談

【東京電話】小橋一太氏は語る 只今總理に辭表執奏方を御願ひして來ました、陛下に骸骨を請ひ奉つた理由は絕對にいへませんが、然し辭職した心事は申しませう、予が在野時代政黨幹部として活動の必要上爲したことが苟くも世の疑惑を惹き起した一事は私の不德の致す處で、文教の府にある職責上此事のみを以ても恐懼に堪へない而して近來健康勝れず奉公の萬一を期することが出來ない憾あるを感じ謹みて骸骨を請ひ奉らんとする考へを起した次第です

不平組も隱忍自重

【東京電報】後任文相田中隆三氏は山本達雄男、松田源治、小泉氏等の推薦によるもので、民政黨の選派には相當不平もあるが總選擧を前に飽迄隱忍自重して政府を支持する模樣で、政府と共に一路來議會の解散に邁進すべしとなしてゐる、或は來議會再開日を各派交涉會に諮り一月十五、六日頃に

聯合艦隊本日で編成替へ
新編成案により

【東京電報】聯合艦隊編成は本月三十日をもつて編成がへとなるがその主要式案左の如し

第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官 中將 山本英輔
參謀長少將 鹽澤幸一
第三戰隊司令官 少將 湯地秀生
第一水雷戰隊司令官 少將 後藤章
第一潜水戰隊司令官 同 尾本知
第二艦隊司令長官 中將 飯田延太郎
參謀長少將 島田繁太郎
第五戰隊司令官 少將 百武源吾
第二水雷戰隊司令官 少將 市村久雄
第二潜水戰隊司令官 少將 長谷川清
第一航空戰隊司令官 同 枝原百合一

海軍異動

【東京電報】三十日附を以て左の如く發表された

進級

海軍少將 高橋三吉 同 大湊直太郎
同 藤田尚德 同 谷口美貞
同 米村末喜 同 島紡吉
同 岸科政雄 同 岸本信太
同 杉政人

任海軍中將（各通）
海軍主計少將 刑部齊

任海軍造船中將 海軍造船少將 永村清
任海軍造機中將 海軍造機少將 伊藤孝次
海軍大佐 玄角喜殿 同 市來崎慶一
同 藥井信綾 同 津田靜枝
同 後藤章 同 小林省三郎
同 井上繼松 同 吉田善吾
同 太田質平 同 山本五十六
同 前原謙治 同 和田信房
同 長井實 同 原田覺
同 大野寬 同 島田繁太郎
海軍機關大佐 上田宗重 同 赤堀研吉
同 石河英吉 同 伊地知四郎
同 林正男 同 本多敬太郎
同 福岡諒次

任海軍少將（各通）
海軍々醫大佐 今吉政吉 同 今井金三郎
同 氏家孝次郎 同 國見長德

任海軍々醫少將（各通）
海軍主計大佐 永宮二男造
同 池邊安雄 同 吉村榊吉

任海軍主計少將（各通）
海軍造船大佐 佐々初吉

任海軍造船少將
海軍造機大佐 吉原重時

任造機少將
海軍造兵大佐 岸本鹿子
同 堀時之

任海軍造兵少將（各通）

異動

補海軍々令部出仕 海軍中將 清水得一
同 山下鐵八郎
補海軍省軍需局長 同 中村良三
同 立野德治郎
同 宇川濟
補海軍々令部出仕（各通） 高橋三吉
補海軍大學校長 同
補橫須賀海軍工廠長 藤田尚德
同 谷口美貞
同 島紡吉
補海軍々令部出仕（各通） 海軍少將 入角三郎
補大湊要港部司令官 同 百武源吾
補第五戰隊司令官 同 湯田孫磨
補海軍機關學校長 同 宮坂助治郎
補海軍艦政本部出仕 同 鹿江三郎
補海軍々令部出仕 同 湯地秀生
補第三戰隊司令官 同 寺岡信治郎
補軍令部出仕 同 吉岡保貞
補佐世保海軍工廠長 同 西義克
同 中島晴吉
補軍令部出仕（各通） 同 枝原百合一
補第一航空戰隊司令官 同 寺島健
補軍令部出仕兼海軍省出仕
補佐世保海軍工廠長 同 吉岡
補第二潜水戰隊司令官 同 長谷川清
補橫須賀鎮守府參謀長 同 岡本郁男
補軍令部出仕 同 植村茂夫
補艦政本部出仕 同 畔柳三男三
補海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官、海軍航空本部造兵監督官 同 小野寺悊
補第一艦隊參謀長 同 鹽澤幸一
補艦政本部總務部長 同 松下元
補第二水雷戰隊司令官 同 市村久雄
補艦政本部出仕 同 城戶忠彥
補燃料廠製油部長 同 竹內泰民
補軍令部出仕（各通） 同 藥井信綾 同 市來崎慶一
同 津田靜枝

免兼職

補第一水雷戰隊司令官 同 後藤章
補霞ヶ浦海軍航空隊司令兼教頭 同 小林省三郎
補海軍大學校教頭兼技術會議議員 同 井上繼松
補海軍々令部參謀兼技術會議議員 同 吉田善吾
同 太田質平
補佐世保海軍工廠艦船部長 同 和田信房
補舞鶴要港部工作部長 同 增田乙三郎
補海軍々令部出仕 同 長井實
補艦政本部出仕 同 大野寬
補砲術學校長 同 島田繁太郎
補第二艦隊參謀長 同 石河英吉
補艦政本部出仕 同 林正男
補軍令部出仕 同 本多敬太郎
補橫須賀艦船部長 同 福岡諒次
補軍令部出仕 海軍大尉 武彥王
任海軍少佐 待命被仰付 海軍大佐 平野武雄
補鎮海防備司令 海軍主計大尉 山口聰次郎
補鎮海防備主計長兼鎮海要港部々員

日支交涉は迅速に開始
後任公使は幣原外相が最短期間に決定する
外務省の善後會議

【東京電報】二十九日の外務省における佐分利氏死去善後會議は午後零時半におよんだが、その結果左の如く決定した

一、駐支公使の後任は幣原外相より最短期間內に決定する
二、日支通商條約交涉は成るべく迅速に交涉を開始するやう準備する
三、對支交涉の方針は何等變るところなく故公使の意見を尊重し日支親善主義で一貫する

有田アジア局長談

【東京電報】佐分利公使の死によつて日支交涉は延期はせぬ、一日も早く交涉を開始し支那側の希望に添ふつもりだ、日支關係は公使の死によつて何等變らず、先般公使の觀察によつて得た意見に從つて進めて行くことであらう

後任支那公使
小幡、矢田兩氏說が最も有力

【東京電報】外務省では日支條約改訂交涉を目前に控へてゐるので支那公使の後任決定を急いでゐるが、目下候補者として奉天總領事林久次郎氏、スヰツル公使矢田七太郎氏、スペイン公使太田爲吉氏、外務次官吉田茂氏、目下歸朝中の前トルコ大使小幡酉吉氏等の呼聲があるが、小幡、矢田兩氏がその內最も有力視されてゐる

議案全部の審議を終る
米調小委員會

【東京電報】米穀法根本策樹立のため設けられた米穀調査會は總會より特別委員會に入り廿余回にわたり討議の結果二十九日の小委員會にて漸く議案全部の審議を終へた、決定議案は左の如し

一、米價基準設定案（生產費並に生計費を標準とする）
二、農業倉庫新設獎勵並に低利資金融通案
三、外米輸入許可制度案
四、鮮米月割移入制度農業倉庫獎勵低利資金融通案（朝鮮總督府に一任すること）
五、臺灣米移入は放任すること
六、特別會計利子補給案

京城商議戰 俄然活氣づく
二級は一名超過 一日を殘して大混戰

京城商議の二級戰は定員に一名の不足をつげたまゝ無風狀態に終りそうな形勢であつたが、アト一日後に迫つた廿九日朝に至つて俄然平靜は打ち破られ、新候補續出して全く混戰模樣を化した。即ち本町二丁目の藤田會議所議員山口商店の內山寬正氏が突如新候補式に名乘をあげ、續いて本町四丁目の田村作郎氏（百貨店）も飛び出し、內山氏は自轉車部の一部と明治町一帶に侵入し、田村氏は大分縣人を背景として東部方面に猛烈なる運動を開始した。かくて都合二級候補者は內地人側定員十一名を超過すること一名となつた。即ち內地人側二級候補者は左の十二名である

藤田米三郎、都筑能二、島田忠作、藤田安之進、大塚勝吉、畑六一、松浦齊生、松井嘉一郎、島田利吉、關根金作、內山寬正、田村作郎の諸氏

私鐵補助法 規則改正
卅日付で公布

朝鮮總督府令第三號を以て卅日朝鮮私設鐵道補助法施行規則中左の如く改正された

第五條の二 株式拂込金に對する補助計算の起算日は朝鮮私設鐵道補助法第一條及び第三條の規定に依る場合を除くの外拂込期日までに拂込ありたる金額に對しては拂込期日より、拂込期後に拂込ありたる金額に對しては拂込ありたる日より起算す

第十一條 資本の增加若くは減少株金の拂込又は社債の募集又は借入金を爲さんとするときは金額事由及び社債又は借入金の條件を具し朝鮮總督の認可を受くべし、之を變更せんとするとき亦同じ

第十二條の二 兼業又は鐵道の附帶業務を營まんとするときは事業計畫、營業收支概算書及び營業規程を添付し朝鮮總督の認可を受くべし 附則 本令は發布の日よりこれを施行す

雉子郎氏 八年振て
―昨夜入城

半島における救世軍初代の內地人部長として、更にかつての本社俳壇の選者でホトトギスの重鎮たる救世軍少佐石島雉子郎氏（俳名雉子郎）は滿八年振で廿九日午後七時着列車で入城した、石島卿、俳人救世軍關係者多數の出迎へをうけ元町における救世軍小會の歡迎會に臨んだが語る

『京城には大正二年最初の救世軍內地人士官として來り、爾來八年間傳道に從事して居た、その間御地の俳壇の助長發達につとめて半島俳壇の開拓者に推されたた大正十年東京に歸り、今年で丁度八年、その間は一度も朝鮮の土をふまなかつた、今回の來鮮の主たる目的は、私が京城にある時四人の愛子を失ひその骨が京城に埋めてゐるのでその墓參りを主とし、その序に變つた京城の姿を見物さして頂くつもりである』

なほ氏は廿九日夜竹添町の尾崎氏宅に泊り、三十日は午後三時半から京城工學院における講演會に臨み、同六時半には京城クラブで開かれる俳句大會に出席する由。

茶話

▲佐分利公使が箱根で本職は實に公使を徹端に關せて▲しや▲職則を問ふの心を示した▲しかるをその翌夜永劫不歸の客となつてしまつたのだ▲東京の途京城をよぎつたのは今月十七日のことだ▲總督府を訪れて大へんお世話になつたからとて齋藤總督を訪問した▲兒玉總監とも特別くつこんの間柄にて▲行く々々外務省をしよつて立つほどの偉材だつたものをと總監感慨深げにその死を惜んでゐる▲熊本から安達小橋の二柱を出したが今度小橋文相が缺けると秋田の田中隆三君が興任して町田忠治君とならび▲ハタ／＼やまげワツパとその醒名をきそふことゝなる▲町田山口田中隆田とどちらも大阪で成功したのは面白いが▲清浦內閣の下町田隆政と田中政本と選擧では地盤爭ひをやつたほどなんだが▲それでも今では同じ內閣に同じ大臣となつたのだから▲人事の遭逢こそは人智の外▲茶話子筆を投して啞然また呆然たるのみだ。

―人―

◇高元勳氏（京畿參與官）江原道參與官より榮轉した高元勳氏より二十九日松岡本社長に左の電報あり貴道參與官を拜命す御懇情を乞ふ

◇佐藤彥彰氏（林野調查委員會副事務官）廿九日平安北道へ出張

―會―

明治節例月參拜 十二月一日、（第一日曜日）午前九時五十分參集所に集合、午前十時參進拜禮の筈

平壤日糖工場 甜菜製造終る

日糖平壤工場では本月十日よりビート製造を開始してゐたが、二十八日全部の製造を終つたので直ちに機械の解體と取替、來月三、四日頃よりこれが修繕を開始することになつた

回 株式 回
大株短期引跡

大新 五十五圓七〇（不變）
鐘新 百三圓三〇（不變）
日魯 卅五圓五〇（不變）
東新 六十二圓八〇（不變）

回 期米 回
各地期米後場止

下關二八、六〇▲桑名十一番二八、六九▲十三番六九▲名古屋二八、三九▲金澤二七、二〇▲熊本二七、九九
大阪最終氣配七十四錢（二錢安）

群山廻米輸（廿九日）

〇便	玄米	一五、八四五四
汽車便	玄米	一八、七二九
〇便	玄米	三、四〇四
午車便	玄米	[illegible]
計	玄米	一六、五三〇八

大阪砂糖休會

大阪砂糖市場は本前場を以つて納會し本後場より明前後場を通じ當限受渡の爲め休會

奉露關係歩寄つて來たが
まだ〳〵波瀾あらう
◇…支那の交涉意嚮

【ハルビン廿九日發電】東鐵問題の奉露直接交涉につき當地支那官憲の意向は大體左の如くである

一、東鐵の原狀回復には異議なきも從來の片務的經營方針には絕對反對で、一九二四年の協定を完全に履行し名實共に平等の權利で共同經營すること
二、ロシアは營利的企業である東鐵を對支赤化宣傳機關たらしめた證據は歷然たるものあり、依つて正副管理局長エムシヤノフ及びエイスモンド兩氏の復職にはあくまで反對す、ロシアは東鐵を對支赤化宣傳機關としないことを保障すべし
三、ロシアが正副管理局長を新に任命する交換條件として支那も事件の責任者を更迭す、但し相互に目立たぬ形式を執る
四、東鐵事件に伴ひ監禁中の當該國民は相互にこれを釋放する
五、國境に於ける武力行動を即時停止すること

なほ支那側非公式代表は去る二十日すでにハバロフスクにむかつてゐるが、ロシアは交涉を有利に導くため滿洲里方面の赤軍を交代せしめ蒙古軍を使嗾しつゝあり、かくて奉露交涉は兩國一流のかけ引きに武力を背景として波瀾重疊を極めるものと見られてゐる

商議會頭等遂に辭職
揉拔く平壤商議

【平壤特電】平壤商工會議所松井會頭を始め會議所役員は會議所の紛糾の責任を感じ二十九日午後五時辭職屆を提出したが、次期評議員內鮮人定員數問題については松井前會頭および評議員に一任せず、問題は解決されずして夜に入つた

評議員辭職【平壤特電】平壤商工會議所評議員の總會を要求した藤井定太郎氏外六名の評議員が改選期を目前に控へながら會議所の機能を停止するが如き危機に陷れたる責任を明かにすべく廿八日會議所へ評議員辭職屆を提出した

佐伯顯氏
洋行より歸る

新醫學官醫專校長、佐伯顯氏は二ケ年の洋行を終へて廿九日夜歸城した『お目出たう』と浴びせかける醫界關係者多數の出迎へをうけて西小門町の官舍に向つた

三井技師陞叙

【東京電報】廿九日の閣議で左の事項を決定した

朝鮮總督府技師 三井榮長 陞敘高等官二等

四年度米豆の標準查定會議
來月三日から

昭和四年度米豆標準查定會は十二月三日から四日間總督府第二會議室で擧行されるが、日程は左の通りである

	午前	午後
三日	訓示、協議	協議事項
四日	協議事項	標準米豆查定
五日	當業者諮問	當業者諮問 米豆查定
六日	協議事項	同上

鐵道の收入減
八十萬圓に達す

鐵道局は本夏以來豫定收入に比しいちじるしく收入減を示し、一時百三十余萬圓の減收となつてゐたが、その後博覽會その他で旅客收入が好成績だつたため最近においては減收は七十九萬圓まで回復して來た。この內譯を見ると、貨物收入においては約八十萬圓減收であり、旅客收入では一萬圓余の增收となつてゐるが、今後は米穀の出廻りその他で貨物收入は增加を見るが一方經費もそれだけ膨脹を見込まれてゐるからこの八十萬圓の減收を回復して豫算通りの收入をあげることは不可能であらうと見られてゐる

回 經濟 回
運賃益々下る
海運界冬枯氣分

海運界は冬枯氣分が醞釀濃厚となり、これがため船主は船腹手當に焦慮し積荷さへあれば安い運賃でも辭せない狀態なので、大連豆粕運賃の如きは伊勢、橫濱揚で七錢と昭和二年の最低値を示し、石炭運賃も若松九十錢乃至九十五錢若松上海間一圓を唱へるに至り、前週に比して大連豆粕運賃は一錢、石炭運賃は最高三十錢から五錢までの低落である、目先、海の船腹過剩と年末の切迫に伴ひ積荷爭奪も次第に激しくなる模樣なので、運賃は益々低落を免れぬ形勢である

濱口總裁の演說に對して

濱口民政黨總裁の近畿大會における演說筆記を讀むに、軍縮問題に關し「日本の態度は一定不動である」といふて居る。首相だけ壯烈である。しかしながら『如何に一定不動であるか』は少しも分らない。『日本艦軍は他國へ脅威を加へぬと共に脅威を受けないこと、國際平和の精神貫徹、國民負擔の輕減のため進んで具體的軍備縮少を行ふことは今日の要務である』といふのも今日では一般の國民的常識となり了した。たゞわれ等の知らんと欲するところは具體的軍備縮少の、その『具體的』とは何かといふことである。『從つて海軍の比率は必ずしも低きをいとはぬ』とは濱口總裁のその次ぎにいふところであるが、何ゆゑに具體的軍備縮少を以て要務なりと、そのゆゑにのみ日本が英米より比率が低くて可なりとの論理が生れて來るのであらうか、われ等には毛頭解しがたい。最後に總裁は『しかし萬一の時日本が存立を脅かされぬ自衞の力を維持することはもちろんで飽くまで之れを讓るものと信ぜず』といふて居るけれども、列國はいざ知らず、たゞこれだけでは自國々民が諒としない。どうにも意味が通らないからである。

さはいへ濱口總裁の意は言外にあり、言外の說明をなさざるがゆゑに、意味が通らないのであつて、まことは『國家としての最善』には贊成であり、『萬一の時のための比率は七割』たるを要し、かくて『この態度は一定不動』であるといふのである。たゞそれから先が分らない。奥が分らないまゝに表面において默のやむべからざるゆゑんを力說するのである。おそらく、といはんより必ずや國民總意の所謂は日本としてのつびきならぬところたるに相違ない。たとへば七割要求といふ如き、潛水艦現有勢力維持主張のごとき、國に移す能はず、讓る能はざる最後的要求項目であることを確信する。しかしながらこの確信は誠ことのおはしますかは知らねども、しかもなほかたじけなさに淚こぼるるのたぐゐであることに物足りなさを感ずるのである。濱口總裁は軍縮會議につき日本の要求に對し國民的支援を望んでゐる。國民もまたこれを支援するに躊躇せざらんとしつゝある。華府會議において軍縮比率が辛ふじて通過したる失敗または不成功にはわが國民はこりこりして居ることはたしかであつて、このたびの會議にてそれが實現されることは誰しもなさけ合せとおもふて居る。たゞしかゝるために政府は少しハツキリ國民の前に說明するの度量はないものであらうか。何ゆゑに七割比率が必要なのであるか、何ゆゑに潛水艦が現勢せられねばならぬか。分り切つたることではないかといはゞすなはち已む。その實分つては居ないであらう多くの國民のために、それを率直に說明するの親切が政府にないものであらうか。われ等はロンドン會議における日本の成功を期待しつゝ、なほかつこの不識を拙くことの憾じがたきを告白せざるを得ない。

文相更代

小橋文相はこのたび政治上の理由により辭任と決した。政治上とは司法上でないといふ意味だ。しかして司法上の意味でないとは、いはゆる越鐵事件なる疑獄に小橋氏が絶對に關係せぬことを保證するといふ意味ではない。まことは小橋氏と疑獄とははたして關係あるものかどうか、關係ありとしても審理の結果がいかになり行くか殆ど全く不可知である。不可知なることのために文相の職を離れたりと解することはけだし妥當といはなければならぬ。從つて尋常の場合なりせば、いまだ辭任を決すべき時機とはなつてゐないのであるけれども、たゞその位置が文教の府にあり、現に國民教化總動員の總帥たる以上、その身上に寸毫だもあることを許さない。左樣なる見地から進んで辭任を決意したのであらう。われ等は小橋氏の心事に同感の意を表し、その自發的辭任を以て、若干の瑕跡あるを自認しての行動なりと解することをいなみたいとおもふ。

天皇陛下 陸大卒業式臨御
光榮に咽ぶ優等生

【東京電話】天皇陛下には二十九日午前九時宮城御出門、陸軍大學校第四十一期四十九名第五期十名の卒業式に臨御あらせられ優等生歩兵第八十聯隊歩兵大尉立花芳夫、歩兵第七十九聯隊歩兵中尉山中常人氏を始め六名に恩賜の軍刀一振づゝを御下賜あらせられ、參謀本部に御立寄りあらせられ午後一時二十五分還幸あらせらる

收穫減少で蔘業收入減る
爲替關係で三井も困る　今年は人蔘の饑饉年

專賣局における本年の蔘業收入は二百四十八萬餘圓となつてゐるが本年は七八月の候に降雨が多かつたため京畿の不作で本年だけの收入では豫定の金額に達すべくもなかつたが、昨年が豫定より一萬斤も增收で五萬斤以上の收納をしてゐたので昨年の手持ちで漸く豫定の收入を見ることになつてゐる

×

本年は不作で專賣局が手を燒いたばかりでなく一手販賣をやつてゐる三井では例の爲替關係や輸出先の支那で例の附加稅制度等をやり、これがため輸出難となり、これまで相當手を燒いてゐる模樣で本年に至つて全く閉口者である

×

專賣局は人蔘の耕作地たる京畿道の開城、長湍、黃海道の瑞興、平山、鳳山の六郡を指定して耕作せしめ、耕作物は一般の製作を支那輸出向きに適する紅蔘に精製しうる品は專賣局に收納し、それ以外の品は耕作人に返すことにしてゐる、市中に販賣されてゐる白蔘はこの返戾の不良品か又は右指定六郡以外の地で耕作した人蔘である、紅蔘と白蔘との別は同じ人蔘を收納として製造をことにすることによつて差違を生じ、紅蔘は總督府の專賣で三井物產に一手に拂下げ三井の手で主として支那へ、一部は滿鮮へも輸出されてゐる、この外數寨紅蔘、蔘鬚等があり、その收入を加へたものが一ケ年の蔘業收入二百四十餘萬圓である

×

紅蔘は輸出品以外朝鮮および內地で販賣するものは一個もなく、一般に販賣されてゐる紅蔘飴は、紅蔘のクヅ、蔘鬚、紅蔘の小根その他から製造するもので、紅蔘を製造する際生ずる液體から搾り一部は特に紅蔘のクヅから製造されてゐるものもある

×

支那行きの紅蔘は上等品は三井に拂下げる際でも一斤百六十圓で百圓以上に達し、支那に行くと一斤が二百圓以上にもなるといふことである、支那人はこれを天下の靈藥として、二千年以來宗教的に敬重し、紅蔘を枕元に置いただけで萬病がなほるとさへ信じられ金錢をいとはず購入するさうである

×

專賣局では一ケ年百萬圓近くもこの紅蔘で純益を上げてゐるので紅蔘の賣行き如何は非常に專賣收入に影響する所から、迷信的に天下の靈藥視するだけでは將來紅蔘の賣行きに影響してはと化學的に紅蔘の效果を立證することに勉め藥大の杉原博士などに依賴して調査を行つてゐるが一方醫者側は好個の研究資料となる所から齋藤、近藤、佐藤、藤川、其々の醫學者が一齊に研究し內何人かは、その研究によつて醫學の學位をさへかち得てゐる位である

◇—佐藤軍縮事務總長出發（廿六日東京驛にて）

移出小包審査成績

十月中における朝鮮發內地あて小包郵便の移出申告數は三千四百六十九件であるが審査の結果無稅品は二千七百七十一件、免稅品は三百八十九件、有稅品は六百九十八件であつてその出港稅額は織物七百八十圓、同製品百八圓である

三億の在外正貨
どうして出來たか

天から降つたか、地から湧いたか、わが國の在外正貨は何時の間にか三億圓以上に激增してゐる。

◇今は懷い思ひ出の種であるが、我が國の在外正貨は大正八年十月十八日に最高レコードに達し、實に十三億五千萬圓を超えたのである。それが其後段々と減つて、本年六、七月の頃には僅かに八千萬圓ぐらゐになつてしまつた

◇國民は銀行の預金帳の殘り少くなつた樣な物さびしい感じで、在外正貨の細りゆく姿を眺めてゐたところがなんと景氣のよい話ではないか。その在外正貨が俄に三億圓以上になつたといふのである。

◇正貨を現送したのでもなく、外國で金を借りたのでもなく、貿易尻が俄に受取勘定になつたといふのでもなく、たゞ井上さんが大藏大臣になつただけで、在外正貨がこんなに殖えたのである。狐につまゝれた樣な話で、とんと合點がゆきかねる。

◇こゝに一人のサラリーマンがある。彼の月給は百圓である。そして彼の生活は一ケ月百圓かゝる。彼には銀行に十圓の貯金があつた。これがいつの間にやら卅圓に殖えて居た。彼の妻君は大いに喜んであれやこれやと買ひたい物を心中で描いてゐた。ところが豈計らんや、この貯金の增加は彼の收入が增加したのではなかつた。月の中途で月給の內から二十圓前借して、それを銀行に入れて置いただけの事であつた。月末には八十圓しか貰へない。彼の收入は依然として百圓なのである。妻君の喜びは糠喜びであつた。

◇わが國の在外正貨の激增は早くいへば右のサラリーマンの預金の樣なものではなからうか。わが國の國際收支が改善され、受取勘定が激增して在外正貨が殖えたのではない。政府が正金銀行に命じて輸出ビルを買取らせ、それでこしらへた一夜づくりの在外正貨である。輸出ビルといふのはわが國の輸出代金である。もつと平たくいへば生絲その他の品物を外國に賣つた代金である。その代金を政府が買取つて在外正貨としたのである。品物が余計に賣れたのではないから對外債權その物は增加してゐないのである。

◇收入が增加したのでなく、たゞ金の置き場所をかへたゞけである。どこに置いても入用の金は矢張り入用である。輸出代金の對外債權は輸入代金の償還に使はねばならぬ。すでに使ひ途の定まつてゐる金をたゞ暫く預けて置くことにして眺めて居るだけの事なので、三億圓あるからといつて喜ぶ程の事ではない。

◇今回の在外正貨激增は政府の金解禁準備の一つとして行はれたのである。政府の金から出てゐるのである。アメリカの銀行に預けたゞけの事である。そして金解禁後在外正貨は日本銀行をして保有せしめ、政府の金は日本銀行に預けた事になり、政府は政府預金に記入する。政府のふところから出た金はこれで又元の政府の財布に戾る譯である。

◇來年の上半期の入超期に爲替資金の必要が起つて正金銀行その他の爲替銀行が在外正貨の賣却を受ける場合には、爲替銀行は日本銀行に紙幣を以て在外正貨の買取代金を納入せねばならぬ。それゆゑに在外正貨の減少は國內において同額の通貨縮少を來すものである。正貨の流出さへなければ通貨の縮少はないと思つてゐると大間違ひである。在外正貨を國內の正貨準備に入れてなくても右の如き次第で國內紙幣流通高に影響する。在外正貨は國內の紙幣流通高に關係のない別勘定のやうに考へる譯には行かない

◇然らば井上藏相が三億圓の在外正貨を蓄積したことは無益の政策であるかといふに決してさうではない。正貨現送の場合をなるべく少くすることは最も必要なる措置である。たゞ遺憾なことは今回の如き在外正貨の蓄積が何時でも出來るといふ譯には行かないことである

鄉土人物

◇博士看護卒　東京龜戶東洋モスリン附屬病院長西郷一郎博士は病院を擲つて社會運動の一看護卒たるべく本所の勞働者診療所入

◇女優の榮轉　小笠原プロダクションの人氣女優としてうたはれた高島愛子は滿洲に渡り最近奉天の永井清氏と結婚することゝなつた

◇五年目賀狀　神戶湊川驛長の水野清之君について目と鼻の大阪の友人から大正十五年に出した年賀狀が昭和四年十一月廿九日の消印で送達された

◇教科書改正　現在の國定教科書は時代遲れで無味乾燥であるとの非難に鑑み文部省では來年四月からの同教科書に各關係方面の意見をきゝ大改正を行ふと

雪の金剛（初登山見聞）【七】

杉浦生

寒霞溪に沿うて

萬物相を發つた一行は、依然國本さんの先頭で、寒霞溪に沿うて溫井里へと下る。萬物相の連峰と觀音連峰との溪間を寒霞溪といひ、奇岩秀峰が左右に並び深みのある溪谷で、約二里の長さにわたつてゐる。すなはち一行は、萬物相の連峰（萬物相——鬼面岩——文珠峰——水晶峰）を左に、觀音連峰を右にして、溪谷を下るのである。さきに雲に胸を突込んで飲んだ靈泉はその上流をなすもので、これ等の靈泉が落合つて寒霞溪の溪流をなし、つひに溫井里川となり、他の峡流と合して赤龍川となつて日本海に出づ。われ等一行の下りつゝあるのはその上流、寒霞溪の左側、その流れに從つて下るのであるが、名勝寒霞溪はそんなに單純なものではない。左右に連亘する秀嶺に奇岩そばだち、斷崖深く削られ、絶壁屛を造るに遑なきほど多ければ、無論こゝに注ぐべき細流も多かるべく、寒霞の溪流となつて流るゝ間には、硯石のやうな巨大な一枚岩もあらう、或は斜面に、或は平面となり、また各種各樣な岩石が、多種多樣な形狀をなして溪間に橫はる。斯くて幾曲折する細流もあれば、岩石を咬むもあり、悠々千古を語るものもなくてはならぬ。この間を探るに淵あり、瀧あり、松あり、楓あり、妍を競ふ花の類あり、壯麗なる峡谷と相まつて溪谷美の極致をなすは當然である。この寒霞の淨流、眼を遮るに遑なかるべき名溪流も一瞬に過ぎる。壯快といはんか、何といはんか、名狀し難き仙境を下つてゐる。が、雪よく亡つて、足を走る能はず、折角の仙境に想を走らすの三昧なるを得なかつたのが殘念である。

傳說を聽く

左右に連亘する秀嶺の頂をなす奇岩怪石には、それ〴〵の名前が附されてゐる、曰く何、曰く何と。觀音の名稱はその形相を最もよくいひ現してゐる。觀音連峰の中心をなし、連峰の名あるゆゑんである。觀音連峰にはまた幾多の瀧がある。男瀧、女瀧等々と。この落つるところ寒霞の溪流に注ぐ。

下るに從つて雪次第に薄く、尺より六、五寸、二、一寸から殆ど通路には積雪なきころ、文珠潭といふに着く。十數坪もあらんかの碧潭、悠々千古を語る像容、水あくまで清冽、潭は文字通り碧綠。左方に向へば、觀音岩峰頭高くそばだち、稍峰の中腹ころより觀音瀑（女瀧ともいふ）瀑路と落つ。

こゝに小憩して傳說を國本さんより聽く。すなはち羽衣の傳說である。むかし、玉女峰上に天女が舞ひ下つて遊んだといふ、彼女等が化粧したといふ四時水を湛えた化粧盤といふのが玉女峰上にある自然の盤のやうに凹んだ水盤の現存するのがその證據だといふ。またこゝ文珠潭でも彼女等が水浴をしたといふことである。こゝに羽衣の傳說の緒口は開かれる。樵と天女とを織交ぜた譚で、可なり長くなるといふので行を進め行く〳〵國本さんの話を聽く。

溫井里に着く

この邊からの道は平坦である、多少は道も下るであらうが、殆ど傾斜は氣がつかぬ。道に左右峰巒の頂を成す奇岩怪石を賞し、その異樣な各種に高笑をやりつゝ進む。行く道に千古崩壊時代に崩れ落ちたらんや、大岩が轉がる。こゝ畑もある、人家も散く現る。この仙境に寒す舞姿さを想ひやるまでもなく、早くも溫井里につく。途中西島さんが駆けて一行に先んじ、用意しくれた特意の自動車に乗つて、こゝに少憩だにせず、直ちに神溪寺に行く。

朝鮮漫筆（49）

百遍舍千休

京城の町名

知れ切つた事であるが京城市內の町名を刷新して記憶を新たにし、將來にも朝鮮在來の洞名や里名が由緒ある人々の名に代る時のよすがにもしたい。

龍山とは龍の居る山があるから龍山といふのであるがそこの大島町は日清戰爭の時に大島旅團が駐軍したから名付けられたものである。京城の東部一帶は日露戰爭當時には人家も余り澤山なかつたので獎忠壇から流れ出てゐる小川をはさんで東と西との兩側に朝鮮人家が四軒づゝあつたので最初はこれを內軒町と呼び東四軒町、西四軒町と呼び慣らしたのが今日の町名となつた樣な譯である。

ずつと古い處では加藤清正が南大門から這入つて來て南山一帶に陣取したので、その地方を朝鮮人が倭城臺と呼び古したのが今日の町名となつたのである。

その他長谷川町は長谷川軍司令官がをつた大觀亭のあつた處であり、岡崎町は第二十師團長岡崎中將がをつた處であり、古市町は當時の京釜鐵道總裁古市公威博士に因んだ町名であり、竹添町は天然亭に竹添進一郎博士が公使としてをつた處である。

朝鮮の秘書

朝鮮の秘書として非常な勢力と權威とを持つてゐた讖緯錄は昔から公用を禁止されてをつて、その內殿と安東金氏との二職しか傳はつたものはなく、それらも個人で秘藏してゐるものは極めて稀であつたのであるが、何分その中には李朝は何百年かの後に亡びるとか、[illegible]がフンスの都となるとか、昌德宮秘苑は二十八世になるとかいふ讖言がかいてあり、それが今日の事態と符合する處があると騷ぎ立てたので民衆は益々爲政者を遠くし、理想の母と見立てた、それがため一方において迷信流行の惡傾向となつて惰眠苟且し無智蒙昧は益々深味に陷る一方なので、その內容を解剖してこれを現代の文化時代の科學の前にさらし出す事は決して無意義ではなかつたのである。

かくて蓋をあけた秘錄は待ちあぐんでをつた民衆の前に無條件で投げだされたけれども斷續してをつた堅の金言もかいてあらうはずもなく漸次に[illegible]たることが周知されるにいたり、これを虎の巻として押どてゐる者の甘言を信じなくなり、迷信が地に落ちて今日ではあはれはかない名ごりを宗教類似の邪祠邪教の一隅に留めてゐるに過ぎない。」

朝鮮名產と朝鮮妓生

內地で朝鮮名產を販賣する處には朝鮮キーサンが囃子に居るが一々朝鮮から妓を連て行つたのでは勘定が高くついて引合ぬから內地美人に朝鮮服を着せてキーサンに仕立るなどといふズルイ商人が非常に澤山居る。商人に倣々拔けめがありませぬわいとは內地各地の博覽會を見物して歸つて來た朝鮮人の感想の一つである。

食合せ

昔李大臣の家へ田舍から強力無雙の李武將がやつて來て滯在中一日饗宴の席上で李武將が膾に鷄をつけて食べかけたので側に居る人が危いから止せと忠告した。處がその李武將が、傲笑をたゝえて、何の腹の中へ入れば皆一緒だから構はぬ、世人の食ひ合せなんかあるものか試みて世人の迷妄を破つてやると膾に鷄をつけてムシヤ〳〵と平げてたばこをふかして威風してをつた處暫くしてから少し氣分が惡いといひ出したがやがてコロリと死んで仕舞つた。

世の中に實際食ひ合せがあるかどうか藥品などならば或はさうかも知れぬがいやしくも食物となつて居る以上大した食ひ合せなどはない譯にも思はれる。その證據には一地方一民族の食ひ合せとして避けて居る食物を他地方他民族は平氣で食合してしかも何ともないといふのもある譯である。

こゝに朝鮮の食ひ合せを二三擧げて見ると。

一、蟹と蜂蜜
二、柿と胡麻油
三、鱧（カムルチ）と桃（うなぎと梅と同筆法ならん）

此れから大切な 婦人病の手當
油斷してゐると一生取返しのつかぬ不幸を來す

寒い〳〵冬が近づきました、婦人病は御婦人の大敵で、冷込みから色々な婦人病に犯され易く、又惡寒と共に病勢が亢進いたします、ところが婦人病は多く病勢が急進的に來ないところから油斷し勝で、其の結果は病氣を增惡し健康を害し、圓滿な家庭生活は破壊されて身の不幸を喞つ人が尠くありません

婦人病の原因と症狀

婦人病とは殆ど子宮に關聯した病氣を言ふのであります。子宮は婦人の最も大切な所で、其構造が大變複雜で微妙であり、又溫度と云ひ濕度と云ひ丁度あらゆる病菌の繁殖に適合してゐる爲に、非常に疾病に罹り易い。

其の原因は淋菌の感染を受けて來るものが一番多く、又冷込み月經時の不攝生、流產早產の後や產後の不注意等から來る、すると下腹が痛んだり又張る樣な氣がし、頭痛眩暈や、續いてぞく〳〵と寒氣がして發熱等する、又內股から腰の邊にかけて引きつれる樣な痛みを覺え、尿意が繁くなり、水の樣な下物がする、次に白い粘氣のある臭いこしけが降りる

子宮內膜炎とこしけ

こしけは子宮內膜炎に罹つてゐる確かな證據で、子宮が病毒に犯されて子宮內がタヾレて膿や血が腐敗して降るのであります、此のこしけは姙娠に大切な精蟲を殺し子供が出來なくなり、又姙娠しても胎兒の發育を妨げ流產又は早產する事が多く、更に病勢が進むと子宮の實質を侵し、實質炎となつて下腹部が痛み發熱して全身がだるく食慾や嘔吐を催する、尙こしけが奧へ入ると卵巢炎及喇叭管炎を起し不姙症になり或は腹を立断つて云ふ恐ろしい結果を生じたり、又その病毒が腹膜の方へ行つて腹膜炎を起さねばならぬ子宮外姙娠なども起ります

之に對する理想の治療法

近來婦人藥と稱する粗惡品が雨後の筍の如く澤山出來ましたから、藥の撰擇にお迷ひなき樣特に御注意が肝要であります、此處に自信を以てお勸め出來るものに、婦人科の專門博士諸大家が推獎せらるゝ中將湯があります、中將湯は長い歷史と數多の經驗を重ね研究に研究を加へて完成せるものにして、速に婦人諸病を快癒し、血液の循環を良くし、抵抗力を強め體內の毒素を排泄して濁き血を蒙ひ體を根本から丈夫にします。

歐米人が和漢藥の代表である中將湯を盛に服用する樣になりましたのは中將湯が如何に卓効あるかを如實に物語るもので、本邦は勿論世界的に販路を擴めて居ります。

產前產後と惡阻

姙娠して二三ケ月目に惡阻と云つて時々頭痛や嘔吐を催し身體に倦怠を來します、この惡阻がひどくなると身體が非常に衰弱して體力を保てなくなります、又七八ケ月になると全身に浮腫が來て危險なことがあります、中將湯は此等の病の豫防に效ありお産が樂で生れた子は丈夫であります。產後の中將湯は肥立が非常に良好であります。中將湯は全國の各藥店にあります、人唯一の味方であります。

本舖は東京市日本橋區通三丁目津村順天堂（振替東京六〇八）大阪市南區長堀橋筋一丁目津村順天堂支店（振替大阪四五六）で中將湯定價は三日分五十錢七日分一圓十五日分二圓二十三日分三圓四十日分五圓八十五日分十圓、加減藥は十一日分二圓であります。

新治療劑 痔（ぢ） ヘルミチン

ヘルミチンは即ち卵黃中の油性成分及卵黃より得たる特殊デール物質を主藥とし一般痔疾殊に治難とせる痔疾に對し迅速治癒の效顯著にして無刺戟なる坐劑並に軟膏製劑なり

見よ 軍醫團雜誌第一七九號 陸軍々醫監英留也閣下の卵黃油製劑の痔疾的效果に就ての一說に

定價

肛門坐藥		軟膏	
六個入	.六〇	一〇瓦入	.五〇
一二個入	一.〇〇	三〇瓦入	一.〇〇
三〇個入	二.三〇	一〇〇瓦入	二.七〇
一〇〇個入	七.〇〇	三〇〇瓦入	六.〇〇

適應症 內外痔核（いぼぢ）脫肛（でぢ）肛門潰瘍（きれぢ）痔瘻（あなぢ）分娩後に於ける脫肛（ぢ）等

說明書文獻進呈

發賣元 藤澤友吉商店

慶尚南道

公私經濟の緊縮運動協議會

各階級の有志を網羅して 馬山府廳で開催

板垣馬山府尹は七日午後一時から府内における各官公署、銀行會社の長その他各團體各階級の有志四十餘名を府廳樓上に招集し現在經濟難に對する緊縮運動を提唱し現内閣が聲明せる趣旨を一般的に徹底せしむべき協議會を開き左記事項を協議し同時に公私經濟緊縮委員會を組織し毎月一日定期會合をなし緊縮の實行、生活改善の氣風を強調すべく申合せかつ十二月一日の第一運動開始デーには各家庭の主婦を中心として各階級に至り多數の府民を集め午後一時より南馬山においては小學校講堂、北馬山においては壽座において講演會を開催することになつた猶二十八日午後一時より各町總代を招き本運動の徹底方を慫慂ならしむべく協議した（馬山）

公私經濟緊縮運動協議事項

一、十二月一日公私經濟緊縮運動開始デー
一、各官公署、團體に於てはその長より所屬職員に對し趣意徹底及び實行等に關し訓話ありたきこと
各學校に在りては朝會の際生徒兒童に對し訓話のこと
二、府に於ては宣傳ビラを作成し各町洞區代を通じ各戸に配付すること
各團體に於てもこれが趣旨の徹底に依り實行ありたきこと
三、節約緊縮に關する標語の掲出街頭及各劇場幕間の映寫
四、各種新聞紙上に緊縮運動の趣旨實行方法を數日間掲載方依賴のこと
五、午後七時より小學校講堂に於て公私經濟緊縮實行運動講演會開催
二、公私經濟緊縮實行委員會の組織
各官公署、學校長各團體の代表者委員となり定期會合の上目的達成の爲實行に關する協議をなす
三、毎月一回の委員定期會合日協定の件 十二月一日よりこの日を向上日とし實行委員の申合せに依る實行項目を掲げて一般に緊縮節約生活改善の氣風の強調を計ること
四、緊縮節約實行細目協定の件

公私經濟緊縮實行委員會趣意

政府は曩に聲明を發し我が現下の難局に處し公私經濟の整理緊縮の切要なるを明にし戰時好況時代に馴致せられたる浮華放縱の弊習は深く人心を蠢し經濟的反動及大震火災に遭遇せるも浪費奢侈の風尚更に改まる所なく民間精神著しく弛緩し他面産業衰微不振既に久しく貿易の逆調は年々相亞ぎ爲替相場は平價を下ること遠く經濟界に一大暗影を投じつゝある現況は眞に國家の深憂たるを以てなり依て政府は自ら中央地方の財政の整理緊縮を斷行してその基礎を強固ならしむると共に一般國民の自發奮起を促し擧國一致消費を節し冗費浪費を排して國民經濟の根抵を培ひ以て當面の難局打開に努め他日躍進の素地を作り國力の充實伸張を圖らむとせり本會はこれが内憂經濟的國難に際し中央政府の緊縮方針に策應し極力當面の難局打開に努めむとす

會則

一、本會は質素勤勉の美風を奬勵し生活を簡素にし社會生活に於ける各種の弊習を矯正し兼て消費經濟の各方面に工夫を加へ公私經濟生活の向上伸展を圖らむことを以て目的とす
二、右目的達成の爲府内官公署學校其他の各種團體の代表者を以て委員會を組織し毎月一日定例會合の上申合せに係る實行項目の普及勵行を期すること

公私經濟緊縮運動實行細目

項目　細目
一、簡易食の勵行
二、節酒、禁煙の勵行
三、衣服の改善質素
四、住居の改善
五、家具調度品の簡素
六、贈答並に宴會の廢止
七、新年の門松〆飾の簡素
八、年賀廻禮の廢止
九、冠婚葬祭の冗費節減
一〇、家計簿の備付
一一、物品の利用と品目檢査
一二、合理的炊事法及洗濯法
一三、廢物の利用
一四、出産結婚等の祝儀答禮
一五、井水電燈等の浪費
一六、來客には御茶に止むる事
一七、掛買廢止と現金買の勵行
一八、物價表の表示
一九、家賃の値下
二〇、學校における緊縮
二一、官公署、銀行會社その他の諸事務所における緊縮
二二、一般的に時間勵行のこと

旱害救濟

最後の對策

旱害の被害者は一千八百萬圓に達するといはれる道當局では目下窮民救濟方法について調査をすゝめて居るがその結果によれば五割以上の被害を受けた農家は十一萬四千四百五十戸人口五十七萬七千九百九十名に達しこの内直接救濟を要する者九千五百九十九名、間接救濟に關する者十四萬一千七百六十三名におよんで居るが當局ではこれが救濟事業として災害復舊工事、旱害、土木工事、水利工事、砂防工事、灌漑排水その他諸工事等をあげ所要の總經費二百六十八萬八千三百六十九圓を見込みこの内窮民救濟施設として國庫補助四十四萬六千二百四十八圓を要求しこの内譯は

種類	所要額
直接救濟費	五〇、四四八圓
間接救濟費	三九五、八〇〇
土木工事費	一四一、〇〇〇
水利工事費	一五六、一〇〇〇
砂防工事費	六〇、〇〇〇
災害復舊費	三八、七〇〇

であるが本府において果してどの程度まで國庫の要求を認めるか不明であるが道當局は前記各工事を促進せしめて旱害民の救濟に努力し遲くも來春一月より着手する方針のもとに十二月初旬府尹郡守會議を開催して最後の對策案を練るはずである（釜山）

府議選擧 異議申立

買收の事實傳へらる

釜山府議選擧にあたり立候補として出馬した堤貞之氏の參謀田口甚右衛門氏より異議申立の手續きを執つたことは既報の如くで府民は異常なる衝動を受けたが府議選擧は定員を超過すること九名におよび釜山府開闢以來の猛烈戰を演じたそれだけ府民の一部には有力候補者の手段に買收の事實を頻に傳へ一種の險惡なる空氣を漂はし流言飛語の化した殊に當選にて當選せる府協議會員に最も疑惑の目が注がれ漸次險惡になる形勢である、右について當局においては今のところ警察の手を動かすまでにはいたらぬが成行きにより當局の態度は非常に注目されてゐる（釜山）

時々は脱線して 醉はなきや駄目

働くばかりが能ぢやない…… 竹内さんの今昔

暗い時に大きな目玉をむいて部下の手にかゝつた被害者が確に一救濟に努力してゐる、慶南内務部の竹内さんはお目の惡いこと、度の深い眼鏡において今度やめた牛の様な月さんほど愛嬌がたつて居ないだけに新しい味があつて近代的であるが若き時代に腕になつて酒を飛ばしてゐる新官僚に向つて試驗の最中「ワイシャツのボタンがはずれて居ますよ」と微塵もない注意を與へて腰を折る位呑氣の方でやつてのける妙機會用の手腕がある、この人は居るはずだが、それぢや面白味があつて仕事をする一面には上出來の酒が好物で「時々は脱線してね大いに醉はなきや駄目だよ、機械のやうに働くばかりが人間の能ぢやない」とくばかり、日本趣味を撥まはしながら氣焰をあげるが、この人なんとした事か洋行から歸つた當時は持ち前のバタ臭を一生懸命かくして、古バタのやうにねつとりした氣味の惡いほどヒツソリした點で「アチラでは、そんな事はやりません」と日本くさい事は一切合財はねとばしてゐたが身に添はぬつけ燒刃は間違ひのもと、そこに大きな破綻があつて本來の面目を無殘に踏みつぶした事件が起こつた

××

悲劇の發生と芳醇を混じた場面は東萊溫泉の蓬萊館の一室、登場人物は須藤知事をはじめ長富衛生課長、山本財務部長、李參與官なんど、一騎當千の士がワキ役となり立役は竹内さんに溫泉藝者で腕と喉で鳴らすさだ奴、萬兩その他大勢であつて花の如く月の如くに飄々んだ竹内さんの惡い癖をとりかこんで一幕物としては惜しい舞臺の舌戰をやつた、片つ方が英米獨佛と三界の色相世界を經廻つて來ておれば片つ方は異鄕越後屋の上で苦勞をかさねて猫い加減な神經ずれのし猫であるから生やさしい戰爭ではなかつたとも想像に餘りある處だ、原因は例によつて杯が飽くことたけなはになるや酒式の池の如くに興を添へる積りで老猫さだ奴が「旦那けん一杯頂戴」とやつた處が「君はなんだお前なんかにやる杯はないよ」と隨分無愛想な御挨拶の上に、アチラではそんなことはやらないと飛ばしたから傍に職が擴大して座に連らなる老猫どもが應援隊となり「いくら藝者だつて馬鹿にしなはるな、アチラ、アチラつて印度へでも洋行なさつたんですか」と紅い唇を反りかへして日本離れのした表情の持ち主竹内さんの顔へ憎まれ口を叩きつけ、ホンに好かん旦那はんこれから一切酒をさゝないこと、誓約を結んで指一切らないばかりに固い〳〵申合せをした

××

以來溫泉へ行つても醉へ這入らそだけで藝者がとりつかぬ、やるせない男となつた竹内さんと藝者連とのにらみ合ひはどうなつたか恐らく湯らしたがその後バタのにほひも拔けアチラのことも忘れたやうに出なくなつたのでさては昔に返つて「時々は脱線して大いに醉はなきや駄目ぢや働くばかりが能ぢやない」と……感じて平和克復となつたかも知れない（釜山）

井美は有罪

女學生から判決

保險金ほしさに自宅へ放火した罪で逮捕された井美璹に係る公判は去る二十一日釜山地方法院にて公判開廷された當時釜山高女校五年生三十八名が傍聽をしたがその後學校にて投票によつて傍聽の感想を調査した結果卅八名の内二名は白紙投票、三名は無罪、殘りの三十三名は有罪の投票をしたが常識の範圍にて今後も生徒に裁判傍聽を行ふはずである（釜山）

馬山酒造組合總會

馬山酒造同業組合は廿七日午後一時から組合事務所で總會を開き昭和三年度および同年度の決算報告並に昭和四年度の豫算を附議可決し、かつ昭和四年度における酒の成績とその成績に鑑み一層その品質の統一向上に留意すると共に販路の擴張、宣傳方法等を考究し一層外に販賣すべく申合せ散會した現在外に販賣せられたる三四酒造年度の

辭令

長崎縣立東萊高等普通學校教諭　龍山光映
任朝鮮公立高等女學校教諭（馬山）　松井弘
任朝鮮公立高等普通學校教諭（晉州）
朝鮮公立師範學校教諭　北村佐太一
補朝鮮公立師範學校教諭（晉州）　亜中休次郎

忠清南道

白石大田面長辭職

後任物色中

大田面長白石藏二郎氏は去る

平安南道

互讓の精神で圓滿に解決したい

平壌商議比率について 三浦日糖理事談

平壌商業會議所評議員選擧問題について三浦日糖理事は左の如く語つた

三浦日糖理事は商業會議所の評議員の比率について「今の評議員の比率に就いては平壌の商議は組合、商工業者の後援をなし爲に一層の發展を期待して居る處であるが、當局側の態度としては中央的な見地に立つて日鮮人の商工業者の發展の爲に考慮されたもので……」……と目下の見解を述べ、……私共としても……

……十九名と十一名といふが如き數へ入れられ度いと言ふのであるが商議の評議員數は比率を主張する通りの評議員を考慮の内にも入ではない然し私共は賦課金の多額な方から……名それ以下から十五名……といふが如きは……（平壌）

松井府尹の辯明

平壌商業會議所課金問題についてこれが圓滿解決を圖るべく平壌府

平壌商業會議所評議員が仲裁に入ることゝなつたことに關し松井府尹は廿八日午後一時半から道廳知事室において知事、參與官、内務部長立會の上在壌新聞記者に對し左の如く說明した

平壌商業會議所の問題に就て平壌府協議會員が仲裁に入ることゝなつたことに關し自分も府協議會を構成する一分子であるが故にこの調停者の中に加はつてゐるやうに傳へられてゐるが自分は全然これに加はつてゐないのであるから誤りを傳へられてゐる向があれば左樣に御訂正ありたい（平壌）

水工事竣工とともに辭意をもらしたので有志が切に留任勸告につとめてゐたが辭意かたく、結局大田面長も辭するにいたつたのですでにせんすべなく辭表を受理し公職者一同は後任面長の推薦につき協議中である（宮原は辭職する白石面長）

江景講演會　江景朝鮮人會では來る八日午後七時から江景金融組合樓上で講演會を開催した（江景）

仙掌水組竣工式　成川郡仙掌里仙掌水利組合の竣工式を一日擧行する（公州）

合財袋

◇……朝鮮總督府商工獎勵館が來る十二月十一日開館することとなつたので鎭南浦からは米、繭、鰕、天日製品、苹果、革等を出品する事になつた

◇……大同郡栗里面の井里金在元（三一）は廿七日夜平壌府南山町メソヂスト敎會堂附近で三人組の強盜に襲はれ所持金十四圓を強奪されたと訴へ出たが取調の結果道行中不良青年に喧嘩を吹きかけられたのを斯くと虚僞の訴へを僞し不良者を陥れんとしたことが判り拘留に處せられた

◇……平壌府外寺洞面平長男安藤金五郎（一九）は廿七日勝湖里で鐵道自殺を遂げた

◇……平北寧邊郡北新峴面水口洞鍋役（二六）に係る妓生李奇花殺し事件は平壌地方法院で廿八日午前十一時猪股裁判長から懲役九年判決言渡しがあつた

◇……同郡内に入り益々猖獗を極めた鎭南浦府内の傳染病者はその後二十餘名に達したので避病院に收容中であつたが現患者は七名である

京畿道

龍山だより

龍山聯隊區司令部では步兵第七十八聯隊上等兵吉賀貞市、同一等卒川口松次郎、同第十一中隊上等兵似吹時義の三君は平素軍務に精勵し、殊に秋季演習中における旺盛なる責任觀念と一般兵卒の模範であると周山聯隊長から先日名譽ある表彰狀を授與された

全羅北道

鮮米移入制限反對を決議

群山商業會議所から内閣要路に電請

米穀調査會特別委員會における鮮米移入許可制限に對する各地からの反對の火の手は群山商業會議所初め各地の反對の急先鋒となつて群山商業會議所會頭、有賀委員長、松村鐵道局長等は東京において極力これが阻止運動をなして居るが米穀の移出を生命とする群山では二十五日臨時役員會をひらき右に關する反對を決議すると共に群山商業會議所として田中總理大臣、商工大臣、農林大臣、拓務大臣にあてて左の如き移入許可制限阻止を電報にて要望した（群山）

「米穀調査會特別委員會における朝鮮米移入許可制限は朝鮮産米の發達を阻害し延いては統治上一大禍根を胎すのなるを以て本案の阻止に附き閣下の御配慮を切望して已まず」

三氏へも「鮮米移入許可制限案反對阻止に付過日の御無援を感謝す尙この上目的達成の爲め御盡力を切望す」

と打電した處

「極力期待に副ふ可く運動を繼續する」

旨の返電があつた（群山）

沃溝郡守留任方陳情

沃溝郡守金正基氏は今回の整理でやめることになつて居るが群守手腕家として内外の信望のあつかつた主たる森谷元一、文鍾稽、宮崎保一、井上（不二農場）、柴田（熊本農場）の五氏は留任の陳情につき懇請した二十八日には沃溝郡の地主たる森谷元一、文鍾稽、宮崎保一、井上（不二農場）、柴田（熊本農場）の五氏は道廳にて道知事を訪問し留任の件につき陳情した（裡里）

群山府議會

二日開催す

新に選出された群山府協議會員三十四名は二十五日をもつていよいよ職務の辭示されたが來る二日午前一時から小學校講堂において昭和四年度歳入出追加豫算更正を附議した

裡里から

◇錦山郡において電話をかけるべく受話器を耳に當てると電話は出ずにどつかの話し聲が大混線で手に取る如くに聞こえる話の主は裡里の某なので何だかその話が隣の聲で聞くにしたがつて……

◇話は中途からで誰が誰やら判らんが『電話で何ですが若も貴方の選擧がまだ御約束がなければどうぞ大木眉男君に御願ひしたいと思つて御伺ひしたんですが』

『あーそうですか、それは甚だ相濟みませんが實はすでに約束はしては居ませんが意中の人を決めてゐますので甚だ何ですが』

『そうですかそれは殘念でした、あなたは學校組合議員でしたか』

『イヤ違ひます。今は何もしてゐません』……不樣なら。

◇話しつ振りがどうも全北商事の小谷君の聲とは判つてゐるが一方が誰だかわからん。

◇選擧がすんでから小谷君に『すでに意中の人があり前學校組合議員の電話は誰だつたか』と聞いたらそれは北川省吾君だつた成る程そういへば聲が北川君だつた。

◇以上が記者の受話器に入つた混線狀態。

◇裡里の電話は混線でこの狀態はやむを得ん設備らしいがこれは何とか當局で豫算に計上して貰はねば何時かは郵便と遞信局の人の耳にする秘密な話まで聞こえて居た位だ。

◇こんな工合だつたら殆ど電話の料金で要な條件も半減されるし、料金でも値下げして貰はねば引き合ん話だ。

◇故郷へ送金　中には給料（一ケ月七圓六十錢）の中から毎月六圓と貯金して、九十四圓に達し鄕里から金の工面方を頼まれて直に五十圓送つた七十九聯隊步兵第七十九聯隊から鐘路太郎へ派遣されてゐた中山要人中尉が優秀で卒業し、名譽ある恩賜の軍刀を拜受した

◇七十九聯隊長　高山聯隊大佐は秋季演習中不幸にも足部の骨をくぢき病院へ、で療養を續けてをり、まだ步行できない

◇將校婦人會　婦徳の涵養と緊切なる社會事業へつくすための組織された將校婦人會龍山支部創立總會は卅日午後一時半から軍司令官官邸で開かれる

咸鏡北道

抵當流れの鑛山を競賣

加藤鮮銀總裁から咸興法院へ提出

朝鮮銀行總裁加藤敬三郎氏は、京城府黄金町三丁目辯護士赤尾虎吉氏を代理人として、東京市麹町區平河町六丁目尙新鑛業會社所有の咸鏡北道元山府在九十四萬二千七百四十七坪の金銀銅亞鉛鑛を始め、咸北會寧郡所在鑛山等、いづれも鑛區七、八十萬から九十萬坪餘の金銀銅亞鉛鑛山十四區の競賣申立を廿七日咸興地方法院に提出した、右は大正十三年六月六日尙新鑛業會社に抵當權を設定して

お次は湯屋と床屋

値下げの夢

家賃値さげの叫びに次ぎ湯錢、理髮料値さげの聲が最近府民間にさかんに唱へられてゐるが現在の理髮料四十五錢湯錢六錢は好況時代の遺物で相當値さげの余地ありその筋では府民の聲に鑑み湯屋の改良および湯錢、理髮料につき研究考慮中である（元山）

鐵鑛が金非鐵山を貸付したのが抵當流れとなつたので、いづれも時價には鮮内は勿論内地方面からも入札申込ある鑛山なので、入札期日にあたり新たに入手する者が殺到するであらうといはれてゐる新興鑛山がこゝに至つたのは、同鑛山は最初慶北尙州金山と共に、尙新鑛山と稱して松方乙彦氏が代表者となり、元鐵道大臣井上匡四郎子等と松方系で經營すべく準備中のとき、十五銀行の破綻から松方系の出資困難となり、遂に今回の憂き目にあつた譯で同鑛山は朝鮮有數の有名な山である（咸興）

江原道

記念植林

元山稅關では去る十一月十日同會一周年記念日に際し擬宜買收し置きたる德源郡梧木里の二町六反五畝歩に日鮮人出にて記念植林をなし（元山）

春川面議を觀る（五）

支局　一記者

◇荒木之下　春川市場大阪出の一角に阿房宮のやうな素的に大きな家があるがこれが料亭松乃家といふ荒木君の據城だ。彼は朝鮮新聞支局長であり又春川第一の家主でもあるのだが又今回出來る春川自動車會社の取締役にすでに約束濟みの形になつてゐるといふから彼の非凡な手腕はどこまで伸びるやらちよつと見當がつかない。今年とつて四十五歳、二回目の當選である。

◇島要氏　以前鐵道局鐵道物産課に勤務

した金の鑛山主であつた事もあり、苦節その手腕も認められたが今は經營難な月日を送つてゐる、耳順に近き年ではあるが精力は壯者を凌ぐものがあり府政に對しても相當抱負を持つてゐるやうだ。

海金剛から

久松生

◇自動車は海岸線に沿つて一氣に長箭、通川、庫底を經て叢石亭に着く。

◇全くの小群島でありながら海中に押し立られた叢石亭は妙岩だ脚の下には底も知れぬ深碧の海水がたゞよつてゐる、いはゆる長箭港の兒童島、その他の島々は全くの繪だ、雄大な日本海が洋々としてゐる、まさにはてしのない超々雄大さだ。

◇ここで海金剛を感ずる、前日立石里に立つて見たいはゆる海金剛はその一部ではあるが確に特種の風致をなして居る。長汀の奇岩には必ず松、その他の樹木がある、海と岩と松と理想的の景致であつた。

◇立石里から叢石亭、いや元山まで即ち大海金剛と稱すべきであらう、若しそれ、月明の夜或は漣波の曉、又白蛇の躍る怒濤の日を想像する時は、また天下の絶景たるを讚り得るであらう。

◇或探勝客の評に『内金三分、外金剛六分、海金剛一分の風致だ』といつたと溫井里の國本部長に聞かされたが、それは全く當たつて居ないこと感ぜられた。假にもかゝる尺度で品評するには餘りに雄大、餘りに神秘、餘りに深淵であるからだ。

◇東にも角にもわれ〳〵は沿金剛、内金剛、外金剛、海金剛を見物し終へたのであるが、おの〳〵特異の風致であつて全く比較批評すべきでないと感じた確にその通りである。實際が確に證明してゐる。

◇郵川の李大容郡守さん、山口文吾署長さん、面民の土居政次郎便所長さん、飯竹久昌郡部副さんの御歡待を深謝しつゝ叢石亭を辭して一氣に先山に車馳し深夜の汽車に託して十八日朝京城に歸着した。

◇この行昭和四年十一月十四日午前十時京城發十一月十八日午前七時京城着。內金剛、外金剛、海金剛、即ち金剛山を最も短時間に快走した新記錄であるといふ、沿道官民有志各位のこの新記錄達成に多大の便宜と歡迎の御厚情を賜はりしこと厚く感謝し擱筆（をはり）

地方集會

◇松井府尹張宴　松井平壌府尹は府協議員及び前協議員及び新聞記者招待宴は廿七日午後七時から平壌櫻町料亭喜樂で主客七十餘名列席の上府尹の挨拶、次いで府協議員當選者中の基燦氏一同を代表し謝辭を述べ大盛會裡に同九時過ぎ散會した（平壌）

◇沖本面長面員招待　海州面長沖本正氏は今回當選の面協會員二十八日一同を信の家に招待し懇親を圖つた（海州）

◇信の家の披露　料亭信の家は宴會所の新築落成したので廿七日夜は海州記者團を招待して披露の宴を開いた（海州）

◇陸運會社披露　來月一日から營業を開始する朝鮮陸運株式會社はその披露のため二十七日夜市一樓に官民有力者七十餘名を招待した、安座上社長、川島重役、市川專務の挨拶につぎ安東氏の謝辭あり盛會であつた（清州）

地方人事

▲大野敬次郎氏（朝鮮硬質陶器會社支配人）二十八日朝神戸より釜山歸來
▲望月龍三氏（元血清所長）退官挨拶の爲め二十八日釜山府内各所歷訪
▲美座慶南警察部長　二十八日朝大邱より歸任
▲大木安之助氏（全北商事社長）總會出席の爲廿九日裡里へ
▲高橋本府視學委員　地方視察の爲廿八　裡里へ
▲忽那德氏夫人訃　釜山大倉町三丁目機械商忽那德氏夫人富子氏は豫て病氣の爲め府立病院入院加療中の處藥石効なく二十八日午前十一時死去葬儀は三十日午後四時府營葬場にて執行

府立　仁川病院　電話 病室 一〇二 事務所 一〇二四番

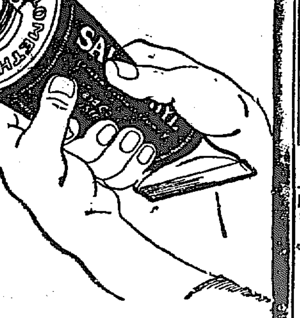
耳鼻科　眼科　産婦人科　外科　小兒科　内科

新任　院長 醫學博士 岩井勝三郎　副院長 醫學士 西野入眞澄　醫學士 京城 尹致魯

製造卸問屋

各種　タオル　メリヤス　靴下

釜山府辨天町一丁目
村上タオル商會
電話 長一〇一番　振替釜山一一一番
タオル工場・靴下工場
裁縫品工場・軍手工場



外用鎭痛藥
サロメチール
痛み、疲れ……の塗擦療法
筋肉の硬直及び關節の痛みにサロメチールを擦り込めば、直ちに皮下に滲透し欝血を散じて血液の循環を良くし炎症を愉快に消失せしむ。
消炎鎭痛藥として　頭痛・腰痛・關節炎　ロイマチス・神經痛
スポーツ藥として　打撲・筋痛・疲勞　肩凝・腫脹・捻挫
―その特長―
一　奏効迅速……殆んど直ちに炎症を去る
一　無粘着性……皮膚又は衣類を汚損せず
一　用法簡易……單に患部に擦込めば足る
發賣元　株式會社 田邊元三郎商店

おんぶ
名稱 アンメルツ
瓶詰
リウマチ 神經痛 疲勞痛 肩のこり
全國藥店百貨店にあり

意匠圖案懸賞當籤者發表
昭和四年十月十一日本紙掲載意匠圖案懸賞廣告の投票總數壹萬七千百十六票の内上掲の廣告當籤に付共投票者を抽籤の結果左記の諸氏當選されそれ〴〵賞品の發送を了しました。
昭和四年十一月三十日
大阪市高麗橋五丁目
廣告代理業 株式會社 萬年社
一等、廣島市白島西中町 淺井直三郎殿
二等、福岡縣嘉穗郡庄内村大字入水 渡邊灰太郎殿
二等、佐賀縣東松浦郡北波多村平野 金丸又左衛門殿
二等、熊本縣上益城郡御船町 道上政人殿
三等、德島市大田 春吉殿、鹿兒島縣三浦乘石殿、熊本縣本多宗門殿、朝鮮 大分市後藤東太郎殿、崔東 新田秋殿、東京市鈴木定次郎殿、岡山市 北海道 平辰男殿、大阪 一般 永安仙太郎殿、三重縣 服部殿

京城通信

商議會頭の人格

京城 一記者

平壌府に於て比率につき問題が起りつゝあつた。まことにおろかしき問題だと評せられて居る。賦課金による物理的の比率計算の方法があり、その方法に絶對信依すべしといはば、その紛擾といふがやゝ對等に亙し負擔制度の圓滑なる運動を期するゆゑんではないが、されぱとてこの方法より超然たるかに飛び離れることもまた不適正である。いはんや一種の感情を以て『初志を貫徹』せんとするに至つては悲劇なる滑稽と評せられてゐる。

×

たとそれかゝる感情を激發せしめたる中心人物はないか。あるとすればそれは誰か。その誰かを引退せしめさへすれば時局は立ちどころに收拾せらるるのではないか。もしかりとせばそれはその『誰か』を引退せしむることによりて解決を促進すべきである。同時に下らぬ增長論理をふりまはした反省の興味さを突殺して將來の反省を促してやるがよい。

×

感情を激發せしめたは劣勢であると同時に激發せしめられて、それに乘じてスツトントンとかけだしたのは愚劣千萬、沙汰の限りと申さざるを得ない。こんなのは居中調停もへチマもあるものではない。冷水三斗をブツかけてやれ。

×

これはひとり平壌の問題ではない京城の商議の問題でもある。その他各地會頭の人格はそれみづから多くのことを雄辯に語るものであるよ(廿九日記)

黃海道

野に下つても國家の爲めに盡したい

勇退した朴前知事語る

勇退した朴黃海道知事は廿七日海州有志を招待し夜二回にわたり官民に招待して別れの挨拶をした未だ正式の辭令に接せずも今回退官することになつたので近く海州を引揚げることになるだらうと思ひます、昨年三月本道知事として赴任してから一年八ヶ月間公私共に皆さんの御援助に預りましたことを深く謝します、私は官吏生活二十三ヶ年間のながい間ではありますがその間につて愉快に過しました、今般で退官しても隣りの平壌の郷里にても野にあつても矢張り切りなく國家の爲めに何か盡したい考へであり、又皆さんからの御援助も相變らずお願ひしたいのであります、顧みれば在職一年八ヶ月間何等なすことなく誠に恥ぢる次第であります將來何卒よろしくお願致します(海州)

る奇峰が巍然として天にそびへてゐる頂上には烽火の趾蹟がある中腹にも三ケ所の與行約三十間の岩窟には夏中天然氷が採取さる窟は洞窟に夏は氷に秋は黄葉にしかして冬は六花に四季各々彩られて遊客常に絶ゆることがない

海州から

◇早くから噂へられた、海州消防組頭の萬代勝助君の辭職のゆるしが、やつと出たので、後任の小頭田邊彌一君がその頭となることになつた。

◇そもそもこの組頭問題は前の組頭、小田邊彌一君がやめた時ゴタついたので、當局者も困りはてて、その任にあらずと、いやがる萬代君を引出し、マアマア暫くでもと、いはゆる暫定的の組頭としておしつけたものである。

◇爾來二ヶ年間萬代君は常に辭意を洩らしたが、矢張後任者が無いで以て今日におよんだものである

◇萬代君は海州の草分であり海州の元老である、温厚篤實な人格者である、自己の性格から以てその任にあらざるを知り常に辭意を洩らしても萬代君以上の人物と適任者を見出さず、漸く今日までおしつけるとが出來たのである

◇萬代君が辭表を提出してから早六ケ月、今日漸くゆるしが出たがその後任組頭こそ古參小頭の田邊彌一君である、田邊君の組頭必ずしも不適任ではあるまい

◇年は若く、腕は冴えてゐるいはゆる統制氣鋭の組頭である、この統制無線にとらはれず公平に事を處理する度胸さえあつたら將來必ず素晴をおひ、名組頭として名を成すであらう

◇萬代君の圓滿辭職と田邊君の圓滿就任共に海州の爲に喜ばしい。

文蠶講習生修業式

海州女子蠶業講習生修業式は廿八日午前十一時から原蠶種製造所講堂で擧行朴知事をはじめ道評議員、各學校長、公職者など多數臨席あり白土技手の報告報告、賞狀および賞品の授與後所長の訓辭、朴知事の告辭來賓渡邊清房吉氏の祝辭修業生總代の答辭あつて閉式した今回の卒業生は二十名いづれも各郡長の推薦によるもので成績も概して良好であつた(海州)

黃州リンゴ 獻上の光榮

黃州リンゴはさきに高松宮殿下および同妃殿下御來鮮のみぎり朝鮮總督その他より獻上の光榮に浴したが過般南朝鮮旅行の節上京に際し同司令官よりかしこき邊りへ獻上せられしところ御嘉納あらせられし趣である(海州)

伊川の支石 市場狀況

伊川を去る十二里伊川郡樂壤面支石里は元新溪郡の一部であつたが大正六年郡の都合により伊川郡に合併されその地勢は全く黄海道へ凸字形にくひ入つて居る今日交通關係からいへば黄海道新溪郡に入るが至當である伊川への自動車便は一日二往復であるが伊川邑へは隔日一回の不定期的便しかない、然し同地は地方稀にみる市場取引を賑め一ヶ年の取引高大豆一萬石粟二萬石米一萬石牛三千頭牛乾荷二萬石乾鰮二百五十石外雜穀類をはじめ砂金一萬圓金鑛一區を勞近に有しこの外鑛區二千石を移出して居るしかして市場一ヶ年の取引高は八千余萬圓に上り市場戸數五百四十戸人口二千四百五十余人である附近には太乙山といふ松柏鬱蒼とした奇岩怪石の錚々た

忠清北道

正月の饗應は元日一日に限る

名刺の廻禮は全廢する事 道廳員の勤儉實行

忠北道においては時節柄勤儉節約實行に關し左の如き注意事項を廳員に配附した(淸州)

一、時局に鑑み緊身奉公經濟の調和を念とし緊張せる氣分を以て事務に當り定時を勵行し各種會合には能率の増進に努むること

二、服裝は簡易と實用とを旨としこの際洋服は成るべく見合せ色服(朝鮮へ)の着用を勵行すると共に事務服は漸次普及に改むること(少くとも新調の場合は詰襟とす)

三、宴會は成るべく之を廢し開催の場合は時間を短縮すると共に會費は成るべく一圓前後(五食以上とす(二圓を越えざること)

四、規約貯金は月俸の百分の一以上とし已を得ざる場合の外拂戻さざること

五、訪問接待その他家庭の内外に亙り質素簡易化に努め特に主婦を誡めて民衆に率先して生活の改善を計ること

六、形式的虚禮的贈答は全廢すること

七、冠婚葬祭は質素を旨とし虚飾に流れざる樣注意すること

八、年始に當り左記勵行すること

イ、名刺交換會に可成出席し名刺廻禮は全廢すること(本年より)

ロ、門松は一切設備せざること、お飾は質素を旨として締飾にはその主幹を用ひざること

ハ、正月酒食の饗應は之を節し嚴意の間柄と雖も元旦一日に限ること

九、出張辨當はなるべく持參すること

一〇、毎月一日と十五日を節約日と定め總員一同趣旨の徹底を期すること

野田部長告別式

今回の異動により退官した野田內務部長は廿八日午後一時から道評議會議室において職員一同を集め告別式を行つた(淸州)

砂防視察團

山本瑞興郡守は管内瑞興、玉山兩面長以下三十三名の面長を引率し自ら團長となつて本月十五日瑞興川…着一行十六…漆川面長管里になる砂防造林成蹟を視察した、この企てを聞き陜城郡でも李郡守主任の團長となり三成面長以下五名の面長を引率してこれに加はつた本視察の目的は本月十四日韓道知事の視察したる龍山面の荒廢地が嶺南の禿山の海をなし南面のみにても林野面積七千八百町歩中三千三百町歩の砂防地を有し年々下流の道路堤防の破壞田畓の埋沒等被害はなはだしく燃料はいよいよ缺乏しこの狀態で推移せば遠からず地元民は他に移住の外なき有樣なるをもつてここに地元民の覺醒を促し山林復舊の最善の努力を擁はむとするにあるものである(淸州)

慶・尚北道

山崎府尹留任運動

廿九日公職者大會開催

今回の朝鮮總督府の異動に際し勇退した山崎大邱府尹に對し大邱全公職者はこの名府尹を失ふことは忍びないとしこれが留任運動をなすことになり廿六日府協議員、學校組合議員、學校評議員を糾合する全公職者の名をもつて拓務大臣、内閣書記官長、總督、總監、内務部長に對し留任方の電報を發したがこれに端を發し同府尹留任運動は俄然擴大化し府協議員以外の公職者も合流し大々的留任運動を起こすことになりまづ全府民の聲となり府民大會を開催して目的の達成に努めることになり廿七日午後三時から各公職者は會合山崎府尹の留任運動について協議の經過報告後府協議員の各公職者で協議した結果

高田官吉、武尾禎誠、里川四治、韓翼東、張永遠

の五氏を實行委員にあげたが、右實行委員は廿八日午後二時から府協議會に各實行委員會を開催し第一回の會合を廿九日午前九時から同所に全府內公職者大會を開催し徹底的に留任運動を開くこと、なつたが、これについて某公職者は語る

我々の信頼する名府尹を失ふことは大邱にとつて非常な損失だ同府尹が恬淡にして官吏には珍しい眞面目一方な方でそれだけ游泳術に下手であるこれが今回の退官を餘儀なくせしめたものと思はれる然し氏は大いに今後なすある人である、何はとも角我々は出來ることなら氏の留任を希望する(大邱)

大邱の貸家調査

大邱府内の家賃値下問題について各方面で相當論議されて來たので府社會係では過般本調査として先づ府内の貸家數を調査したが現在內地人側の總數は二千七百三十七戸二十圓以下のものがこの内の八割を占め月額四萬七百十六圓年額四十八萬八千五百九十二圓一戸當り平均十四圓八十七錢となつてゐるが府の調査完了をまつて大體の値下げを家主に懇請するが今平均より下げ三割と見て十四萬六千五百八十圓が浮く譯である更に朝鮮人側では總戸數二千百十六戸年額七萬二千余圓で一ヶ月平均二圓四十九錢であるがこれを二割平均の値下げと見て約一萬五千圓である(大邱)

家庭常備藥 都南莊の新藥オゾ

東京都南莊の新藥オゾは皮膚科の泰斗士肥醫學博士外三博士の處方に基づく驚異的藥として怪我や火傷その他皮膚の疾患に驚くべき偉効があり家庭の常備藥として非常に歡迎されて居る。

一ガロンのガソリンで何哩走れるか? 新フオードは少くとも廿哩以上

『一ガロンのガソリンで何マイル走れるか?』これは自動車に關係のある人々ならば誰しも知りたいと熱望される處であらう。米國インディアナ州にあるフォード特約販賣店アドバンスモーター商會が主催となり、附近のナッシユといふ處で新フォード車を使用してこれを實際に試驗したそして第一位から第三位までの優勝者にはそれぞれ三十ドル、十ドル五ドルの賞を與へることにした。リチャードバーガー氏が操縦したA型二扉セダンが『三十九マイル』を走つて第一位、第二位も二扉セダンで『三十五マイル八』であつた。行程は各種の道路狀態の地域を選んだこと勿論で、途中泥土すらもあつたのである。出場參加車輛は廿五臺、內『二十四マイル』以上を走つた車が二十臺であつたといふから、いくら內輪に見積つても新フォード車は一ガロンのガソリンで廿マイル以上を走行し得るといふことは決して誇張ではあるまい。

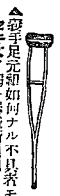
狩獵期と副業

手皮は益々高價である

今は狩獵には絶好のシーズンであえ斯道の大小獵家は豫め調査してある方面や情報によつて我こそ勝利者たらんと競て居る一方鳥獸類は大恐慌である、鳥獸類は本年は氣候の關係上繁殖多大である、銃砲の免狀へは本年から寫眞を附し免狀を他人へ貸す事を防ぐ事と成つた又朝夕の時間も矢釜敷なり違反者は罰金と免狀や銃砲取上げられる厳罰主義となつた。兎、狐、鼬類の毛皮は防寒用装飾用等に近來益々用途擴大し高價である兎は最低一圓から四圓位鼬は三圓から八圓位狐は十圓から一寸大形で三、四十圓位である、日本の兎には毛質が軟でオットセイ、ラッコの代用品として染色が自由である爲歐米では日本兎の皮は大流行である、農林省では輸出の奨勵に盛んにして居る、毛皮が目的であれば銃砲で取た物は彈痕が出來て廉價となる、羽根獸の捕獲器が一番よいアニマルトラツプと云ふ捕獲機はどこにも賣て居るが廉價で効力が多い狐は鼠取の樣な物で全部鋼鐵製で叶の板、狹た物は鼠でも狐でも通るゝ事が出來ない又致命傷を與へぬから捕た後生殺が自由である銃砲の樣な危險もなく爆發物の恐れもなく使用法に簡單で歐米では一人が數百個を使用し中々盛んである冬期の副業にも運動にも好適である。

◎患者用腋杖 上等一組金四圓八拾錢 並四圓五拾錢、各種御用命ノ節ハ腋下ヨリ床面迄ノ寸法御通知ヲ乞フ

△義手足元祖 如何ナル不具者モ又セキズイ病モ器械術應用ニテ根治ス



(見本郵呈ス)

京城府谷川町(公會堂筋向) 專門製作所 高野義肢製作所 電本局一九二六番

品質本位

花王石鹸

永年御用命の光榮を感謝し奉る

陸軍省殿
海軍省殿
鐵道省殿
東京帝國大學醫學部殿
京都帝國大學醫學部殿
東北帝國大學醫學部殿
九州帝國大學醫學部殿
北海道帝國大學醫學部殿
京城帝國大學醫學部殿
新潟醫科大學殿
岡山醫科大學殿
千葉醫科大學殿
金澤醫科大學殿
長崎醫科大學殿
熊本醫科大學殿
大阪醫科大學殿
愛知醫科大學殿
京都醫科大學殿
滿洲醫科大學殿
慶應義塾大學醫學部殿
東京慈惠會醫科大學殿
日本醫科大學殿
東京女子醫學專門學校殿
近衛師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第一師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第二師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第三師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第四師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第五師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第六師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第七師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第八師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿

第九師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十一師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十二師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十四師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十六師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第十九師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
第二十師團各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
關東軍各隊殿
仝 各衛戍病院殿
臺灣軍各聯大隊殿
仝 各衛戍病院殿
支那各地駐屯軍各隊殿
仝 各衛戍病院殿
南滿洲獨立守備隊殿
陸軍各學校殿
陸軍各工廠殿
陸軍各兵器廠殿
陸軍衛生材料廠殿
陸軍被服廠殿
陸軍糧秣廠殿
陸軍各偕行社殿
横須賀鎭守府殿
吳鎭守府殿
佐世保鎭守府殿
舞鶴要港部殿
馬公要港部殿
大湊要港部殿
鎭海要港部殿
第一艦隊殿
第二艦隊殿
練習艦隊殿
支那沿岸警備艦隊殿

横須賀海兵團殿
吳海兵團殿
佐世保海兵團殿
横須賀海軍病院殿
吳海軍病院殿
佐世保海軍病院殿
海軍各學校殿
海軍各航空隊殿
横須賀海軍工廠殿
吳海軍工廠殿
佐世保海軍工廠殿
海軍造兵廠殿
海軍各水交社殿
海軍各下士官兵集會所殿
海軍各共濟組合殿
傳染病研究所殿
理化學研究所殿
臺灣總督府各醫院殿
朝鮮總督府各道立醫院殿
樺太廳各醫院殿
鐵道病院殿
各府縣立病院殿
全國各地公立市立病院殿
日本赤十字社各病院殿
恩賜財團濟生會各病院殿
支那各地同仁會各醫院殿
東京市警察病院殿
東京横濱同愛記念病院殿
財團法人泉橋病院殿
東京順天堂病院殿
聖路加國際病院殿
各鐵道局購買殿
南滿洲鐵道株式會社殿
日本郵船株式會社殿
大阪商船株式會社殿
日清汽船株式會社殿
北海道炭鑛汽船株式會社殿
八幡製鐵所殿
室蘭製鋼所殿
三菱造船所殿
全國各鑛山殿

東京本店 東京市日本橋區馬喰町 花王石鹸株式會社長瀬商會 大阪事務所 大阪市東區南久太郎町

▼本劑は美味佳香、副作用絶無、茶珈琲の飮用を妨げず▲
▼各種ブルトーゼに對する著名醫家の實驗報告並に養生法申込次第進呈▲

病魔は絶えず
仇敵の如く
人體に肉薄す

補血
强壯
ブルトーゼ

ブルトーゼは　人體肝臟中の貴重成分たる造血素と同一集成を有するが故に　直に造血機能を亢進し諸組織を活躍せしめ　體質を根本的に改造し全ての疾病に對する抵抗力を强むるものにして　之れ即ち他の滋養强壯劑の如く局部的或は一時的効果を奏ぐるに過ぎざるものと選を異にするを　本劑の唯一特殊的價値として　著名各專門大家の御賞讃を得て炫然たり

虚弱・病後衰弱に　單味ブルトーゼ　半ケ月二・〇〇　一ケ月三・三〇
神經衰弱・貧血に　砒ルブルトーゼ　半ケ月二・三〇　一ケ月三・七〇
腺病性諸症・小兒發育不全に　ヨードブルトーゼ　半ケ月二・三〇　一ケ月三・七〇
榮養不良・食慾不進に　キナブルトーゼ　半ケ月二・三〇　一ケ月三・七〇
肺結核・百日咳に　コグアカルブルトーゼ　半ケ月二・六〇　一ケ月四・三〇

發賣元　藤澤友吉商店　大阪市東區道修町二
支店　京城府西小門町四二
支店　東京市日本橋區本町
B—169

嘯風荘襍記（七）

中村漁波林

二、和歌と俳句と詩

和歌と俳句は我國特有な傳統的國民文學である。我國のみが有する獨特な詩形であつた。勿論この二つは最も著名な代表的詩形であつて、これを更に詳しくいふと短歌、長歌、旋頭歌（混本歌）今樣、連歌、俳諧等を數へられるけれども、いま私はこれらについての詩形論や、或は史的考察に立脚してその變遷に言及したり、又はその相互の關聯論などを書かうと思つてゐるものではない。

たゞ現在私共が周圍に發見しうる和歌、俳句、詩に關して、私の考へてゐることの一つを最も端的にそして直截に書いて見たいと思つてゐるのである。

×

私がいま改めていふまでもなく、和歌は三十一文字、俳句は十七文字の最も要約せられたる文學形態であつて、無論私共は遠く上代から今日までに創作されたる幾つかの卓越せる和歌を知つており又優秀なる俳句作品をも記憶して居るのであり、この兩詩形態の文學が藝術的でないといふことは決していはれない。

又この和歌、俳句等にその思惟をゆだね、心境をうつたへ、自然を表現し來た多くの、藝術家としてすぐれたる歌人、俳人をも知つて居る。

×

然しながら和歌、俳句は巍然として律調の約束を背負されてをり、このことはその詩形或は詩型の斷照であるところのものが、換言してもつと一般論的にいへば、動く生活を捉へるべく、餘りにも大きな運命的缺點を持つてゐるのである。

そして實はこのことも上代或は比較的近世までの悠久なる祖先の生活樣式の下にあつてはこの和歌、俳句などといふ文學形態は最も彼等の生活にふさはしい藝術形式であり、藝術表現であつたのである。

然しながら勿論そのやうな彼等の生活に適當したる文學樣式でありながら、然もなほその定形律の絶對的な拘束は、たとへ天才的な人々に取つても自由にだしてもつと自然に感動する生活感に突入し浸透し、表現することは困難であつた。

又空にその律調の上からばかりではなく、その約束されたる三十一文字、或は十七文字は作者の詩境に反映したる具象的な內在律動を包容するべく、根本的において致命傷的であつたのである。

これが爲にそれらの作者はそれ自身の直覺し、直感し、感動したる生命感的實（外形および內在）をそのまゝ卒直に顯現し、生命さすことが不都合である場合には自らの生きた生命リズムを歪曲して、比喩的な言葉をさがし出し、或は生命なき觀念を考へ出して表現した。今日われ／＼がかの記紀、記謠をはじめ或は萬葉集などに散見する和歌とし、優秀なりと認める作品も、そして又實に立派なる藝術的作品も、周到なる一般的觀賞の上に立つて論斷すれば、その內在生命と具象的實感ば一應にマンネリズムだといひ切つても決して藝術に對する冒瀆ではないのである。これはそれ／＼の作者が所謂人であり、そしてマンネリズムの境地を一歩も脫し得てゐないといふ結論ではなく、この點は正しくその律動的な束縛によるものである。

北滿の自然と人と

石森迫川

五龍背温泉から鴨綠のほとりまで何時も雨である。私は每年一二回はこの安奉線を通るが、このほとりはいつも、雨が車窓を打つた。そ こんどの旅でもそれがあつた。そしてその雨が何時も、きまつて曇天で、研ぎ磨した卵色のやうにはれるのであつた。

私はこの雨が枯れ切つた高粱からのけびこつてゐる風景に孤ぐのを見た。かれ／＼の磧に小豚がこの雨にぬれてちよろ／＼と逃げ迷ふのを見た。五月の末、母の危篤の報を大連で握つてその晩の夜汽車に乘つた記憶が浮かんだ。その汽車が安奉線に近く向つて走つてゐる時、ほの／＼とあけ離れた大陸の曠野、さびついたタンクの傍らに櫻の花が一本だけ咲いてゐるのが、私の頭腦からどうしても放れない。五月の雨のサラ／＼と降る中に栗の花房が垂れてゐるのを見た。もうその花がホロ／＼ともつてゐた。それもまたどうしてか私を感傷的にした。母の死と、タンクの傍の櫻と栗の花とこんなことが私のこんどの旅につき纏ふのであつた。

奉天驛は午前六時に通過するといふのであつた。そこの金融組合に勤めてゐる甥の健太郎に打電した。汽車が着くと丁度夜が明けたばかりのやや冷々した朝の氣の中を彼は外套をかむつて驅て來た。足袋もはかず洋服に下駄をはいてゐた。彼は矢張死んだ母から愛された一人であつた。五歳まで私の母の手で育てられた。丁度彼が今年の五月大阪の聖門學校をおへて就職をさがす爲に私の家に來てゐた時、母の死があつた。彼は私の家で佛樣を祭つた。母の命日に就職の電報を受けた。

「おいお祖母さんがちやんとさがして下すつたんだぞ」

私はいふた。「はい」彼は默つて滿洲に立つた。

＋　＋

ハルビンに私の盟友であり俳句の先生である佐々木有風がゐる。彼は東拓支店長のかたはら今はハルピン日々の俳壇で選者をして乾燥した北滿の天地で幾分でも生活を潤さうとしてゐるのが嬉しかつた。

『蒙古には遊牧の民がゐる。彼等の一群は五、十八、百八と一隊をなして次ぎから次ぎへと漂浪ふて彼れの住む土地を漁りあるく。ある月明の夜であつたこの一隊が海のやうにひろがつた野原をあるいてゐた。月と、駱駝と、空と、この一隊のみと信じてゐた。ところがこれを眺めてゐた心なの支那鐵路の一隊があつた。夜陰に乘じて曠野の遥なる黑影を眺めて、直に機關銃を放つた。彼等は無抵抗にバラ／＼と倒れた。それは野狼の前に出た小羊のやうであつた。月の光で流血の慘は白砂の上にはつきりと見られた。それでも彼等の何の苦悶もなく、その殘り少なは一隊をつれて悠々として漂つていつた―。』

有風はこういふ話もした。一軒ののつぺらぼうな紅磚の驛舍、一軒しかない東淸鐵道の小驛に住むロシヤ驛員の家、ラマ寺の秋、そこに矢張詩があり歌があるやうに思はれる（十月二十五日）

京日柳壇

九月集（一）　井上劍花坊選

退屈な前頭と仕事莨なり　京城　孤酌坊
靈長の儀式圖を打ち殺し　京城　國分與始末
中原に銃を通して月を見る　同
一錢の事でとう／＼買ひはぐり　馬山　梅田柳幸
當にならぬ臨時雇の勤め振り　同
新兵の型を見習ふ後備兵　京城　猪股柳三
あと三日などと忙しい洗濯場　同
生欠伸かんで法話を聞く老婆　京城　三栗谷妙法寺
脫線の電車通風機だけが廻る　同
馬の尻輕く叩いて賞めにけり　京城　國ケ背彼
踊ひ鋼までも取つて見せ　同
就て行く夜を考へること多し　光州　金井芳の人
親となり戶主ともなりて荷が重り　同

雛子郎氏講演會

石島雛子郎氏來城は既報の通りであるが、この機會に氏の俳話に接したいといふ希望があるので來る十二月二日午後七時から本社來賓室にて『開拓者の心事』の題下で講演をを催すことになつた（寫眞は雛子郎氏）

京日詩壇

十月集…6…佐藤清選

幻想の壺

河野松島

園草の櫃はゆらゆらと
かたはらの壺の口から登る
ほそほそと紫に煙は登り
くるくると輪を描いてきえる
空しくする事なき今日の儚な日
じつと壺の肩をさすつてゐると
その古びた壺の底の方から
かすかにたちのぼつてくる聲だ
過去の生活のうめきが
祭の美しい祈りの聲ではない
幽靈の聲だ
壺よ！お前の口から登るその
園をじつと見ながら
おれはどんなに多くの幻を見た事か
苦しい惱みを共にした事が
魔物の壺よ
私自身の香をこめた壺よ
お前は私に色々な事を敎へてくれた
幾百年の想に眠る壺よ

秋の短信

稲村諦

あきになりました
かきのみがあかくなりました
くりのみもじゆくしてはじけてゐます
やまはまつたけのにほひで一ぱいです
わたくしはけふかきのみをくひながら
せんせいとやまにいつたことをおもひだしてゐます
せんせいはまだかへつてくださらないのですか
あきになつたらかへるといつたのに
故鄕の少年よ、少女よ、秋になつたね
秋のウカツな約束を信じて今もお前達は健康な心で私を待つて居て呉れるけれど私は今日も大都の火花の中で
放浪れした心を抱えてぼんやりと
空ろな心で空を見てゐる。
柿の實が赤くなつたのか――
松茸の匂ひで一ぱいなのか――
栗の毬がはじけてゐるのか――
なるほど、なるほど、ふるさとはね

會報

久木社例會（十一月）

朝々のつゆじもさけて部屋なかにおきたる菊の香りたかしも　松村桃代
秋の紙切れて思ひは饑にけりたつきわびしきたらちねの上　姬野盛三
酒のみて身をおろそかにするわれをした歎くらむ母は言はねど　檳矢武男
果枯木にかなしき命寄せ合ひて鳴きのひそけきこがらめあはれ　柳下傳
花畑のはぢらひもちて寄り添ひて鷄頭の尖と並び立ちけり　黑木秀子
落葉木のみどりもみづり秋さればうれ吹く風は地に音さす　小松豐子
鐘の音に明けゆくみればこの街にもみぢはすでに鮮なかりけり　長沙宗玄
山寺はいまだ見え來ず枯葉落つる谷川の水すみ流れたり　安川圭一郎
貴葉朽ち葉ここだ交へてこもらへる水潤れしみぞの音のひそまり　川上ゆたか
さ夜ふけに街よりかへり吾がかつぐ夜着つめたくて冬のせまれり　中山岩光
日だまりに乞食の子等と戲れて猫の遊べる何かかなしき　堀積敏子
つぎつぎに出で來る船に目をとめて吾子は模型を動かざりけり（博覽會）　吉田文一
瀑然とひなたに落ちしすひがらの細々とみゆる秋けふかしも　小幡秀男
大根ほす小舍のかたへの小流にひねもす鮮女は衣うつかも　力武正枝
朝霜におされけらしな我がい往く堤の草は低まりて見ゆ　田所良幸
久に行かぬ君がさ庭に咲きしとふ秋草の花活けてたのしむ　佐々木秀子
寄早く布團を敷くはそのそばにこころおさめて書よまむため　渡邊保
天高き松の秀枝に光あれば豁鷹の巢は背めるらしも　川瀨常次
たまさかの休みをあはれねむすを障子をはりて暮しけるかも　今紺靜知
この國の名殘りを見する故生の鼓はうてど音のさびしき　守永愛子
檜の葉は青きがままに散りしきてすがしきの丘越えにけり　吉村深路
弟の自畫像見ればしみじと顴の强きが眼につきにけり　羅間秋風

甦短詩（田龍報）

枯蓮二三本雲のうごき田のも廣ろ　岩淵山與水
出洲の海氷雁島へ人もわたり犬もわたり　桑名時葉
ガタビシヤゆられバスの立ん坊のけたゆゝりる者　泉谷秋麗
吹きさらしのむこうへあるき雪となるみち　內田井久
雪の溶待たされて國草ではうけたそやつらと　多田曾士
寢そべりひとりでの笑ひひなたつ臭い國　岡田田鶴

京城南柯支社（於翠丘居）

阿部晩成君歡迎句會

流星や夜霧に宜き語草　暁成
稲雀追はるる空のよく晴れて　同
星の往き夜空は遠き山容ち　翠丘
稲雀羽風に草のゆれがまま　たかみ
虛ろ心の靜けさを星流れ鳥　貧蝶
流星にたゝづめば野の闇暗し　正文
うすれ行く鷄山島や稲雀　鴫風
稲雀入りぎふの日の大い　無外

少年對座吟（仁川、一仙報）

朝の時雨霽れて白雲の流れ　一仙
屋根たたく霰や、なりに鶏　同
木枯や梢の柿のゆれ光る　宵仙
枯れ困るコスモスの遺霜と解せ　鶴仙

京城石楠偶會（鶴仙居）

入つ日に吹かれて蒲團しまひ　京一
母想ふ心重たく蒲團きて　丈哉
蒲團譬ふ風が鳴る夜を寢る　信子
蒲團着てまがらぬ膝に手をやりて　鶴仙

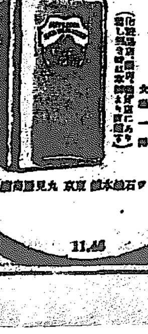
延安句會（研雨報）

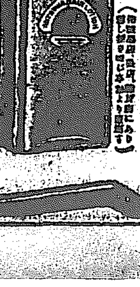
秋霜や人夢小屋の朝圃り　研州
墨箱に捨てし菜屑や秋の霜　竹花
秋の霜廢園の披ひ古りて　吐中
因舍塀曲れば蔭や秋の霜　不二郎
人形の首捨てゝあり秋の霜　紫雨
堆肥舍に群る、雀や秋の霜　空子
擂溜の落葉に見たり秋の霜　長川
踏まれたる麥立ち白し秋の霜　森象

學藝界

◇甦の會　卅日午後七時山與水居。原稿〆切九時
◇播夢村氏（俳人）今度樹人と改號をした。
◇妹尾渾月氏（俳人）男子を買けられた。
◇仁川少年石楠會、川邊一仙君が中心となつて同會が創立され第一回句會を二十五日夜開かれた
◇朝鮮人俳句集　雜詠十句以內、朴魯植選、〆切每月五日（次回け十二月五日）（會費不要）投句者は住所氏名明記すること投句所木浦府竹洞一八ノ一朴魯植宛

資本金五百萬圓
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候
日本共立火災保險株式會社
取締役會長　專務取締役　原　錦吾
本社　東京市京橋區南鍋町二ノ六
京城出張所　京城府本町三丁目三九番地（電話本局長一五六六番）
出張所長　三鍋才次郎
鮮內代理店所在地　京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、全州、木浦、光州、群山、淸州、江景、鎭海、統營、馬山、晋州、忠州、公州、順天、麗水、鳥致院、沙里院、海州、鎭南浦、元山、咸興、城津、新義州、羅南、會寧、雄基、周山

重寶な萬能香水
◎オードフラール（ミツワ花の雫）
濡手拭、肌着、シーツ、枕掛
座蒲團等に振掛け
洗面器へ滴らし
香水風呂を作る
芳香頗る馥郁
白地に汚點を殘さず

ミツワ石鹸本舖　東京　丸見屋商店
11.46

香水養毛
◎へアローション（ミツワ月の雫）
禿頭豫防　雲脂除り
本品はミツワ家庭藥中の養毛液と殆んど其內容素質を同じくして居りますが、特に頭髮用香水の用途に適する樣に製造されて居ります
養毛液主效
雲脂の過多、苔癬、毛髮の薄き、急性熱病、產後、其他脫毛等の後、毛髮の發育を助く
毛を防ぎ


佐分利公使を悼む

私の隨員として骨折つてくれた
軍縮會議の思ひ出など
齋藤總督語る

自殺した佐分利公使逝去の報を受けた齋藤總督は語る
先日支那から歸る途中私のところを訪ねて見たので、支那の問題中朝鮮に關係のある問題について佐分利君の意見も聞くし私の意見も述べて色々話し合つた。そのときも同君は深く將來のことを考へてゐた模樣で『色々やつて見たいが、目的の港のないのに船も漕げぬから、よく政府とも相談してやるつもりだ』と話してゐたほどで、全く變つた樣子はなかつた。同君は優秀な外交官で將來を期待されてゐたのに惜いことをしたものである。先年ゼネヴァの軍縮會議の際は私の隨員として大いに骨折つてくれた

全支の悲しみ
暗夜の光を失つたと
汪支那公使語る

【東京電報】佐分利公使の死を聞き駐日支那公使汪榮寶氏は語る
日支通商條約改訂の交涉開始を控へ公使の如き支那を諒解した人を失ふは日支兩國のため惜しんで餘りある全支那悲しみ惜しむであらう、私もなるべく午後三時箱根に急行する。過去數年間暗雲にとざされた日支關係が公使によつて舊狀に復さんとする時公使の死は暗夜に光明を失つたものの樣である

支那側一齊に死を悼む
失つたものの樣である

【北平電報】佐分利公使の自殺の報をもたらし支那側各方面を驚訝せるに何れも驚愕と深甚の哀悼の意を表し中國人は公使に絶大の期待をかけてゐたのに或は兩國の將來を思ふてその犧牲となつたのかともいひ一人として痛惜せざるはなかつた

死因は愼重に考へる
義兄小村侯語る

【東京電報】佐分利公使の亡き夫人の令兄に當たる宮務次官小村欣一侯は今朝悄然として語る
佐分利公使は昨二十八日朝自分に電話をかけ『あなたも健康に御注意なさい』と注意したことがあつたが、あれが訣別の言葉であつたと思ふ、公使は先年軍縮會議に齋藤全權の隨員として渡歐し朝後歸途に三親戚立會ひで得度式をなし住職から戒名を貰ひ亡妻の墓碑の中に刻み込み『自分もうこれで死んだつもり朱色を入れなくともよい』とそのまゝ刻み込んだなどと語つたことがあつた、公使は特に佛語に堪能で死因は神經衰弱の氣味もあつたかも知れぬが深く帝國外交につき研究をつゞけ特に對支外交の將來には大なる自信を懷いてゐたやうで直接死因は思ひ當らぬが厭世悲觀の結果でなくてもつと他に考へてみるべきであると思つてゐる

葬儀は行はぬ
遺志を尊重して

【東京電報】故佐分利公使の親族については親族會議の結果故公使の遺志を尊重し葬儀を行はず菩提寺吉祥寺に葬むることゝなつた

夫人の命日の翌日に當る
家庭的な寂寥が死に導いたか

【小田原電報】佐分利公使の自殺に關しその前後の事情を綜合すると氏は二十八日午後十二時箱根湯本から自動車を飛ばして富士屋ホテルに投宿し直に入浴し浴衣に着替へ紅茶を飲んで午後一時ホテルの二階一九七號室に入つて寢についたが給仕ボーイに向つて明朝七時半小田原發列車で東京に歸るから六時に起こしてと頼んだので二十九日朝六時ボーイが佐分利氏の部屋に來て同氏を起こさうとしたがかたく鍵がかゝつてゐるので窓を破つて這入つて見た處氏はベットの上に鮮血に染つて倒れて居り右手にコルト式十連發のピストルを持つてをり、右こめかみから左へ頭部に彈丸を貫通したもの如く急報により小田原署より吉田署長以下警部、刑事等急行したが從容として死に就いてゐた、遺書らしいものもなかつた、同日は大正十五年沒した夫人の命日に當つた翌朝のことであり家庭的に惠まれなかつたせめだらうとの說もある

わが一大損失
よき理解者を失つた
王外交部長語る

【南京電報】佐分利公使自殺の報をもたらし國民政府外交部長王正廷氏を訪へば悄然として語る
事實とも思はれぬ話である、公的私的共に遺憾に堪へぬ、公使は國民政府のよき理解者で自分とは關稅會議以來親交あり彼の人格に心服してゐた、公使の死は支那に取つて一大損失で日支交涉を控へ最適任者を失つたのは遺憾である

死は信じられぬ
小幡酉吉氏談

【東京電報】佐分利公使急死の報をもたらし牛込南ケ谷町に小幡酉吉氏を訪へば氏は非常に驚いて語る
全く意外で信じ得ぬ位だ、二三日前ホテルで吉田外務次官と三人で一緒に飯を食つた、佐分利君は帝大に僕より五、六年後だが大學時代にはボートのチャンピオンで筋肉隆々とした偉丈夫で、會つた時もなかく元氣であつた奥さんは小村壽太郎侯の愛嬢で五六年前支那で猩紅熱で亡くなり以來氏は獨身を續けてゐて子供は一人もない

自殺とは不思議
幣原外相談

【東京電報】佐分利公使と最後に會つたのは二十七日で丁度アメリカ代理大使が來てゐたが急いでゐる樣子なのでその間に約三十分話した、故人は例の通り冷靜に日支通商條約改正問題について極めて詳細に明確に意見を述べてゐた、佐分利公使はいつも非常に余裕のある人だつた、ワシントン會議における一面決して失望せぬ性質の、その手腕には敬服させられた自分は永い間のつき合ひでよく故人を知つてゐるが氏の自殺は今もつて不思議でならない、後任問題を考へる余裕などはない

官邸でしめやかな通夜

【東京電報】ピストル自殺を遂げた佐分利駐支公使の遺骸は二十九日午後三時自動車にて氏の甥及び外務省關係者等つき添ひて富士屋ホテルを出で二十九日は外務省の官邸にて外務首腦者その他集まつてしめやかな通夜を行つた

寂しかつた生活
吉田外務次官談

【東京電報】生前故人には趣味を語る友もなくさびしい生活をしてゐたが、日支通商條約交涉の大任をおびいろく考へた結果であらうと思はれる

ゆうべ九時半に府内に辻强盗現はる
歳末警戒の小手調べに
鍾路署で直に逮捕

いよく師走の强盗シーズンに入つた——府内各署では歳末をひかへて嚴重な警戒網を張りつめて强盗御座んなれと待ちかまへてゐる矢先の二十九日午後九時二十分といふ人足も未だ落ちない府内通義洞彰義門峠の中腹で十八才にも通行中の婦人を襲ひ時節柄にかざつた金ピナおよび金指輪を强奪逃走を企てたが、被害者の機敏な行動と迅速な警察官の活動によつて午後十時卅分をへずして犯人を逮捕するにいたつた
所轄鍾路署員の手で本署に拘引、臨時司法主任自ら取調べ追究中であるが、金品の有無はまだ判明するにいたらない

停留場から女を尾行
彰義門峠の中腹で
躍り掛つて强奪

犯人は本籍忠北沃川郡生れ住所府內貞洞五十九番地洪某(二七)といひ別に定まつた職業なく職を失ひ、窮餘を抱いて途方に迷つて居たが、遂に强盗を働かんと意を定め大膽にも府內目抜きの光化門電車停留場に立つて暗やみに消へて行く若い婦人を物色中、ふと目をつけたのが、頭髪に眞珠入りの金簪を飾つた鍾路一丁目七十八番地、果物商某の妻(二三)が齒の治療から高陽郡恩平面里三百三十四番地の自宅に歸る途中二人連れの女と談笑するのを見かけると、飛鳥の速さで電車に飛びのつて尾行をはじめ弘濟洞の終點から前記彰義門峠の中腹に差かゝると、突然後から抱すくめて突き倒し素早く頭部の金ピナ一個(時價五十圓)金指輪百五十圓を抜き取り『金を出さぬと刀で刺すぞ』と脅迫したが婦女は頑強に反抗し大聲をあげて救ひを求めたので、その場から逃走し、附近の林檎畠に潜伏したが、一方婦女は健氣にも立ち上がり五丁ばかり離れた弘濟洞派出所に駆けつけて急を報したので勤務中の靑木、森、金の三巡査は時を移さず現場に急行附近の住民の助けを得て潜伏中の犯人を非常線で三十分足らずで難なく逮捕、折柄かけつけた

消防演習
二日訓練院で

京畿道警察部では來る十二月二日午前十時から訓練院において京城消防署、東大門および龍山署管內消防組に對し冬季演習を擧行することになつてゐる、當日は府內一圓の消防組員が全部出動するほか消防自動車九臺、水管自動車十一臺、梯子自動車一臺も引出され田中警察部長は警察部各課長を從へて騎馬にて點檢をなし、次いで消防自動車以下一千の組員が威風堂々分列行進をなすことになつてゐるので定めし壯觀を呈するであらう、なほ當日は渡邊知事も列席し、放水、梯子等の演習も行ふことになつてゐる

醫學部荒し捕はる

最近城大醫學部に窃盜が續出するので所轄東大門署で警戒中二十八日午後二時頃、醫學部講堂附近を徘徊する大學生を裝ふた怪しい男があるのを、同校守衛が發見通報により、東大門署員が取り押へた右は忠北淸州邑內本町生住所不定無職某(二七)といひ數回にわたつて、講堂から學生のオーバを窃取したことを自白したが、連累者ある見込みで引續き取調べ中

工場爆發
死傷者十名

【大阪電報】廿九日午後六時半頃大阪西成區鶴見橋通り川上硫酸工場乾燥室で作業中乾燥用藥品爆發して火を發し工場を全燒し五十分鎭火したが爆發の際作業中の職工三名即死一名行衞不明重傷者七名を出した

大島、水野兩四段を總帥として決戰
鐵道、慶熙の對抗の柔道戰
あす講道館で擧行

本社後援第三回鐵道局々友柔道部對慶熙俱樂部柔道部對抗大試合は既報の如く十二月一日午後正一時から長谷川町講道館朝鮮支部道場において兩軍の精鋭五十名をもつて對戰することとなり鐵道軍は佐藤政太郎五段、慶熙軍は倉田健之助五段引率のもとに午後八時卅分入場式を擧行し慶熙軍（紅軍）赤井節夫、鐵道軍（白軍）李敬雨兩君によつて火蓋を切ることになつた兩軍の代表者は廿九日午後四時から本社會議室において慶熙倉田健之助監督高橋高、大島庸一、鐵道佐藤政太郎監督、門田見陳昌、西村第三、土崎一郎の各氏並に本社記者立合の上オーダ交換をなし補缺選手及代表選手は左の如く決定した

慶熙軍（紅軍）△補欠 段外中村良雄
鐵道局軍（白軍）△補欠 段外堀雄二

段外赤井 正平　初段栗原 正春
段外駒井 良一　初段渡海松三郎
段外高尾 武次　初段許斐 勇雄
段外松村 武次　初段上原 米男
初段佐野 彦助　初段池 化
初段足立 六郎　三段佐藤 三雄
初段末田 健二　二段吉田 正男
初段小島 直人　二段香月 聰
初段西尾 秀雄　二段高尾 行男
初段二浦 三段古屋 改藏

△選手　△選手
段外渡島 良男　段外三好 浩
初段安東 晃　初段島田 太郎
二段根岸虎之助　初段工藤 信
五段倉田健之助　二段川島三四郎
段外赤井 節夫　段外李 敬雨
段外居園 茂　初段川本 圓治
初段栗尾 三郎　三段西村 第三
初段高橋 渡　二段野口 平一
初段岩城 猛　三段近藤久仁男
二段布村 茂　二段中村 博
二段山本 俊二　三段森田 勝次
四段高橋 高　四段川村
三段朝谷 力雄
大將大島 庸一　大將水野 秀幸
四段　　四段

なほ試合規定タイムは大將戰勝各十分づゝ以下六分の試合タイムによつて試合
（寫眞は柔道戰のオーダー交換）

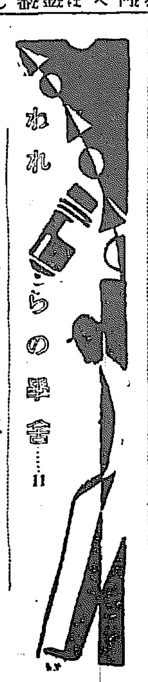
小川前鐵相に新事實發見
西下して取調ぶ
警視廳淸水警部補か

「大阪電報」疑獄事件の淸水警部補は佐竹三吾氏との關係につき大阪、大軌、參宮、大和の四電鐵を取調べ中の所、小川前鐵相に關する有力なる新事實を發見した模樣で取調べの必要上警視廳に詳細したところ廿九日午前十一時何等かの訓令に接して大軌社に向つた

婦人見學
申込締切
けふ正午まで

申込み殺到し早くも定員三百を突破せんとしてゐる本社主催の婦人見學會は晴雨を論ぜず擧行されることになつた會員は正午本社に參集の後朝鮮神宮の參拜、京城府の電氣課を一覽し午後四時京城電氣會社の樓上で說明の後三越で解散となつてゐるが、この企てに對し京電から電車を一臺として一人につき切符三枚の寄贈あり、京電本社では茶菓の饗應と倉田技師長の興味深き有益なる通俗講話あり、お土産としては電氣まんじゆうや記念繪葉書等を進呈することになつてゐる、申込締切り三十日正午まである

われらの學舍……11
極意は、ひつ搔き
女流聲樂家の發祥地
運動競技は大の凶作
DK下の第一高女



屋移り、月變り！いまや二本の大アンテナが中空高くそびえ立つJODKの脚下に住居を定めて、金融的の音がする第一高女と隣りつけた醍醐びな一鉄に錆の添跡を遥くにながめ、九百の明るい、お跳ねの令嬢に良妻賢母教育を施してゐる。だが古典的の趣とひも、蜻蜓的な長袖も、あでやかだつた萍裝も いまは どこにも見當たらぬ

——尾形校長は理學化學者出身だけに理論第一、教育はまづ平等の立場から……と頭しぼつて考へ出した紺サーヂ、スーツ型の制服で長い校庭を驅け廻る

◇

正しく、やさしく、強く！といふのがモットーで、第一の氣分は强い健康からと、盛んに運動を奬勵するが體育天の山本體操師が百米突で朝鮮記錄を破つたのは今では昔の語り草！今年やカボチヤは大凶作で——庭球、排球、バスケット、陸上競技と活躍したが、勝つたものなし……珍しいのは三年生の薙刀で陣之内教師が指導役——ヤア！ヤア、ヨー！と掛聲いさましく稽古するのはよいとして、女の腕で『ひつ搔きの』の一手、猫々牙へ逃り……いづれ楽劇——マダムとなつたとき、いや臆なしに、つめ勝きマニキュアガールが現れてつめそぐことになるだらう

◇

音樂は御自慢中の隨一でリーダーは有名な作曲家大塚鶴之助さんでえりぬきのコーラス隊は年中行事のはれの舞臺で堂々と、誇しいハレルヤ、コーラス歌つてのけた——新進のソプラノ歌手田中官子夫人、京城樂壇で名をうつた三井禎子、曾我節子嬢などは、みなこの學校の出身で朝鮮女流音樂家の發祥地

◇

良妻賢母のスタートはまづ衛生思想からといふわけか？お仕込みに至つてやかましく、運動場の勇敢な活動振に似氣もなく、お湯にひたした青菜のやうに首をさげて、一生懸命に針運び……腕が自慢な體操さんはバレーボールの勢ひで大裁ブツリと二つ剪り：父兄ふれいて試食會するので、實習、命勝け！——名物先生の顏ぶれは、タクトしりふり大塚さん、開校このかた二十年物尺一つでやつて來たあだ名が栗の家畑女史、小宮山、石川、富永先生の猛手どころは全部この學校の生へ拔きで、變つたところは新人社、女流詩人の明星として斯界に知られた河野とも子さん——卒業生の當日は社會事業に、同窓生の社交、修養機關として花々しい活動を續けた紀錄は團結觀念ピアノに變形し、至れり、盡くせり、中々もつて母校思ひの若々ぶりかつ麗い女の片腕の集團の力強さを感じさせる……輝ける歴史にいろどられ、瑞雅な校風に薰はれはぐくまれ行く乙女の上に聰きあれ！（寫眞は薙刀體操と尾形校長）

荷車と衝突

二十九日午後三時四十分頃、楊州郡蘆海面桂高里八三五番地、安元根（三九）が荷車に繩を滿載して鐘路通一丁目七番地先電車軌道附近を通行中後方から疾走して來た東大門行電車一〇〇號運轉手朴鍾根（四二）の後部昇降臺に衝突し、荷車には損害なかつたが、電車は柱二本窓ガラス六枚を破損した。幸ひ乘客には被害はなかつた

專門學校雄辯大會
今夕六時から來靑閣で

京城法學專門學校辯論部主催第六回專門學校雄辯大會は今三十日午後六時から本社來靑閣で擧行されるが入場者は制限して學生、生徒となし一般からの聽衆を禁じてゐる、なほ當夜は聽衆から一般辯論の企てがある、順序左の通り
一、開會の辭……盛 龍植
一、部長の挨拶……柏川 部長
一、己れを知れ高工……田村 辰雄
一、法律を社會化せよ法專……近藤一
一、日本の世界的使命を論ず……法專、兪 英穆
一、農村疲弊の國家にもたらす影響について……高農、乾非定男
一、學徒の昭和維新斷……法專、石原清久
一、生命利に陥れる知識大衆の社會的役割を論ず……高商、常岡一幸
一、變態なる世相……法專、小松不二夫
一、大平洋問題の一考察……醫專 青木 陽家
一、新時代の指導精神……法專 韓 道淑
一、犯罪學の發展段階……來賓 高等法院檢事 伊藤 憲郎

佐竹氏起訴

【東京電報】瀆職事件は二十九日正午日下收容中の佐竹三吾氏の起訴を決した

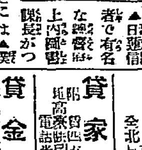
中等學校ラ式豫選

朝鮮ラグビー蹴球協會大每京城支局共同主催全國中等學校蹴球大會朝鮮豫選は左の日程で朝鮮神宮競技場グラウンドで行ふが、この日程で朝鮮側代表を決定した上十二月二十日頃滿洲代表と對戰することになつてゐる、滿洲代表はすでに奉天中學に決定してゐるので結局朝鮮側代表と奉天中學とが最後の決戰を行ひ勝者が東洋最初のラグビー專用グラウンドたる大阪花園グラウンドで晴れの舞臺に出場するわけである、この豫選はまた一面朝鮮に最初に外來チームを迎へることにもなり、ラグビー時代は、全くここから發祥するといふので如何に期待されてゐる、尚昨年の優勝校は京中チームであつた。入場は無料である
十二月一日午後一時半から　京城中學對京城商業
十二月五日午後四時から　京城師範對龍山中學
十二月八日午後一時から　朝鮮側代表決定戰

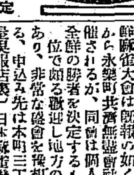
全鮮麻雀大會

第二回全鮮麻雀大會は既報の如く一日正午から永樂町共濟無盡會社樓上で開催されるが、同會は個人申込みであるが全鮮の勝者を決定するものだけに頗る歡迎し地方の申込みも非常な盛會を豫想されてゐる、申込み先は本町三丁目（君見屋呉服店裏）日本麻雀聯盟朝鮮總支部で卅日まで受付ける

アナウンス

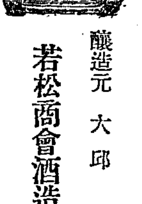


▲日誌當……者で有名な……上に内鮮……職長がつくく禁じていふことには▲僕は文部省を文教院と改め、獨立させて▲會計檢査院なみに人物本位の終身官として政變外に置いて、文教の威嚴を保てといふ論者なんた▲文部省が鬼門だなんて、いはないですむ上と▲合ふ人每に口說いて居るが、至極良案！▲濱口さんに進言すれば物になる。

何故？
一家に一個必要でせう
OZO
オゾ
東京大森新井宿 郵便

十二月二十日まで
一昨日の切拔と送料二錢送付
數十回使へる實驗用オゾ
無料送呈
共內三千名樣～締切後抽籤で
定價一圓のオゾ無料進呈

國益捕鳥（極上絹糸製）カスミ網
三間 三圓四十錢
五間 五圓五十錢
代引送料二十五錢
定價表進呈
京城府永樂町二丁目
漁具卸商 吉備商會（電本三一四番 振京四三八番）

滋養 美味 一◇一 すつぽん すきやき ちり 鍋
◎御料理
▲宴會をも安値に引受けます
▲御婦人御同伴で最も歡迎します
京城府旭町 まるま（電本三九一一番）

晩餐の卓上 ワカマツの一盞は……エナーヂーの源泉なり……
最優等銘酒

釀造元 大邱 若松商會酒造場

入院隨意
京城永樂町二丁目
酒井婦人病院
電話 三三〇二番・一八番
酒井一郎

●支局長採用 創刊三十餘年工場雜誌 自信ある者履歷書附規定等送る 東京北品川宿 工場評論社

株式名義書換停止公告 來ル十二月一日ヨリ昭和四年拾貳月拾九日迄株式名義書換ヲ停止仕候 京城家畜株式會社

日東カゼ藥

筆生 遠方男女自宅寫字 收入確實 京城元町

皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晉 京城黃金町入口 日本生命裏 診察 十二時半マデ及ビ夕刻

京日案內 五號活字十五字詰五行一回 壹圓五拾錢匿名ハ一回毎ニ 五拾錢增料金ハ前納ノ事

貸家 家賃八十圓 電本一四〇番內 江頭

貸衣 京城本町 婚禮式服 吉岡呉服店

外交 社員募集 京城府 本町四〇番地

貸家 階上八疊 階下六疊 高台 電話 光熙町

貸金 月收の方に 信用貸致します 共和 電話光化門

嫁度 廿六高女卒 實業家 人格者 京城

恩給 年金 短期 即時 京城 京城 江州屋

古本 御一報次第參上 高價買入 京城本町二丁目 電本三一九五番 群書堂

仲居 入用 平壤七星館

恩給 一六以下 京城府永樂町 電話本三七六九番 マルナカ商會

ラヂオ は技術優秀の 京城本町四丁目 ラヂオ商會へ 電本四二〇六番

恩給 立替 京城府 電本三三五番 中村商會

恩給 立替 特別御便利に 電話本二二六三番 西村

セキ の良藥あり 京城 電本四七番

恩給 年金 長期低利 即刻融通 京城府 電話光化門一八四三

毛皮 なめし並に仕立 京城府太平通二丁目 電本二〇六五番 岡元商行

恩給 年金 低利 電話本局 三四一八三二番 英商會

特別案內

ドラゴン 延命強壯 絶倫 健康增進

ドラゴン 明晰安眠

ドラゴン 京城南大門通 電話 無料進呈

腦病胃腸病神經痛專門 家傳名灸 光壽堂延命灸 京城吉葉町二ノ一二七 光壽堂鍼灸術療院

運命の浪 【177】

遠藤柳雨作　多田敏三畫

惡魔の手紙（二）

上海興業の方から、その日の内に何とかたよりがあるだらうと、心待ちに待つて居たけれど、とうとうその日はなんの音沙汰もなく翌日のしかも夕方になつて、電話でキッパリ斷つて來た。

その電話を聞いた女傑の龍子は不快さうの態でかへて來た。

『先生、とう〳〵破談よ。いろいろ座主と相談してみたけれど、前借の上塗りなんて思ひもよらないといふんですつて……』

榮江もその場に居合せたので、

『……分らない席主ねえ、ちやアまるで人を殺すやうなものだわ前借の上塗りができなけりやア、前の前借は踏みたほすばかりよ。私、これから出かけて、直接談判まに旅館の方からだつて、宿料の催促が來るだらうし』

眼眦を八の字のやうに、榮江は立ち上がつた。

『でもねえ榮江さん、それは駄目よ、駄目よ』

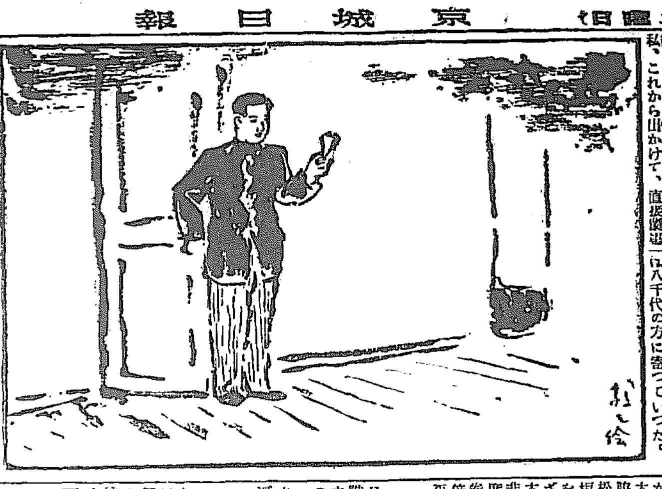
と、八千代は榮江をとめた。

『ぢやアどうしたらいゝでせう。この場合……、先生、いゝお考へがあつて、至急になんとかしなければやアならないのでせう。默つて控へてゐるわけにやアいかないことよ』

『そりやア私だつて考へてゐるんだけれど……』

『たゞそれだけぢやアたよりないぢやアないの……』

一旦たつたが再び坐つて、榮江は八千代の方に寄つていつた。



すに會つて談判し度いか知ら』

『それは駄目よ』

『どうして？』

『先方でもそんな樣子が分つたとみえて、ポント伏線をしかれてしまつたの』

『伏線？』

『急にホンコンに立つ用事ができて、座主は今晩ホンコンに出發しましたから、お目にかゝれないかも知れないつて……』

『逃げられたわねえ、いよ〳〵駄目だわ』

『でもわれ〳〵の死活問題を控へて居るんだから、急に金の工面をしなけりやアならないわ』

龍子はいつた。

『その金の工面が大問題なの、なんにしろどこをみても他人ばかりの上海ぢやア、誰に相談しやうといつてあてもないし……』

八千代は絶望の淵に沈みつゝいつた。

暫く考へて居た榮江は、突然叫びだした。

『もう一度支配人に會つて話してみるわ、香港に立つたなんてうそに違ひないから、さうするわ私。最後〳〵しちやア居られない、い

『先生だつていろ〳〵お考へになつて居らつしやることがあるでせうから、もう一日二日辛抱がないことを待ちませうよ』

龍子もそばから口をだした。

『…………』

その質問の前に對しては、榮江はなんの返答もしなかつた、默つて額に皺をかけなかつたのだ。

そこへあわただしいボーイの跫音がして、やがて室内へ入つて來て

『たゞいま、この手紙が參りました』

といつて一封の手紙、それは八千代にあてた——をとり次いだ。

讀者らん

藝術を求めよ

おゝ！天晴れ青春兒の進撃だ。求め得ずんばそれ生活層の全貌を！

詩誌『魚』は十二月下旬發刊します

菊版廿頁内外です

魚は同人組織にします同人登錄毎月一圓です

魚は不定期刊行です

なほ詳細は左記へ

水原宮町島居方　XYZ詩屋

詩誌『魚』發刊について

わたしたちの詩は必ずしも美しい詩でないかも知れない

わたしたちの詩は必ずしもきらびやかな詩ではないでせう

併し人間のみがもつ淋しさと人間のみがもつ悲しさと人間のみがもつ喜びとが私達の詩の全部です

私達は若い

若いが故に進出だ

詩だ　詩だ

新しい詩の爆彈だ

詩人よ楯を取れ鍬を打て！

はるかなる苦鬪の道よ、轟々たり進出の勇躍！

生活の中に詩を求めよ生活の中に

▲二十七日の借家主總と同感さす知らぬ顔の半兵衛をきめこまず早く下げて貰ひたい買上げの牛分は家賃にひかれる（本町四丁目東部生）▲朝鮮體錦（一）より（32）まで所藏の御紙を御社に發部があれば御讓ち願へませんか（小板原愛讀生）▲販賣部に申込んで下さい（係）

出版界

世界美術全集（第十一卷）ローマネスク五代及北宋、高麗時代（一）藤原時代（上）の篇で百三十八葉の圖版を收む。なほ各時代の解説には森口多里、田邊孝次氏の筆により秋山光夫、田邊孝次氏の四家が當り、圖版は、ほかに、伊東忠太、六角紫水、畑正吉、大隅爲三、脇本樂之軒、田中一松、塚本靖、松本榮山里、相見香雨、稅所篤二、坂井犀水、岡野貞氏らが解説に筆をとり、本集の單なる圖帳に終らざるべく完璧を期してゐる。因に本全集は當初の出版計畫以來非常な好評をもつて迎へられ、今度第二次頒布を敢行したもので本卷はその第二回配本である。四六倍版（東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行、普通版一圓、裝飾一圓半、帙入二圓）

新興文學全集（第五卷）日本篇の五。宮嶋資夫氏の『或る職工の手記』以下七篇、加藤一夫氏の『村に襲ふ波』藤井眞澄氏の『精神醫學者』外一篇、新井紀一氏の『燃ゆる反抗』を收む。四六版布裝六百十九頁（東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行豫約價一圓）

毛絲編物の編み方（主婦の友社編）子供ものを主として毛絲編物の編み方を網めたもので、まづ基礎の編み方と用具を解説し、赤坊用の編み九種（野中より子ほか六家）小兒向編物十一種（平塚笑子ほか九家）少女向編物十二種（龍井啓子ほか六家）男子用編物四種（石關圓子ほか二家）防寒下着類その他（栗田たけ子ほか五家）を收め、寫眞版十葉各種圖解をいれ懇切を極む。季節向きの好著である菊判（東京市神田區駿河臺主婦之友社發行五十五錢）

▼神道の友（十二月）東京市牛込區天神町三五双人社二十錢

▼詩神（十二月）シエルゲイ・エセーニン研究號（東京市外澁谷町金王八その社二十五錢）

▼文藝（十二月）小説の背景（小林蒼里氏）新しき農民文藝を提唱す（倉田潮氏）苗生のお渡り（赤堀又次郎氏）早稻田界隈（會山俊文二氏）その他（東京市牛込區新小川町二ノ四その社二十五錢）

▼東洋（十二月）危機を孕む滿蒙問題（木村堀太郎氏）今年の支那を顧る（石川成郎氏）支那農業における資本主義の發展段式（田中忠夫氏）朋城何行の支那（石山賢治氏）日本婦人誘拐の策源地、（波多江種一氏）山東泰山の奇蹟を廻る（後藤朝太郎氏）その他、（東京市麴町區内幸町一ノ三東洋協會五十錢）

▼カトリックタイムス（一三三號）（東京市麴町區下六番町公教青年會六錢）

▼警察研報（十一月）諸種の調話要座などのほかに『考査試驗批判座談會』記事がのつてる（東京市牛込區藥王寺町七一その社卅錢）

▼大阪化粧品商報（九七六號）大阪市東區備勞町二丁目その社十錢

▼新使命（十一月）軍縮の原理と國民の大覺悟（尾崎行雄氏）軍縮の國際政治學的考察（神川彦松氏）神聖なる新興政黨の必要（武山桂一氏）陸軍大縮小の重要項目（高野清八郎氏）政局秘話、憫堂自敍傳その他（東京市芝區白金三光町三〇八その社四十錢）

▼川柳きやり（十二月）東京市四谷區寺町六川柳きやり吟社廿五錢

▼こゝろ（十一月）菊の傳說（加藤咄堂氏）その他（東京市外代々木山谷一〇八開神社十錢）

▼緊星江戸生別研究（十一月）西鶴、好色五人女（卷一）を林・樹三田村鳶魚、木林曲秀、鈴木南陵、森銑三、山民夫、柴田宵曲の七氏輪講、その他（東京市淺草區下平右衞門町朝日書房五十錢）

▼猶太之日本（十一月）名古屋市南區瑞穂町その社三十錢

▼鮮滿之國と犬（一號）第一部シエパードの選擇とその見方（韓槌棄氏）犬の蛔虫とマクニン（山田不二雄氏）悲壯なる智惠山の虎狩り（西村八郎氏）信川ヌクテ狩談

鑑定（今村氏）各界歴友會記事その他（京城西大門町二ノ一）その社四十錢

▼實業之事情（十一月）高杉暸吾氏綱覧（京城吉野町一ノ九一その社四十錢）

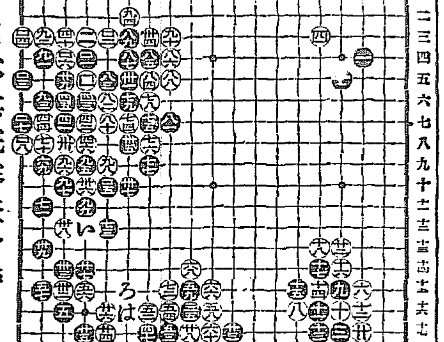
▼生保研究（一〇七號）大阪市東區高麗橋筋二ノ八生命保險研究所二錢

▼朝鮮實業俱樂部會報（十一月）朝鮮の土地改良事業に就て（藤井寛太郎氏）その他（京城南大門通一ノ一二四朝鮮實業俱樂部非賣品

圍碁新局

小野田千代太郎 先　（完）
寺西新太郎（三段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ



日本棋院審査會評

白「二四」までは常に見る布石である。黒「二七」は「五六」に尖み白「二八」の時黑「二九」は「二七」と斜走したのであるから「い」に飛んでゐなければならぬ。

白「三〇」は直ちに「三一」に頂け越すがよい。されば黑「三一」は「い」に飛んでゐるがよい。

黑「三三」「三五」「三七」はあまりに泥濘として白にか利ぬ手である。「三五」にて「五六」に提つてゐるが要點である。

黑「四五」はその形の上から見て「八〇」に綿ね白「四五」黒「九三」と當てゝゐるところである。

黑「五五」は惡い。「六二」に斷つてゐるがよい。

黑「六一」は「ろ」に覗と機智である。白「は」に粘けばその時「六一」と斷るのである、此交換をしておけば後に白に「六八」と打たれた時「七二」と逃げだす手が出來るのであつて大切な處である。白「七二」は直ちに「七四」以下の手段に出るがよい。

黒「七三」は白より「七四」に打たれる手を防ぐ意味で「八九」に頂けて白の應手を試みるがよい、その時白「九四」に綴れば黒「八五」白「九〇」黒「七五」白「七三」と打つのである。そこで白譜の如く「七四」と頂け黒「七五」白「七六」黒「七七」白「七八」ならば黒「八〇」と打つて戰ふがよい。白はその應戰に苦しむことなるであらう、然るに黑は敗戰を賭り、遂に此一局に於て早くも勝敗を決せられた事は物足りぬ感が多い。

演藝案内

中央館

キネマ　マキノ

二十八日封切公開　特選二大映畫特別大公開

ユニヴァーサル社特作二大喜劇　コンスタンス・タルマッヂ主演　赤坊　澤山　全二卷

大連續大冒險劇　サミエル・ザアン・ロンケル氏監督

新カンプス　第一篇　大疾突

ジョウ・マーフイ氏・Vリヴングストン嬢

マキノプロダクション特作大時代劇

宮多邑九平原作脚色　森岡泰氏監督作品　露路裏の鼠族　全七卷　津村博、泉春子、松浦築枝

一九二九年度デイファニースター　ルー社超特作品　レヂノールド・パーカー氏監督　地中海の惨事　ダグラス・フェアバンクス氏　ジヨビナ・ラルストン嬢　主演

炭坑　全十卷

雪の街路を良なる勞働者！彼等の大努力映畫！地下數千呎の暗黒街に大爆發する戀と爭鬪の大繪卷

東亞俱樂部

當る廿七日より世界映畫界創始以來の大名篇、巨匠キング・ウイダー監督作品『ビックパレード』（臨名大進軍）大公開初發階下十錢均一

メトロゴールドウインメーヤース大戰映畫

ビックパレード（臨名大進軍）

原作ローレンス・ストーリング氏　脚色ハリー・ビーン氏　主演ジヨン・ギルバード氏　クレア・アダムス嬢

歐洲大戰に參加したジムアパーソンも今までの放縦な生活を捨て勞働者のスリムと酒場に落合つた同じ隊に志願する。バルとジムとの間に新しい友情が生れるジムはフランスの娘メリサンドと戀に陷る時の前進の命下りジムは婚約者のあることを知つたメリサンドは思出の森に初めての苦しさを泣く二人は辛い別れをして決死的使命に遽進、スリムは自ら敵兵を殺し危險を冒して最も高級な本格映畫

大正館

仇討

東亞キネマ京都作品　仁科熊彦監督作品　小阪三千子　井上之介　共演

時代劇　悲しき宿命に弄ばれて苦難を續け行く悲壯なる時代劇史

二十九日、三十日（二日間限）阪妻三郎傑作時代劇大會　短期公開　破格料金　階下大人武拾錢　小人拾錢

松竹提供阪妻プロ超特作　志賀西眞監督作品

情炎流轉　八卷

阪東妻三郎、森靜子、中村琴之助、山村桃太郎、小松蜂子、島田保吉、津田得治

松竹提供阪妻プロ　若葉信子、新井淳、清水一郎、河村黎吉　共演

血染の十字架　十卷

天主教徒の迫害……島原及天草島の大騒動

阪東妻三郎一人二役主演　中村吉松、志賀靖郎、伏見直江　オールスターキャスト

浪花館

當ル十一月二十三日ヨリ　生粹ノ東京落語　橘家勝太郎一行

開城—海州間時間改正

寒くなつたので時間を改正致します

改正時間は毎年十二月一日より翌年二月末日まで

賃金は開城—海州間三圓五十六錢

京城發　京城より九時五分發汽車は海州へ二時四十六分着

海州着　京城より午後一時二十五分發汽車は海州へ午後八時二十四分着

海州發　海州より午前十時發自動車は京城に午後五時五分着

京城着　同　午後十二時二十分發自動車は京城に午後七時二十分着

同　午後二時發自動車は京城に午後八時五十分着

此時間ハ毎年自十二月一日至翌年二月末日

開城ヨリ海州方面行

開城發	土城發	延安發	天台發	青丹發	海州着	汽車連絡表
		前九〇〇	九二七	九五三	一〇四八	延安發車
前一〇三〇	一一二	後一〇〇	一二七	一五八	二四八	京城ヨリ前九時五分發汽車客
後四一五	四三八	六二八	七一五	七二八	八二四	京城ヨリ後一時二五分發汽車客
				五三〇	六一八	青丹發車・

海州ヨリ開城方面行

海州發	青丹發	天台發	延安發	土城發	開城着	開城驛南行汽車
			前八四〇	一〇三三	一〇三八	前十一時三十三分發龍山行
前一〇〇〇	一〇五三	一一二四	一一五一	後一三四	一五〇	後二時五十分發　同
後一二三〇	一一三	一三四	二二一	三五一	四〇七	同四時四十二分發同
二〇〇	二五三	三二四	三五一	五三三	五四九	同七時十四分　釜山行
三五〇	四四〇着					青丹マデ

黃海道
延白自動車部

辰馬汽船仁川出帆

相吉丸　十二月一日　阪神、直航
陸山丸　十二月　日　關門、阪神
天長丸　十二月　日　直航阪神
大新丸　十二月　日　阪神、名古屋
天正丸　十二月　日　清水、芝浦
泰東丸　十二月　日　關門、阪神、名古屋、清水、芝浦

仁川代理店　朝日組回漕部　仁川本町四丁目　專用電話六一八・一五番

尼ヶ崎汽船仁川出帆

群山、阪神　正生丸　十一月三十日
群山、木浦、阪神　玉榮丸　十二月六日
群山、阪神　赤城丸　十二月四日
群山、伏見、木浦、阪神　伏見丸　十二月九日
百濟丸　十二月二日

尼崎汽船部　岡崎汽船會社代理店　高杉回漕部　仁川海岸町（電話五〇九番）

大阪商船仁川出帆

●神戸、大阪行（群山、木浦經由）温州丸　十二月一日
△山ひより丸　△西城丸　△神安丸　△大順丸　十一月　日
●名古屋、清水、横濱、東京行　△青山丸　△龍勢丸　十一月三十日
●大連行　東丸　十二月八日
●長崎、鹿兒島、三角行　關東丸　十二月　日　前九時
●鎭南浦、元山、雄基行　山東丸　十二月五日
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　山東丸　十二月十一日

内地各港出帆主要航路
●歐州行毎月一回 ●濠洲行毎月一回 ●孟買行毎月二回 ●南米行毎月一回 ●北米行二週間毎 ●甲谷陀行毎月一回 ●亞弗利加行毎月一回
●御注意　△は船客取扱　大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇・二一一番

嶋谷汽船仁川出帆

仁川發　大連、天津、鎭南浦、群山、木浦、釜山、大阪、神戸、新潟、伏木、函館、小樽
○各港共船客取扱ヒ上ヲ優待ス

仁川發
大連天津直行（大連ニテ天津行船ニ接續）

京城代理店　國際運輸株式會社　京城本町一丁目　電話本局二〇七・二五九番
仁川代理店　仁川本町四　電話四二一七番

鎭南浦行

春日丸、長明丸、大成丸　十二月一日・十二月六日
代理店　日鮮海運株式會社　仁川本町四

仁川發（日本北海道行）

日本北海道行（群山、木浦經由）春日丸、長明丸、大成丸　十二月　日
代理店　日鮮海運出張所

森信汽船仁川出帆

延安行・安岳行・鷲梁・南浦・唐津・群山・木浦行（毎月六回往復）
運送荷物其他各沿岸行汽船貨物取扱ヒ致候
仁川驛前（電話一六三番）
森信汽船株式會社

仁川汽船出帆

海州行　直行、毎日出帆
延安行　草芝、甲串、喬桐、鹽山、星湖經由
仙草行　海津、富里浦經由
唐津行　毎月五回以上出帆
德積行　毎月九回以上出帆
外浦行　（江華島、喬桐經由）毎月八回以上出帆
馬山行　（水原、大阜島經由）毎月十回以上出帆
各沿岸行　汽船荷物取扱
仁川府本町四丁目
仁川汽船株式會社　電話五一番・六一番　荷捌所　電話一〇五八番

朝鮮郵船出帆廣告

○京城南大門通　朝鮮郵船株式會社　電話本局四〇一・九五番
○釜山支店　本局四一・九六番
○元山支店　電話長一三四番
○仁川出張所　海岸町　電話長五一番
京城代理店　國際通運

○釜山出帆（扱店釜山本店）
麗水行（急行）毎日午前十時
木浦行　各港寄港　毎日午後一時
馬山行　各港寄港　毎日午前九時半
統營行（急行）毎日午前十一時
浦項行　各港寄港　毎日午後十一時
方魚津行　各港寄港　毎日午前九時半
○木浦出帆（扱店木浦支店）
濟州行　各港寄港　毎日午後八時

○日本郵船出帆
歐洲行　箱根丸　十二月二日
北米行　春洋丸　十二月七日
濠洲行　丹後丸　十二月一日

○仁川出帆（代理店國際通運支店）
東京行　大連丸　十二月三日
大阪行　慶州丸　十二月二日
長崎三角　麗南丸　十二月四日
木浦行　昌原丸　十二月一日
海州行はくてふ丸たか丸毎日午前九時半
鎭南浦行　盛京丸　十二月二日
大連青島行　會寧丸　十二月六日
釜山上海行　平安丸　十二月一日
大連行　麗南丸　十二月一日

○木浦出帆（代理店　國際通運　木浦出張所）
東京行　長白山丸　十二月四日
大阪行　慶州丸　十二月四日
濟州島行　濟州丸　十二月三日
多島海行　統營丸　十二月一日
仁川行　昌原丸　十二月六日
釜山上海行　平安丸　十二月二七日

○釜山出帆（取扱店大池回漕部）
東京西鮮經由　天安丸　十二月二日
東京北鮮經由　長白山丸　十二月一日
大阪西鮮經由　慶州丸　十二月六日
大阪北鮮經由　京城丸　十二月三日
長崎三角　麗南丸　十二月二七日
鹿兒島行　咸鏡丸　十二月一日
大阪（釜山經由）　咸鏡丸　十二月六日
北鮮行　春川丸　十二月一日
浦鹽行　清津丸　十二月二日
上海行　平安丸　十二月一日
濟州島行　濟州丸　十二月六日
江原道行　新濟州丸　十二月一日
濟州島行　鏡城丸　十二月一日
宇品大阪行　立神丸　十二月一四日
清津元山經由直行　立神丸　十二月三日

○元山出帆（代理店國際通運支店）
京城行　長白山丸　十二月一五日
大阪行　清津丸　十二月一日
沿岸經由　榮江丸　十二月一〇日
江原道行　咸鏡丸　十二月一日
雄基行　興島丸　十二月三日
浦鹽行　咸鏡丸　十二月三日
雄基行　容川丸　十二月九日
浦鹽行　釜山丸　十二月二日
宇品大阪行　立神丸　十二月一二日
清津直行　立神丸　十二月五日
▲右之外各地共臨時船ヲ配船致シ船舶ノ潤滑ヲ取計ヒ居候

定期朝鮮郵船出帆 博多航路（博多行）

●慶州丸　十二月二日　鎭南浦發　西鮮各港經由　博多行
●釜山丸　十二月一日　北鮮各港經由　博多行
咸北丸
清津發　毎偶數日　正午十二時
雄基發　同日　午後五時半
清津發　毎奇數日　午前十一時半
清津着　同日　午後五時